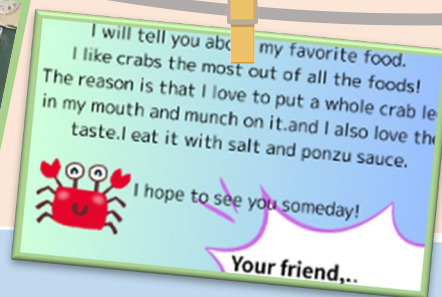


令和3年～7年度 東京都国際交流コンシェルジュ 国際交流事例集



公益財団法人

東京都教育支援機構

Tokyo Education Promotion and Support Organization

目次



学校種別から探す

-  [幼稚園](#)
-  [小学校](#)
-  [中学校](#)
-  [高等学校](#)
-  [中等教育学校](#)
-  [特別支援学校](#)



交流の種類から探す

 [手紙・カードやメールの交換](#)

 [オンライン交流](#)

 [在京大使館等との交流](#)

 [訪問受入交流](#)

幼稚園

 オンライン交流

 在京大使館等との交流

 目次へ戻る

● 小学校

 手紙・カードやメールの交換

 オンライン交流

 在京大使館等との交流

 訪問受入交流

 目次へ戻る

● 中学校

 手紙・カードやメールの交換

 オンライン交流

 在京大使館等との交流

 訪問受入交流

 目次へ戻る

● 高等学校

.....

 手紙・カードやメールの交換

 オンライン交流

 在京大使館等との交流

 訪問受入交流

 目次へ戻る

● 中等教育学校

 オンライン交流

 在京大使館等との交流

 訪問受入交流

 目次へ戻る

● 特別支援学校

.....

 手紙・カードやメールの交換

 オンライン交流

 在京大使館等との交流

 訪問受入交流

 目次へ戻る

オンライン交流

幼稚園

 目次へ戻る

ビデオチャット交流

港区立赤羽幼稚園

オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2024年9月9日(月)

10:00～10:30

場所：港区立赤羽幼稚園

2. 参加者

港区立赤羽幼稚園（都側）

年中・年長 22名

3. 交流相手

オーストラリア連邦

クイーンズランド州

Ipswich Grammar School

4歳児 18名



↑ 歌の準備



↑最後に全員で記念撮影

4. 当日のスケジュール

- ① 双方の校長、園児が順番に挨拶
- ② 歌とダンス
(双方の園児が英語で一緒に歌とダンスをする)
- ③ オーストラリアの先生の絵本読み聞かせ
- ④ 都側の先生が折り紙紹介
- ⑤ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 初めの挨拶は双方ともHello！と英語で挨拶をした。
園児は緊張せずに、元気よく声をそろえて挨拶できていた。
- ◆ 一緒に歌を歌う場面では、お互いに画面を見ながら楽しそうに踊っていた。
- ◆ 絵本の読み聞かせや、折り紙紹介の場面では、園児たちは画面を見ながら集中して話を聞いていた。
- ◆ 交流後、都側の園児たちはオーストラリアに興味を持ったようで、廊下に貼ってある世界地図を見ながら、オーストラリアの場所を確認して、先生とオーストラリアについて話をしていた。

在京大使館との交流

幼稚園

 [目次へ戻る](#)

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2022年9月13日（火）
10：30～11：15
場所：千代田区立いずみこども園

2. 参加者

千代田区立いずみこども園（都側）
年中 34名

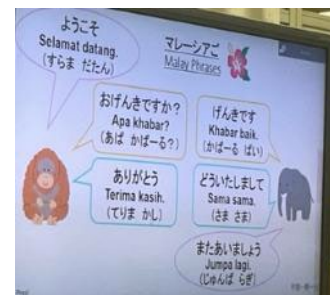
3. 交流相手

マレーシア大使館
タンゲスワリ パレスワラン一等書記官

千代田区立いずみこども園 駐日マレーシア大使館による学校訪問



↑マレーシアの代表曲「ラサ・サヤン」の
弾き語り



←マレー語の挨拶

積極的にタンゲスワリ
一等書記官に質問を
する園児たち →



4. 当日のスケジュール

10:10 講師来校

10:30 講演会開催

マレーシアの観光ビデオの上映と国の概要紹介

マレーシアの絵本の読み聞かせ

マレーシアの代表曲・ウクレレの弾き語り

終了後 記念撮影・挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆園児は、マレーシアの観光ビデオを観賞しながら、「あの鳥は何？」「日本で見たことないよね。」等と話し、興味津々な様子だった。
- ◆園児から「テングザルはどこにいますか？」といった、動物や虫についての質問が多く出た。
- ◆最後にタンゲスワリ一等書記官がマレーシアの代表曲「ラサ・サヤン」をウクレレで弾き語りしたところ、園児から「アンコール！」の声が上がった。また、園児たちはすぐに歌詞やメロディーを覚えて「ラサ・サヤン…」と歌っていた。

大使館交流

千代田区立いずみこども園 モザンビーク共和国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年9月22日（金）
11:00～11:30
場所：千代田区立いずみこども園

2. 参加者

千代田区立いずみこども園（都側）
年長

3. 交流相手

モザンビーク共和国大使館
フランシスコ・ボアヴィーダ・
ザンダメラ様



↑講演はポルトガル語と日本語で
行われた。



↑大使館員の手作りの糸電話

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② モザンビーク大使館による講演
 - ・モザンビークの概要紹介
 - ・モザンビークの子供の遊びについて
 - ・民族人形・楽器について
- ③ 質疑応答
- ④ 閉会のことば

5. 参加者の様子等

- ◆モザンビークの概要紹介において、モザンビークの地図上の位置や国土の広さ、気候、国旗、言語等の基本情報をご紹介いただいた。
- ◆モザンビーク～日本間は飛行機で21時間かかると紹介があると、園児からは「1日があと3時間しか残らない」と驚きの声があがった。
- ◆モザンビークの子供の遊びについて、糸電話や缶ぽっくり等をご紹介いただいた。糸電話を実際に使用し、大使館員と「もしもし」と話し、交流する園児もいた。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2024年9月25日(水)

11:00～11:40

場所：千代田区立いずみこども園

2. 参加者

千代田区立いずみこども園（都側）

年長 27名、保護者 2名

教員 3名

3. 交流相手

駐日ウルグアイ東方共和国大使館

二等書記官兼領事

マキシミリアノ・ダ・シルバ様

4. 当日のスケジュール

① ウルグアイ大使館より

- ・講師から自己紹介
- ・ウルグアイについて講演

② いずみこども園より

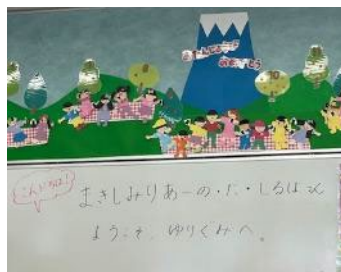
- ・手遊びの紹介
- ・お礼の歌

③ 記念写真

千代田区立いずみこども園 ウルグアイ大使館による学校訪問



↓ ↑園が用意した
ウェルカムボード



↑講演



↑一緒に手遊び



↑お礼の歌

5. 参加者の様子等

- ◆講師は、最初に「南米のウルグアイから来ました。ウルグアイはここにあります。」と地図を指しながら、自己紹介をした。
- ◆園児たちは「ウルグアイでは人より牛の方が多い」と聞いて驚いたり、「有名な食べ物は何ですか？」などの質問をしたりと、積極的に参加していた。
- ◆園児たちは二人一組で向かい合って行う餅つきの手遊びを披露し、講師もこれに参加した。
- ◆講師は終始笑顔で、園児たちの人気者であった。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2025年9月22日(月)
9:30～10:10

場所：千代田区立いずみこども園

2. 参加者

千代田区立いずみこども園（都側）
年長 29名（1クラス）

3. 交流相手

駐日メキシコ合衆国大使館
報道・メディア担当官職員1名
文化部アシスタント職員2名

4. 当日のスケジュール

- ① 園長より挨拶
- ② 大使館よりメキシコについてのプレゼンテーション&クイズ
- ③ メキシコの昔遊び
- ④ 質疑応答
- ⑤ お礼の歌

千代田区立いずみこども園 メキシコ合衆国大使館による学校訪問



↑講演を真剣に聞く園児たち



←アビオンシートを
体験する園児



↑クイズのコーナーではA/Bに分かれて大盛り上がり

園児から歌のプレゼント→



5. 参加者の様子等

- ◆ 都側の園児たちがスペイン語で「ようこそ！」と書かれたウェルカムボードを事前に準備。当日はボードを展示して歓迎した。
- ◆ 大使館からのプレゼンテーションでは、メキシコの地理や魅力について園児でも分かりやすいように地図や動画を用いて講演した。
- ◆ プレゼンテーション後はAとBの2択でメキシコに関するクイズを6問楽しんだ。自分たちが正解だと思うアルファベットの前に立ち、正解すると大盛り上がりだった。
- ◆ クイズの後はメキシコの昔遊び（アビオンシート）を園児一人ずつ体験した。日本の「けんけんぱ」に似た遊びであったため慣れた様子で楽しみ、より自然体で親しむ姿が見られた。

手紙・カードやメールの交換

● 小学校

[!\[\]\(2bdfe261b986065ee0ac76460d6528c9_img.jpg\) 目次へ戻る](#)

カード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2022年7月27日（水）

2. 参 加 者

あきる野市立増戸小学校（都側）
英語クラブ4～6年生 19名

3. 交 流 相 手

台湾 台北市
再興學校小學部

あきる野市立増戸小学校 台湾の学校とのカード交換



↑ 児童が作成したカード

4. 実施までのスケジュール

- ① カードの作成
- ② 学校から事務局へカードの郵送
- ③ カードの発送
 - ・コンシェルジュ事務局より交流相手校へカードを発送

5. カードの内容等

- ◆ 日本らしいイラストや折り紙等が添えられ、海外の児童にも大変喜ばれそうな仕上がりとなっていた。
- ◆ カードには、児童の名前と好きなもの等が英語で丁寧に書かれていた。
- ◆ 交流相手校からは、「大変かわいらしいカードで、英語のライティングもとてもきれい！」との感想が寄せられた。

カード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2022年12月27日（火）

2. 参 加 者

練馬区立大泉西小学校（都側）
3年生 2クラス 59名

3. 交 流 相 手

香港
St Margarets Co-Educational English
Secondary & Primary School

練馬区立大泉西小学校 香港の学校とのカード交換



↑ 2枚1組で作成されたカード

4. 実施までのスケジュール

- ① カードの作成
- ② 学校から事務局へカードの郵送
 - ・大泉西小学校よりコンシェルジュ事務局へカードを郵送
- ③ カードの発送
 - ・コンシェルジュ事務局より交流相手校へカードを発送

5. カードの内容等

- ◆ 児童は2人1組で1枚の年賀状を作成した。
- ◆ 児童はカードにHAPPY NEW YEAR等の挨拶や名前、好きなものの等を書き、各自、年賀状らしいイラストを添えた。

動画交流

杉並区立新泉和泉小学校 オーストラリアの学校との動画交換

1. 相手校への送付日

送付日：2023年7月20日（木）

2. 参 加 者

杉並区立新泉和泉小学校（都側）
5年生 33名

3. 交 流 相 手

オーストラリア連邦 ビクトリア州
Oakleigh South Primary School

自己紹介をする児童→



↑新泉和泉小の動画



↑都側のビデオを熱心に視聴する
オーストラリア側の児童

4. スケジュール

- ① 新泉和泉小学校にて動画の作成
- ② 動画のアップロード（都側から）
 - ・学校から事務局に動画の共有
- ③ Oakleigh South 小学校にて動画の作成
- ④ 動画のアップロード（オーストラリア側から）
 - ・学校から事務局に動画の共有

5. その他

- ◆ 予定しているオンライン交流の前段階として、自己紹介動画を交換した。
- ◆ 日本語を勉強しているオーストラリアの児童からは、日本語と英語の動画が届いた。「みんな英語が上手だね!」、「交流会を楽しみにしているよ」等のメッセージがあり、オンライン交流に向けて高揚感を増す内容となっていた。

カード交換

八王子市立鹿島小学校 台湾の学校とのカード交流

1. 相手校への送付日

送付日：2023年12月21日(木)

2. 参加者

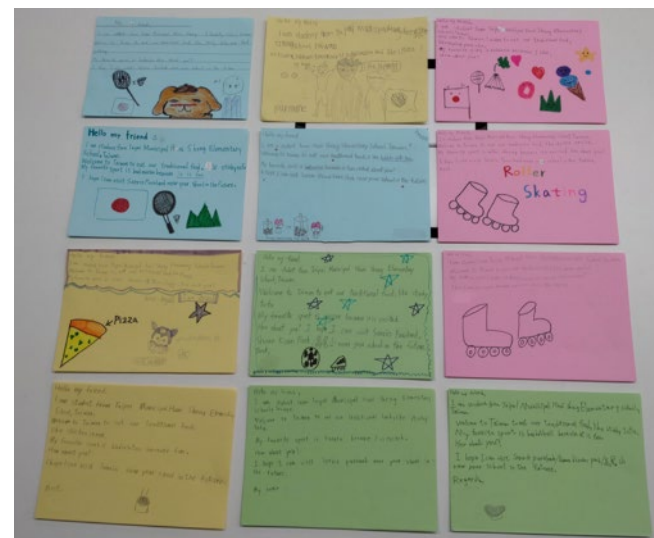
八王子市立鹿島小学校（都側）
4年生 22名

3. 交流相手

台湾 台北市
Huai Sheng Elementary
School



↑ 鹿島小学校の児童が作成したカード



↑ Huai Sheng小学校の児童が作成したカード

4. スケジュール

- ① カードの作成
- ② 事務局へカードを郵送
 - ・ 鹿島小学校よりコンシェルジュ事務局へカードを郵送
- ③ 交流校への郵送
 - ・ 事務局より交流相手校へカードを郵送
- ④ 交流校からのカード受領
 - ・ 事務局が交流相手校からのカードを受領
- ⑤ 鹿島小学校へカードを郵送
 - ・ 交流相手校から受領したカードを事務局より鹿島小学校へ郵送

5. その他

- ◆ 昨年度、オンライン交流等を実施した台湾の Huai Sheng 小学校とカード交流を行った。
- ◆ 鹿島小学校が22名の小規模なクラスだったため、台湾側の2クラスの児童を2～3人のグループに分けて数を合わせてもらい、交流を実施した。
- ◆ 都側の児童から送ったクリスマスカードは、サンタクロースやクリスマスツリー等の色彩鮮やかなイラストが印象的だった。
- ◆ 台湾側からのカードには、自己紹介や好きな食べ物、好きなスポーツ等が記入されていた。また、鹿島小学校近くにあるテーマパークや公園、山等の名前をあげて、「その場所に行きたい」といった希望が書かれているカードもあった。

カード交換

羽村市立小作台小学校 台湾の学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

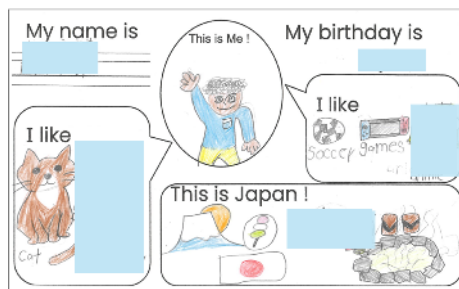
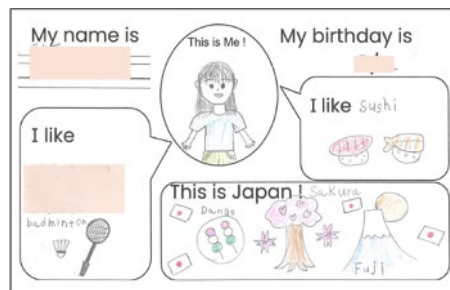
送付日：2024年11月20日（水）

2. 参加者

羽村市立小作台小学校（都側）
4年生 53名

3. 交流相手

台湾 台北市
Xing-An Elementary
School



都側の児童が作成したカード



台湾側の児童が作成したカード

4. スケジュール

- ① グリーティングカード作成
 - ・小作台小学校4年生53名がカードを作成、事務局へ送付
- ② 事務局にて交流校を探し、決定後カードを送付
 - ・台湾 Xing-An Elementary Schoolと作成日などを調整
 - ・都側のカードを郵送
- ③ 台湾側のカード作成及び事務局経由にて都側学校への送付
 - ・Xing-An Elementary Schoolからカードを受領
 - ・事務局から小作台小学校へカードを送付

5. その他

- ◆ 都側のカードは、名前・誕生日・好きなもの・自身と日本の紹介をする定型フォームになっており、児童は手描きでカラフルなイラストを描いていた。
- ◆ 台湾側のカードには、名前、好きなもの、嫌いなもの、好きなスポーツ・食べ物・動物・色、将来なりたい職業などが書かれていた。カードの中で、台湾の有名な食べ物・飲み物として臭豆腐やタピオカティーを挙げていた。「台湾へ来てね」と書いている児童もいた。

カード交換

小平市立小平第五小学校 台湾の学校とのカード交換

1. 相手校への送付月

送付月：2025年4月

2. 参加者

小平市立小平第五小学校（都側）
旧5年生 131名

3. 交流相手

台湾 新竹市
National Experimental High School
at Hsinchu Science Park
5年生 114名

4. スケジュール

- ① 都側より事務局へカードを提出
- ② 事務局から台湾側へ都側のカードを発送
- ③ 台湾側より返信カードを受領
- ④ 事務局より都側へ台湾側のカードを発送



↑ 都側児童が作成したカード



↑ 台湾側が作成したカード

5. その他

- ◆ 都側児童は、英文で「日本へようこそ！」と書き、各人が選んだ都道府県の名所・名物・特徴等について、イラストを添えて紹介した。
- ◆ 台湾側児童は、都側からのカードに合わせて、英語で「台湾へようこそ！」と書き、好きな季節と台湾の名所を、イラストを添えて紹介した。
- ◆ 交流後、新学期5月に入ってから、台湾からの返事を受けとった児童たちは、「え！本当に返事がきたの？！すごい！」と喜んでいて、「台湾の名所、アイスクリーム屋さんや動物園、学校のことなど、台湾の魅力を紹介してもらったので、今度はこちらからも地域のおすすめの場所を紹介したい」と、今後の交流につながるコメントを担当教員からいただいた。

カード交換

港区立白金小学校 台湾の学校とのカード交換

1. 相手校への送付月

送付月：2025年6月16日(月)

2. 参加者

港区立白金小学校
6年生 123名 4クラス

3. 交流相手

台湾 台北市
Xing-An Elementary School
4年生 58名

4. スケジュール

- ① 事務局にて、台湾からのカードを国際郵便で受領
- ② 白金小学校へ発送
- ③ 白金小学校より返信カードを受領
- ④ 台湾へ国際郵便で発送



←台湾側児童
が作成した、
絵葉書



←↑都側児童が作成し
た、
絵葉書



5. その他

- ◆ 先に台湾から、片面は絵、もう片面は文章と宛名、差出人が書かれた絵葉書が届いた。児童によるイラストは、台湾の名所や名物、自分の好きなものなどが描かれており、児童一人一人の個性が発揮されていた。
- ◆ 都側の児童も、台湾からのカードに合わせ、絵と文章による絵葉書を作成した。学習した英語のフレーズを活用して、それぞれが日本について紹介したいことを1枚のカードに表現した。
- ◆ 白金小学校の児童は、台湾側の児童に伝わるように、また、喜んでもらえるように工夫してカードを作成した。

カード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2025年7月下旬

2. 参加者

荒川区立第三日暮里小学校（都側）
6年生 合計81名

3. 交流相手

アメリカ合衆国 ミシガン州
Copper Island Academy
中学1年生 30名

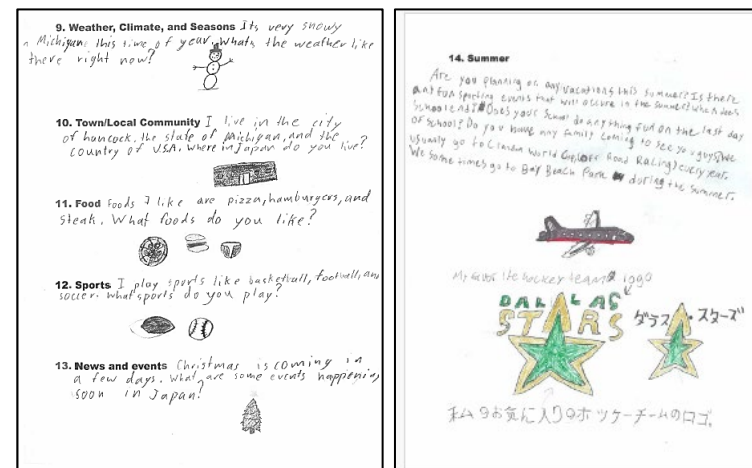
荒川区立第三日暮里小学校 アメリカ合衆国の学校とのカード交換



↑ 都側が作成したビデオとカード↓



アメリカ側が作成したカード↓



4. スケジュール

- ① 都側よりビデオとカードのデータ受領
- ② アメリカ側にデータ共有
- ③ アメリカ側よりカードをデータで受領
- ④ 都側へデータを共有

5. その他

- ◆ 都側は、学校生活の授業や発表会の様子等についてビデオ作成した。
- ◆ 都側児童のカードは、教科書の学習内容に合わせて、写真に詳細な説明を加えてまとめたもの。日本の食べ物やお祭りなど、様々な角度から日本文化を紹介し、写真やイラストを用いた綺麗なカードに仕上げていた。
- ◆ アメリカ側生徒のカードでは、食べ物やスポーツ、自分の最近のニュースなど、定められた14項目についてコメントとイラストが描かれていた。中には、日本語で書かれているカードもあった。

カード交換

練馬区立上石神井小学校 オランダの学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2025年10月17日(金)

2. 参加者

練馬区立上石神井小学校
6年生 4クラス 119名

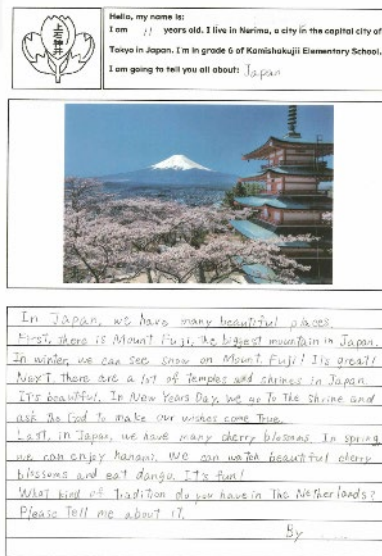
3. 交流相手

オランダ王国 ブレダ市
Nbs Dirk van Veen
Grade 8, 2 groups, 45名



↑オランダ側の
日本人サッカー選手
を紹介するカード

美しいアムステルダム
の街を紹介するカード
↓



←↑都側児童が作成した
カードは、自己紹介と
文化紹介の2種類に分か
れていた

4. スケジュール

- ① 上石神井小学校は自己紹介カードを作成
- ② 事務局は同カードをオランダの交流校へ送付（第1回）
- ③ 交流校作成のカードを、上石神井小学校へ送付
- ④ 上石神井小学校は返信用の文化紹介カードを作成
- ⑤ 事務局はカードを交流校へ送付（第2回）

5. その他

- ◆ 都側児童は、全員が自己紹介カードを作成した。その後オランダ側から受領したカードにさらに返信する形で文化紹介のカードを作成。文化紹介カードは、茶道、おじぎ、花火、夏祭り、大阪万博など12のテーマに沿って詳しく説明するものであった。
- ◆ オランダ側児童のカードは Netherlands, King's Day, Christmas, Amsterdam, Houses, Transport, Liberation Day, Foot ball など21のテーマに沿って写真をたくさん用いて説明するものであった。
- ◆ 都側・オランダ側の児童双方ともカード交換に積極的に取り組み、終了後には今後の継続交流に向けての打合せも行った。

カード交換

福生市立福生第二小学校 韓国の学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2025年12月23日(水)

2. 参 加 者

福生市立福生第二小学校（都側）
4年生 62名

3. 交 流 相 手

大韓民国 仁川広域市
Incheon Sangoknam
Elementary School
4年生 69名



↑都側児童が作成したカード



↑ 韓国側が作成したカード

4. スケジュール

- ① 韓国側児童によるクリスマスカード作成
- ② 事務局から都側児童へデータ共有
- ③ 都側児童によるクリスマスカード作成
- ④ 事務局より韓国側児童へカードを郵送

5. その他

- ◆ 7月に6年生がオンライン交流をした韓国側の学校と、今回は4年生同士でクリスマスカード交換を実施した。
- ◆ 韓国側児童によるカードは、日本語を使った色鮮やかなデジタルカードであった。
- ◆ 都側児童は色画用紙を用いて、カラフルなカードを作成した。中には、ハングル文字を記入したカードもあり、相手側のことを考えた工夫を凝らしたカードであった。

オンライン交流

小学校

 [目次へ戻る](#)

ビデオチャット交流

八王子市立鹿島小学校 オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2021年6月24日（木）

10：30～11：10

場所：Skypeによる開催

2. 参加者

八王子市立鹿島小学校（都側）
4年生 20名

3. 交流相手

オーストラリア連邦
タスマニア州
Holy Rosary Catholic School



じゃんけん大会の様子



ビデオチャットのセット



オーストラリア側からの質問に対して積極的に手を挙げる日本側の児童たち

4. 当日のスケジュール

- ① オーストラリアの紹介（コンシェルジュから）
- ② タスマニアの紹介（オーストラリア側から）
例）タスマニアが地図のどこに位置しているか。
- ③ 各テーマに沿ってグループごとに発表
（日本側とオーストラリア側が交互に発表）
例）好きなアニメや漫画、キャラクター、食べ物、動物、ダンス 等
- ④ じゃんけん大会
- ⑤ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ お互いに知っていることがあったり、好きなものが共通していたりすると、とても盛り上がっていた。
- ◆ 日本側の児童が音楽に合わせてダンスを披露した際、両校とも非常に楽しそうにしていた。
- ◆ チーム戦で行ったじゃんけん大会は、とても盛り上がっていた。
- ◆ コンシェルジュで通訳や司会をさせていただき、交流会はスムーズに進んだ。
- ◆ ビデオチャットの終了後は、日本側の児童から「楽しかった！」という声が聞こえた。

ビデオチャット交流

板橋区立赤塚新町小学校 オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年6月6日（月）
11：00～11：45
場所：板橋区立赤塚新町小学校

2. 参加者

板橋区立赤塚新町小学校（都側）
5年生 33名

3. 交流相手

オーストラリア連邦
クイーンズランド州
Grand Avenue State School



手を振って挨拶をする様子



オーストラリア側の児童による日本語での発表に
拍手を送る児童たち

4. 当日のスケジュール

- ① オーストラリアの紹介（コンシェルジュから）
- ② 各テーマに沿ってグループごとに発表
（都側とオーストラリア側が交互に発表）
例）好きな食べ物、アニメ、季節、ゲーム、教科、動物等
- ③ じゃんけん大会
- ④ お誕生日の児童への「ハッピーバースデー」合唱
（都側、オーストラリア側合同）
- ⑤ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 赤塚新町小学校の児童にとって初めてのビデオチャット交流であったが、活発に会話を楽しんでた。
- ◆ 交流途中から「楽しい！」との声があがり、特にアニメやゲームの紹介時には大変盛り上がっていた。
- ◆ オーストラリア側の好きな食べ物の発表時に両国で有名なハンバーガーショップが紹介されると、児童はとても喜んでおり、国は違っても共通点があることを実感しているようであった。
- ◆ 最後のじゃんけん大会には、担任教諭のはからいで当日に誕生日を迎えた2名の児童が代表に選ばれ、それを聞いたオーストラリア側の提案で「ハッピーバースデー」の大合唱が行われた。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年6月14日（火）
11：00～11：40
場所：葛飾区立東柴又小学校

2. 参加者

葛飾区立東柴又小学校（都側）
5年生 25名

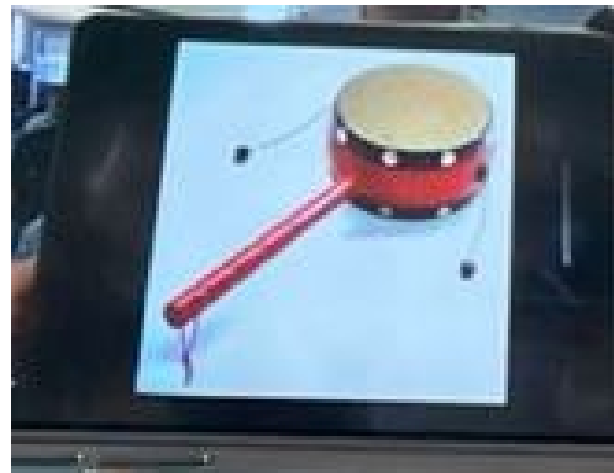
3. 交流相手

オーストラリア連邦
Holy Rosary State School

葛飾区立東柴又小学校 オーストラリアの学校とのビデオチャット交流



グループごとにトピックに沿って発表をしている様子



交流校から紹介された日本の「でんでん太鼓」

4. 当日のスケジュール

- ① オーストラリアの学校紹介（コンシェルジュから）
- ② 各テーマに沿ってグループごとに発表
（都側とオーストラリア側が交互に発表）
トピック：場所、動物、特産品、工芸品、アニメ、
スポーツ等
- ③ じゃんけん大会
- ④ 挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆バーチャル地球儀の機能を使い、自校から交流校にジャンプするところから交流がスタートした。
- ◆場所のトピックでは、児童は、鎌倉の大仏や法隆寺、雷門の近くには多くのお店がある事などを紹介した。また、相手校から、美しく広い海岸等の紹介がされると、ワーンと声をあげて、反応していた。
- ◆動物のトピックでは、タスマニアタイガーやタスマニアデビルが紹介された。
- ◆特産品のトピックでは、相手校から日本の「でんでん太鼓」の紹介があり、児童は、沢山の日本文化が浸透していることに驚いていた。
- ◆最後はじゃんけん大会で盛り上がり、終了した。児童は口々に

ビデオチャット交流

品川区立城南小学校

オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年6月17日（金）

11：00～11：40

場所：品川区立城南小学校

2. 参加者

品川区立城南小学校（都側）

2年生 58名

3. 交流相手

オーストラリア連邦

クイーンズランド州

Grand Avenue State School



小学校のはっぴを着て日本の行事の紹介をする児童



コマ回しやあやとり、お手玉などを披露している様子

4. 当日のスケジュール

① オーストラリアの学校紹介（コンシェルジュから）

② 各テーマに沿ってグループごとに発表

（都側とオーストラリア側が交互に発表）

トピック：学校紹介、遊び、アニメ、習い事、

お菓子、行事等

③ じゃんけん大会

④ 挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 交流の最中は、英語で話す児童も日本語だけの児童もいた。
- ◆ よく食べているお菓子のトピックでは、日本で人気のスナック菓子などを、「日本のお菓子はおいしいです。ぜひ食べて下さい。」と紹介していた。
- ◆ じゃんけん大会では4人の日直の児童が代表として参加し、1勝3敗で負けてしまったが、盛り上がっている様子だった。
- ◆ 交流後に、都側の児童から日本とオーストラリアの共通点・異なる点の発表があった。長く続いているアニメが人気であることが共通している、相手校の児童はマスクをしていなかったり、机がグループ毎になっていたりする点は異なる、といった発見があった。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年6月23日（木）
10：30～11：15
場所：西東京市立向台小学校

2. 参加者

西東京市立向台小学校（都側）
5年生 37名

3. 交流相手

オーストラリア連邦
タスマニア州
Holy Rosary Catholic School

4. 当日のスケジュール

- ① オーストラリアの紹介（コンシェルジュから）
- ② 各テーマに沿ってグループごとに発表
(市側とオーストラリア側が交互に発表)
トピック：好きな食べもの、好きなスポーツ、好きなゲーム、行ってみたい国・場所 等
- ③ じゃんけん大会
- ④ 終わりの挨拶

西東京市立向台小学校 オーストラリアの学校とのビデオチャット交流



←児童の座る位置の目印として、テーマを書いた紙が置かれた



←けん玉を披露する児童



↑じゃんけんに勝ち喜ぶ児童たち

5. 参加者の様子等

- ◆ 開始前、児童たちは談笑したり、特技を披露する準備をしたりと、リラックスしている様子であった。
- ◆ 「My favorite ○○ is …」の表現を用いて、各児童の好きなものをオーストラリア側に伝えた。
- ◆ 市側の児童が、行きたい場所としてグレートバリアリーフを挙げたところ、オーストラリア側の教諭は、自ら撮影した海の写真を見せてくれた。

ビデオチャット交流

江戸川区立船堀第二小学校 香港の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年5月23日（火）
11：30～12：15
場所：江戸川区立船堀第二小学校

2. 参加者

江戸川区立船堀第二小学校（都側）
6年生 39名

3. 交流相手

香港 Tang Shiu Kin
Primary School(TWGHs)
6年生 約40名



↑グループごとに発表を行っている様子



↑交流終了時に手を振り合う児童

4. 当日のスケジュール

① 6グループに分かれ、両校順番に発表・質疑応答

・発表

船堀第二小学校：名前、誕生日、自分の好きなもの等について

香港TWGHs：名前、自分の好きなもの等について

・質疑応答

例) 好きな食べ物、学習科目、学校行事、夏休みの時期、

香港への訪問経験について等

② 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

◆ 香港側の児童は、写真で2階建てバスや鉄道の駅等、香港の風景を見せたり、テコンドーの演舞を披露したりした。

◆ 両校の児童の発表では、スポーツ、アニメ、休日の過ごし方等共通のテーマも多く見られた。

◆ 全グループ発表後の終わりの挨拶では、児童は元気よく手を振り合い、打ち解けた様子だった。

ビデオチャット交流

目黒区立東根小学校 インドネシアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年6月7日（水）
8：50～9：35
場所：目黒区立東根小学校

2. 参加者

目黒区立東根小学校（都側）
5年生 35名

3. 交流相手

インドネシア共和国
SMA Darul Ulum
1～3年生 約7名



↑インドネシア側の紹介を熱心に聞いている児童



↑東根小学校の児童の発表

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
 - ・両校の児童・生徒による母語での挨拶
- ② 都側の発表
 - ・自校や日本の文化について紹介
- ③ インドネシア側の発表
 - ・インドネシアの文化について紹介
- ④ 両校の児童・生徒から感想や質問
- ⑤ 都側の代表児童から、終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ インドネシア側の生徒は、東根小学校の児童の発表に対して必ずリアクションを取っていた。また、交流が進むと、両校の児童・生徒は頻繁に手を振り合ったり、拍手をしたりしていた。
- ◆ 南中ソーランの動画に対して、インドネシア側から大きなリアクションがあり、東根小学校の児童は嬉しそうな様子だった。
- ◆ インドネシアの料理に関する発表の際には、じっくりと話を聞く児童が多く見られた。また、発表終了後、担当の先生に英語の意味を聞きに行く児童もいた。

ビデオチャット交流

足立区立新田学園新田小学校 オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年6月16日（金）
11：15～12：15
場所：足立区立新田学園新田小学校

2. 参加者

足立区立新田学園新田小学校（都側）
6年生 29名

3. 交流相手

オーストラリア連邦
クイーンズランド州
Grand Avenue State School



↑スポーツグループの児童は、各自好きなスポーツを紹介した後、ボールを使って実演した。

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② 5グループに分かれ、テーマについて交互に発表
 - ・アニメ、ゲーム、マンガ、動物、スポーツ
- ③ フリータイム
 - ・質疑応答
 - ・合唱(校歌)
- ④ 双方代表児童3名によるジャンケン大会
- ⑤ 終了の挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆新田小学校の児童は、用意した画像を見せながら、グループに分かれて自己紹介と好きなことについて発表した。スポーツについて発表したグループは、実際の競技を披露した。
- ◆動物のテーマで、都側の児童が飼っているウサギを紹介すると、オーストラリア側は、クイーンズランド州ではウサギを飼えない法律があることを教えてくれた。
- ◆新田小学校の児童が全員で校歌を歌うと、オーストラリア側の児童もお返しにスクールソングを歌ってくれた。

ビデオチャット交流

大田区立嶺町小学校 台湾の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年9月26日（火）

10：50～11：30

場所：大田区立嶺町小学校

2. 参加者

大田区立嶺町小学校（都側）

5年生 30名

3. 交流相手

台湾 台北市

Tsai Hsing Elementary School

4年生 42名

5年生 30名



↑ 児童の発表に対して多くの感想を述べてくれた
ALTの先生方



↑ クイズを英語で説明する児童

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶（都側：英語、台湾側：日本語）
- ② 都側の発表
 - ・ 自己紹介とクイズ
- ③ 台湾側の発表
 - ・ 自己紹介と台湾クイズ
- ④ フリートーク
- ⑤ 都側、台湾側より質疑応答
- ⑥ 閉会のあいさつ

5. 参加者の様子等

- ◆ 開始前、通信状況が不安定な時間があったため、待ち時間を利用して嶺町小学校の児童はALTの先生方に対してクイズ出題の練習をした。
- ◆ 児童は、ALTの先生方に指摘された点を修正し、本番の発表に臨んだ。
- ◆ 都側と台湾側で各5グループに分かれ、交互に自己紹介及びクイズの出題を行った。
- ◆ 最後に、モニターの画面前に児童が集まり、記念撮影を行った。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年11月29日（水）
9：30～10：15
場所：練馬区立上石神井小学校

2. 参加者

練馬区立上石神井小学校（都側）
4年生 30名

3. 交流相手

オーストラリア連邦
クイーンズランド州
McDowall State School

4. 当日のスケジュール

- ① 交流校紹介（Map機能を使って、交流校へジャンプ）
- ② 担任挨拶
- ③ グループごとに好きなことを発表
 - ・文化
 - ・食
 - ・趣味
 - ・有名な場所
 - ・日本製のキャラクター
- ④ 終わりの挨拶

練馬区立上石神井小学校

オーストラリアの学校とのビデオチャット交流



↑積極的に手を挙げる児童



↑「趣味グループ」の児童が作ったバッグ



↑ルービックキューブはその場で6面を完成！

←トピックを書いた紙

5. 参加者の様子等

- ◆ 黒板には『明るく元気にアイコンタクト』と書かれており、そのとおり元気いっぱいの交流となった。
- ◆ オーストラリア側の児童は日本語を学んでいるため、交流は英語と日本語の両方で行われた。
- ◆ 「有名な場所グループ」の発表では、オーストラリア側の児童からMOVIE WORLDという遊園地が大人気だと紹介された。
- ◆ 日本のキャラクターはオーストラリア側児童にも人気で、画像を見せると、その都度“Cute!”等の声があがった。

ビデオチャット交流

あきる野市立一の谷小学校 オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2024年6月6日(木)
10:05～10:40
場所：あきる野市立一の谷小学校

2. 参加者

あきる野市立一の谷小学校（都側）
6年生 23名

3. 交流相手

オーストラリア連邦 クイーンズランド州
Birkdale State School
日本語クラブ 4～6年生 計15名

4. 当日のスケジュール

- ① 初めのあいさつ
- ② 学校紹介
- ③ 自己紹介（好きな食べ物、スポーツ、動物等）
- ④ 和太鼓と伝統の踊り披露（都側）
- ⑤ ダンス披露（オーストラリア側）
- ⑥ 終了のあいさつ



←発表を聞く
都側の児童



←和太鼓披露の様子



←日本側から
「好きな動物」を質問

5. 参加者の様子等

- ◆「好きな動物」では、コアラなどのオーストラリアらしい動物が紹介された。
- ◆都側の児童が和太鼓に合わせて伝統の踊りを披露すると、オーストラリアの児童も即興でダンスを披露してくれた。
- ◆交流中に都側の学校のチャイムが鳴り、都側から何の音なのかを説明することで、チャイムが日本特有のものであることを知った。

ビデオチャット交流

西東京市立碧山小学校 ニュージーランドの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2024年9月17日（火）

10:20～10:55

場所：西東京市立碧山小学校

2. 参加者

西東京市立碧山小学校（都側）

5年生 28名

3. 交流相手

ニュージーランド ダニーデン市

Carisbrook School

3年生 16名



←ニュージーランド
側の自己紹介を
聞く



←元気にリアクション



←自己紹介（都側）



←趣味を披露（都側）

4. 当日のスケジュール

① 自己紹介（都側）

- ・自分の名前と好きなものを発表
おすすめの場所（好きな場所）、好きな動物
好きな食べ物、好きなスポーツ、趣味

② 自己紹介（ニュージーランド側）

- ・自分の名前と好きなものを発表
おすすめの場所（好きな場所）、好きな動物
好きな食べ物、好きなスポーツ、趣味

③ お別れのあいさつ

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側の児童はそれぞれが自己紹介した後、タブレットを使って写真やイラストを見せながら自分の好きなものを紹介した。
- ◆ ニュージーランド側は、各児童が個性あふれる手描きイラストを用意して、好きなものを紹介した。
- ◆ スポーツの話題では、ニュージーランド側が「サッカーが人気で、冬は校庭がスケートリンクになる」という説明をし、都側の児童からは驚く声が上がった。

ビデオチャット交流

板橋区立志村第六小学校 台湾の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2024年10月16日(水)
9:50～12:05
場所：板橋区立志村第六小学校

2. 参加者

板橋区立志村第六小学校（都側）
6年生 96名

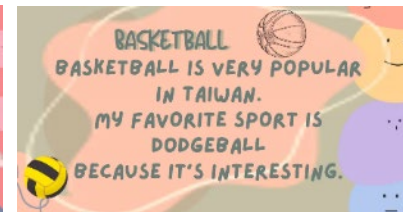
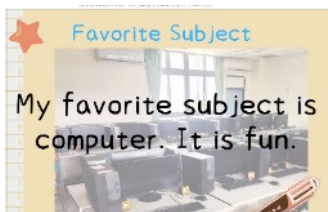
3. 交流相手

台湾 新竹県竹東鎮
Hsinchu County Erchong
Elementary School



← 記念写真

↓ 台湾側の発表スライド



4. 当日のスケジュール

- ① 初めの挨拶（都側、台湾側）
- ② 自己紹介（都側）
 - ・ 学校紹介、好きな食べ物、文化、観光地、行事について
- ③ 自己紹介（台湾側）
 - ・ 台湾のお祭り食べ物、行事、観光地について
- ④ Q & A セッション（都側、台湾側）
- ⑤ お別れの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側・台湾側の各クラスの元気な挨拶で交流を始めた。
- ◆ 自己紹介（発表）は、都側と台湾側とが、交互に実施した。
- ◆ 都側は、用意した資料をタブレットで見せながら発表した。
- ◆ 台湾側は、スライドを共有しながら、様々な情報を発信した。
- ◆ 双方からの発表はスムーズに終わり、児童たちは、その後のQ&Aセッションでも活発に質疑応答していた。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2025年9月12日(金)
13:40~14:25
場所：世田谷区立明正小学校

2. 参加者

世田谷区立明正小学校（都側）
6年生 33名

3. 交流相手

フィリピン共和国 モンティンルパ市
De La Salle Santiago Zobel School
5年生 22名

フィリピンの
人気グルメを紹介 →

世田谷区立明正小学校

フィリピンの学校とのビデオチャット交流



↑フィリピン側児童の様子



← 都側児童の様子



日本の冬の食べ物
餅入りぜんざい
を紹介↓



4. 当日のスケジュール

- ① 始まりの挨拶
- ② 都側児童の発表
・四季の行事や食べ物、見どころ等の紹介
- ③ フィリピン側児童の発表
・観光名所・祭り・食べ物・伝統文化等の紹介
- ④ Q&A
- ⑤ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側の児童は、春のお花見や夏のかき氷、秋の紅葉や冬のお正月・スキーなど、日本ならではの季節ごとの楽しみを紹介した。写真を見せながら説明を行うことで、生活や文化を相手にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られた。
- ◆ フィリピン側の児童は、スライドを使って観光名所やフィリピンの食べ物、お祭り、伝統文化等について紹介を行った。
- ◆ Q&Aでは、フィリピンの児童が次々に前に出て、積極的に多くの質問をしていた。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2025年11月17日(月)

10:40～11:35

場所：新島村立式根島小学校

2. 参 加 者

新島村立式根島小学校（都側）

3～6年生：13名

3. 交 流 相 手

ベトナム社会主義共和国
ドンナイ省

Tri Thuc School

小学部 3～5年生：22名

4. 当日のスケジュール

- ① 始まりの挨拶
- ② 都側児童の発表
・ 式根島の四季について
- ③ ベトナム側児童の発表
・ 自己紹介（学校、好きな教科、趣味）
- ④ Q&A
- ⑤ 終わりの挨拶
- ⑥ 記念撮影

新島村立式根島小学校

ベトナムの学校とのビデオチャット交流



↑
←都側児童の発表とその様子



ベトナム側
児童の様子→



5. 参加者の様子等

- ◆ 都側児童は、式根島の春夏秋冬の自然の移り変わり、四季折々の島の生活をスライドを用いて紹介した。春は魚釣り、夏はマリンスポーツ、秋は伝統のお祭り、冬は海岸の温泉など、島の魅力を懸命に英語で伝えた。
- ◆ 双方とも学年混合の交流となり、低学年児童は恥ずかしがることなく元気よく発表し、高学年児童は丁寧に説明をしており、年齢に応じた成長が感じられる発表であった。
- ◆ Q&Aではベトナム側児童が積極的に都側児童に質問をしていた。その質問をきっかけに更にコミュニケーションが深まり、お互いにしっかりと話し合うことができていた。

ビデオチャット交流

足立区新田学園足立区立新田小学校 カザフスタンの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2025年11月25日(火)
13:25～14:10
14:20～15:05
場所：足立区立新田小学校

2. 参加者

足立区新田学園
足立区立新田小学校（都側）
6年2クラス 計60名

3. 交流相手

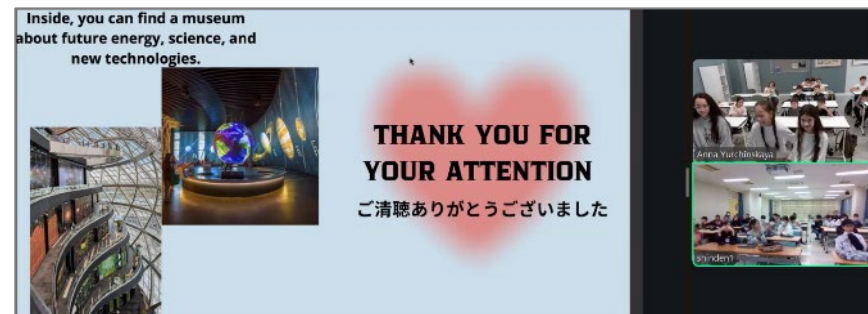
カザフスタン共和国
アスタナ市
Quantum STEM School
6年生 各20名



都側児童の発表の様子 ↑
カザフスタン児童の発表を聞く様子 ↓

都側児童の
スライド →

カザフスタン児童の
スライド ↓



4. 当日のスケジュール

- ① 始まりの挨拶
- ② 都側児童とカザフスタン側児童の発表
・ 都側児童 6グループ、カザフスタン児童 6グループ
交互に発表
- ③ Q & A
- ④ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側児童は、自己紹介と共に、日本食や和スイーツ、アニメ、観光地、文化について発表した。イラストや写真を多用し、視覚的に分かりやすい資料を作成、さらに詳細な説明も加え、しっかりと下調べがされていた。
- ◆ カザフスタン側児童は、日本とは大きく異なる自然環境、食べ物、動物、スポーツについて発表した。内容はとても詳しく、日本語や日本らしいデザインも取り入れられていた。
- ◆ Q&A セッションでは、現在時刻を英語で尋ね合い、時差を実感したり、その場で思いついた質問を英語でやり取りするなど、積極的に挑戦していた。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2025年12月1日（月）
9:40～10:25
10:45～11:30
場所：杉並区立荻窪小学校

2. 参加者

杉並区立荻窪小学校（都側）
5年生 2クラス 61名

3. 交流相手

香港
TWGHs Tang Shiu Kin
Primary School
4年生 2クラス 42名

4. 当日のスケジュール

- ① 始まりの挨拶
- ② 都側児童・香港側児童の発表
・ 5グループに分かれて交代しながら発表
- ③ 質疑応答
- ④ 終わりの挨拶と記念撮影

杉並区立荻窪小学校 香港の学校とビデオチャット交流



←発表の様子

（左）ジェスチャーを加えながら
コミュニケーションを取る都側児童
（右）発表を聞く香港側児童

質疑応答後の記念
撮影の様子 →
（右）都側児童
（左）香港側児童



5. 参加者の様子等

- ◆ 都側児童の発表では、自己紹介に加え都内のランドマークや好きな場所を発表。また「香港にはどんな場所があるか」と英語で質問をした。
- ◆ 小人数のグループ活動のため、双方ともそれぞれが英語を活用する機会を得られ、難しさを感じつつも積極的に英語で伝えようとする姿が見られた。
- ◆ 香港側児童は、グループ毎に発表のテーマが異なっており、ランドマーク、好きなアニメキャラクター、食文化、香港のヒーローなどについて紹介した。
- ◆ アニメやオンラインゲームなど双方の共通認識のテーマの際には、手を振ったりジェスチャーで○を作るなど、共感した気持ちを身振りを加えてコミュニケーションをとっていた。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2026年1月20日(火)

①10:55～11:40

②14:20～15:05

場所：大田区立嶺町小学校

2. 参加者

大田区立嶺町小学校

6年生 ①60名 ②90名

3. 交流相手

台湾 南投県

Fukong Elementary School

5年生 ①23名 ②23名

4. 当日のスケジュール

- ① 始まりの挨拶
- ② 日本側児童、台湾側児童による発表
 - ・日本側児童を2グループに分け、午前と午後の2回実施
- ③ Q & A セッション及び写真撮影
- ④ 終わりの挨拶

大田区立嶺町小学校 台湾の学校とのビデオチャット交流



↑ 日本側児童の発表の様子 ↓



↑ 台湾側児童の発表の様子 ↓



5. 参加者の様子等

- ◆ 日本側児童は、日本と大田区の地域の特色の紹介や、学校行事や給食、休み時間の過ごし方、クラブ活動等の学校生活について、それぞれが短く簡潔な英語で発表した。
- ◆ 台湾側児童は、自己紹介とともに、ペット、好きな食べ物、紹介したい台湾の場所、趣味等を英語で紹介した。また、午後の交流ではSDGsについて学習したことを発表した。
- ◆ Q&Aでは、質問だけではなく、台湾側の質問への回答を希望する児童たちの手が次々と挙がり、児童たちは対話をとても楽しみながら積極的に参加していた。
- ◆ 終了後、台湾側からとても良い交流ができた后感想が届き、次回以降の交流を検討することになった。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2026年1月20日(火)

11:25～12:10

場所：八王子市立鹿島小学校

2. 参加者

八王子市立鹿島小学校(都側)
4年生 20名

3. 交流相手

台湾 台北市
Huai Sheng Elementary School
4年生 25名

4. 当日のスケジュール

- ① 始まりの挨拶
- ② 都側児童、台湾側児童の発表
・双方ともに4グループに分かれ交互に発表
- ③ Q&A セッション
・全員でダンス
- ④ 終わりの挨拶

八王子市立鹿島小学校 台湾の学校とのビデオチャット交流



↑都側児童の発表の様子↓



↑都側児童の様子

↑台湾側児童の様子



都側児童に合わせて、台湾側児童も一緒にダンスをする様子 ↑

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側児童は自己紹介とともに、日本の魅力、歌、遊び、漫画、アニメを紹介した。ダンスや、あやとり、コマ廻し、けん玉など実演を取り入れ、見る側を楽しませる構成であった。
- ◆ 台湾側児童は、好きな食べ物、好きな教科、学校での活動、街の様子について紹介した。おいしい食べ物や、台湾の有名な建築などの写真をカメラの前に映しながら発表した。
- ◆ Q&A セッションでは、双方の児童が相手国の現在時刻を聞いて時差を確認していた。また、最後には一緒にダンスを踊り、一体となって交流を楽しんでいた。

在京大使館との交流

小学校

 [目次へ戻る](#)

留学生による講演

豊島区立長崎小学校 独立行政法人日本学生支援機構による講師派遣

1. 日時・場所

日時：2021年10月27日（水）
10：40～11：25
場所：豊島区立長崎小学校

2. 参加者

豊島区立長崎小学校（都側）
4年生 39名

3. 交流相手

（独）日本学生支援機構より派遣
された留学生講師1名
（ボスニア・ヘルツェゴビナ）

4. 当日のスケジュール

- ① 講師による出身国の紹介
 - ・地理、人口、宗教、自然
 - ・首都の紹介（街並みやオリンピックの歴史）
- ② ボスニア語での挨拶や自己紹介の練習
- ③ 質疑応答

例）・どのような教科を勉強するのか。
・学校に制服はあるか。
・日本から伝わった有名なものは何か。
- ④ 児童によるお礼の言葉
（②以外は日本語で実施）



講師にお礼を伝える児童



講師とボスニア語で会話をする児童



講演の様子

5. 参加者の様子等

- ◆講演の途中には、動画の観賞や講師から児童への質問等もあり、児童は集中して講演を聞いていた。
- ◆ボスニア語での挨拶や自己紹介を学んだ後、覚えた単語を使って隣の児童と練習をしたり、舞台上昇って講師と会話をしたりする等、実際にボスニア語を使用する時間が豊富だった。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2022年11月17日（木）

10：05～10：50

場所：目黒区立下目黒小学校

2. 参加者

目黒区立下目黒小学校（都側）

4年生 3クラス84名

3. 交流相手

在東京ツバル名誉総領事館
名誉総領事 遠藤 久高様

4. 当日のスケジュール

- ① 講師紹介、児童からの挨拶
- ② 名誉総領事よりツバルについての説明
（ナタノ首相からのビデオメッセージ紹介、国の概要、
「沈みゆく国ツバル」の現状等）
- ③ 質疑応答
- ④ 終わりの挨拶

目黒区立下目黒小学校 ツバル名誉総領事館とのオンライン交流



	ツバル	目黒
面積	25.1万平方キロメートル	14.67万平方キロメートル
人口	1.1万人	28.4万人
言語	英語・ツバル語	日本語
民族	大多数はポリネシア系	日本人
宗教	キリスト教	仏教
独立・区制	1978年(44年)	1932年(90年)

※ 左側は目黒区、右側はツバルのデータです。ツバルは国土が全体で251万平方キロメートルです。

↑ 目黒区とツバルの比較表

5. 参加者の様子等

- ◆ 領事館より前もって送付いただいた配布資料を用いて事前学習を行った。
- ◆ お借りしたツバルの民族衣装を代表児童が着用したり、民芸品・硬貨を手に取ったりして、貴重な資料を有意義に活用していた。
- ◆ ツバルと目黒区の大きさの比較等、説明は児童に分かりやすい内容であった。
- ◆ 気候変動やSDGsにも触れ、世界に目を向ける機会になった。
- ◆ 児童からは、「ツバルに行きたくなった。」「環境のために自分にできることを考えていきたい。」等の感想があがった。

国際関係団体との交流

1. 日時・場所

日時：2023年5月9日（火）

10：45～11：30

場所：中央区立阪本小学校

2. 参加者

中央区立阪本小学校（都側）

4～6年生 約90名

3. 交流相手

チェコ共和国大使館から紹介された
公益社団法人日本フォークダンス連盟のダンス
グループValaška（ヴァラシュカ）

ダンサー：イトウカ・ボヌショヴァー様
ヤン・プムプル様

演奏者：オンドウジェイ・ヴェセリー様
トマーシュ・フィエドゥレル様

通訳：横山 寿子様



←ダンスのお手本を
披露する講師

↓講師の皆様の紹介



↑1曲目は学年ごとの輪で、2曲目は全体で一つの大きな
輪を作って踊った

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶（日本語、チェコ語）
 - ・ 副校長先生より講師紹介
 - ・ 講師による挨拶（日本語、チェコ語）
- ② 通訳の方によるチェコ共和国の紹介
 - ・ チェコの基本情報についての講演及びクイズ
- ③ 楽器の紹介
- ④ チェコダンス体験
- ⑤ 児童からのお礼の挨拶
- ⑥ 写真撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ 阪本小学校の児童は、はじめに全員で「ドブリーデン」とチェコ語で挨拶をした。
- ◆ 通訳の方に、クイズを交えながらチェコ共和国の概要について講演を行っていただいた。
- ◆ チェコダンス体験では、2曲のフォークダンス曲を体験した。「靴職人」という曲では、靴をトンカチでたたき様子等、踊りの意味も教えていただきながら練習し、最後に全員で1曲通してダンスを踊った。

大使館交流

日野市立潤徳小学校 エジプト・アラブ共和国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年7月14日（金）

9：35～11：25

場所：日野市立潤徳小学校

2. 参加者

日野市立潤徳小学校（都側）

6年生 109名

3. 交流相手

エジプト・アラブ共和国大使館

文化・教育・科学局

森下様

ファトヒ様（※オンライン参加）

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
・児童によるアラビア語の歓迎
- ② エジプト大使館によるエジプトの紹介(日本語)
・歴史、文化、食事、服装、大使館での仕事等、幅広いトピックについて紹介
- ③ 潤徳小学校の児童による発表(英語)
・代表児童12名による日本の夏の風物詩についての紹介
・発表内容について森下様とファトヒ様からコメント
- ④ 質疑応答(日本語)



↑エジプトの紹介



↑花火の紹介



↑風鈴の紹介

5. 参加者の様子等

- ◆エジプト大使館の森下様によるエジプトの紹介は、動画や写真を使用して行われ、児童は集中して耳を傾けていた。
- ◆児童は自身が選んだ花火大会、風鈴、スイカ割りやお祭り等のトピックについて、スライドを用いて元気良く英語で紹介した。
- ◆質疑応答では、エジプトの夏の過ごし方や服装、移動方法、スポーツ、治安、災害、物価、現地で有名な日本企業等、幅広いトピックに対して、児童から30以上の質問が出た。

大使館交流

世田谷区立京西小学校 インド大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年10月5日（木）
10：00～11：30
場所：駐日インド共和国大使館

2. 参 加 者

世田谷区立京西小学校（都側）
3年生 106名
教員 4名

3. 交 流 相 手

駐日インド共和国大使館
特命全権大使：シビ・ジョージ閣下
ヴィヴェークナンド文化センター
カニカ・アガルワル所長

4. スケジュール

- ① インド大使館より講師等の紹介
- ② 講演
- ③ ヨガワークショップ
- ④ カタックダンス鑑賞
- ⑤ 大使挨拶
- ⑥ 記念撮影
- ⑦ タブラ（太鼓）の紹介と演奏の鑑賞
- ⑧ 終わりの挨拶



↑ 質問に対して盛んに手が挙がった



↓ 駐日インド大使との記念撮影

カタックダンスの実演→



5. 参加者の様子等

- ◆ 児童はインドについて事前学習を行った上で交流に臨んだ。
- ◆ ヨガは、座ったままでできるポーズを教えていただき、児童全員で挑戦した。
- ◆ 美しい衣装と宝飾を身につけたカタックダンサーの優雅な姿を見て、児童からは、「イメージしていたおりのインドの踊りだった」「本物が見られて嬉しかった」との声が上がった。
- ◆ タブラ（太鼓）の演奏では、2人の演奏者に大きさの違う4つのタブラについてご説明いただいた後、演奏を観賞した。

大使館交流

西東京市立碧山小学校 モルディブ共和国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年10月25日（水）
11：30～12：15
場所：西東京市立碧山小学校

2. 参 加 者

西東京市立碧山小学校（都側）
6年生 100名
教員 6名

3. 交 流 相 手

駐日モルディブ共和国大使館
シャフラス ラシードー等書記官



↑クイズに回答



↑大使館員のお見送り

4. スケジュール

- ① 講師紹介
- ② 挨拶
- ③ 大使館よりプレゼンテーション
・挨拶の練習、クイズ
- ④ 代表児童よりお礼の言葉
- ⑤ 記念品贈呈
- ⑥ 記念撮影
- ⑦ 給食

5. 参加者の様子等

- ◆ プレゼンテーションでは、モルディブの地理等を分かりやすくご説明いただいた。
- ◆ モルディブは気候変動の脅威にさらされており、ラシードー等書記官から児童に対し、ぜひこの問題について一緒に考え、対策に取り組んでほしいとのメッセージがあった。
- ◆ 大使館員は6年生の各クラスに分かれ、児童たちと給食を食べた。

大使館交流

目黒区立下目黒小学校 ポーランド共和国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年11月22日（水）
10:00～11:00
場所：ポーランド共和国大使館

2. 参加者

目黒区立下目黒小学校（都側）
4年生 90名

3. 交流相手

駐日ポーランド共和国大使館
Agnieszka Klausa 参事官



↑ 質疑応答の様子



↑ ポンチュキ（ポーランドの伝統菓子）

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② 講師紹介
- ③ 講演
- ④ クイズ
- ⑤ 質疑応答
- ⑥ ティータイム
- ⑦ 写真撮影
- ⑧ お礼の言葉

5. 参加者の様子等

- ◆ 下目黒小学校の児童はポーランド語での挨拶を事前に練習し、元気に“Dzień dobry”（こんにちは）と挨拶した。
- ◆ 講演では、ポーランドの基本情報や観光名所、食べ物、音楽、民族衣装等について紹介いただいた。
- ◆ 児童からは「どんな姓が多い？」「日本と似ているところは？」等多くの質問が挙がった。
- ◆ ポーランドの伝統菓子である「ポンチュキ」をお土産にいただきました。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2023年12月5日(火)

13：20～14：10

場所：青ヶ島村立青ヶ島小中学校

2. 参加者

青ヶ島村立青ヶ島小・中学校（都側）

全校生徒 8名 教職員 21名

村長・住民の方

3. 交流相手

メキシコ合衆国大使館

大使：Melba María Pría Olavarrieta閣下

学術・科学技術部：Jina Hernández様

4. スケジュール

- ① 挨拶
- ② 国際交流会 第1部
 - ・児童・生徒による発表
 - ・メキシコ大使館による講演
- ③ 児童・生徒と昼食
- ④ 国際交流会 第2部
 - ・ワークショップ（ピニャータ作り）
 - ・児童・生徒による感想、質問
 - ・児童・生徒による合唱
- ⑤ 児童・生徒によるお礼の言葉・記念撮影

青ヶ島村立青ヶ島小中学校 メキシコ合衆国大使館による学校訪問



←Melba大使と
記念撮影



←Melba大使と交流する
児童・生徒たち



↑みんなで作ったピニャータを、
目隠しをして元気に割る児童・生徒たち

5. 参加者の様子等

- ◆ 1泊2日で駐日メキシコ大使が青ヶ島村立青ヶ島小・中学校を訪問した。
- ◆ メキシコでは、お祭りや祝い事の際にお菓子やミカン等の果物が入った「ピニャータ」というくす玉のようなものを作り、それを割って祝う。国際交流会の第2部では、ピニャータ作りのワークショップが開かれた。交流会には住民の皆さんも参加して、全員で2つのピニャータを作った。
- ◆ ピニャータを割る際には、大使館側から送られたパペルピカード（切り紙）が飾られた。「ピニャータ割りの歌」を歌い、目隠しをした児童・生徒がピニャータを割った。
- ◆ 担当の教員からは「今回の交流は児童・生徒及び教職員一同にとって、大きな学びとなった」とのコメントがあり、大使館側からは、教員や島民の方々の温かいおもてなしに感動したというコメントをいただいた。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2024年11月6日(水)
11:15～12:00
場所：中央区立中央小学校

2. 参加者

中央区立中央小学校（都側）
3年生 67名

3. 交流相手

駐日ドイツ連邦共和国大使館
広報部 ホーボルト幸夫様

中央区立中央小学校 ドイツ連邦共和国大使館による学校訪問



↑ 児童たちの発表



↑ 講演

4. 当日のスケジュール

- ① 講師紹介
- ② ドイツ連邦共和国大使館による講演
- ③ 質疑応答
- ④ 都側の発表
- ⑤ ドイツ大使館側からの都側発表へのコメント
- ⑥ 記念写真

5. 参加者の様子等

- ◆ 児童たちは、ドイツに対するイメージを聞かれると、「お城」「EU加盟国」「ベートーベン」などと答えていた。
- ◆ 講演では、ドイツ人が自分の車に名前をつけるくらい車が好きであること、日本との関係、SDGsへの日常的な取組の具体例等が説明された。
- ◆ 児童たちからの発表では「中央区のおすすめスポット」として、駅・神社・祭り・博物館・公園・評判のお店等が紹介された。講師からは「浜離宮はドイツから要人が来日する際にぜひ紹介したい」とのコメントがあった。
- ◆ 児童からは、ドイツのアニメや世界遺産の数、ドイツの子供たちはどんな遊びをするのか等の質問があった。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2025年6月10日(火)
13:25～14:10
場所：港区立高輪台小学校

2. 参加者

港区立高輪台小学校（都側）
3年生 154名（5クラス）

3. 交流相手

駐日スイス連邦大使館
広報文化担当官
職員2名

4. 当日のスケジュール

- ① 司会の児童より挨拶
- ② 先生方より、大使館職員の紹介
- ③ 大使館による講演
- ④ 質疑応答
- ⑤ お礼の言葉
- ⑥ 記念撮影

港区立高輪台小学校 スイス大使館による学校訪問



↑司会をする児童



↑クイズのコーナーでは元気いっぱい手が挙がっていた



←質問をする児童

お礼の言葉の様子→



5. 参加者の様子等

- ◆ 高輪台小学校は、司会進行やお礼の言葉等、全て児童が行った。
- ◆ 大使館による講演では、スイスの言語や文化、テクノロジー等について、動画やクイズを交えながらご紹介いただいた。スイスでは夏休みに宿題は出ないと聞くと、児童から大きな歓声が上がった。
- ◆ 高輪台小学校の先生からは、『日本とは違うスイスの文化に触れて、知的好奇心が非常に高まった。児童が当たり前と思っていた自分の国の文化との違いにびっくりしていた。』と感想があった。

大使館交流

中央区立阪本小学校 カナダ大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2025年7月16日（水）
9:40～10:25
場所：中央区立阪本小学校

2. 参加者

中央区立阪本小学校（都側）
4～6年生 計96名

3. 交流相手

カナダ大使館
教育プロモーション担当補佐官
1名

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② スケジュールの確認
- ③ 大使館による講演
- ④ 質疑応答
- ⑤ 記念撮影



質疑応答の様子→

←講演の様子



5. 参加者の様子等

- ◆ 講演では、カナダの地理的位置や国土の広さといった基本的な情報に加え、さまざまなテーマが紹介された。各テーマに関連してクイズも出題され、生徒たちは楽しみながら理解を深めていた。
- ◆ 「冬場には川が凍るため、スケートで通勤する人がいる」といった、カナダならではのユーモラスなエピソードも紹介され、児童にとってカナダを馴染み深く感じられるきっかけとなった。
- ◆ 代表者から感謝の言葉と感想があり、最後に記念撮影を行い、交流の思い出を残すこととした。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2025年9月24日(水)
10:25～11:10
場所：中央区立中央小学校

2. 参加者

中央区立中央小学校（都側）
3年生 50名（2クラス）

3. 交流相手

駐日ドイツ連邦共和国大使館
文化担当職員 2名

4. 当日のスケジュール

- ① ドイツについてのプレゼンテーション
- ② ドイツについてのクイズ
- ③ 質疑応答
- ④ お礼の言葉

中央区立中央小学校 ドイツ連邦共和国大使館による学校訪問



↑講演を真剣に聞く児童たち



↑クイズのコーナーでは大盛り上がり



←ドイツ料理について

感謝を述べる児童たち→



5. 参加者の様子等

- ◆大使館からのプレゼンテーションでは、ドイツの料理・菓子・建物・グリム童話・サッカー等の説明があった。
- ◆ドイツに関する内容だけではなく、日本との関係や、日本語に存在するドイツ語（アルバイト・カルテ等）についても説明があった。
- ◆プレゼンテーションの後はドイツクイズが4択で行われた。「日本の学校にあってドイツの学校にないもの」として『夏休みの宿題』が挙げられると、児童たちからは驚きの声があがった。
- ◆児童たちは積極的に交流に参加し、興味関心が更に高まっている様子であった。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2026年1月29日（木）
10:30～11:30
場所：中野区立鷺の杜小学校

2. 参加者

中野区立鷺の杜小学校（都側）
3～4年生 計190名

3. 交流相手

駐日ドイツ連邦共和国大使館
広報文化部 職員1名
研修生 1名

4. 当日のスケジュール

- ① 始めの挨拶
・講師紹介
- ② 講演
・ドイツの場所などの基本情報について
・日本とのつながりについて
- ③ ドイツ語でゲーム
- ④ 児童代表による挨拶
- ⑤ 終わりの挨拶

中野区立鷺の杜小学校 ドイツ大使館による学校訪問



↑ 大使館からの講義
クイズの様子



↑
クラス対抗の
ゲームの様子



最後の見送りの
様子→

5. 参加者の様子等

- ◆ 講演では、グリム童話に登場する場所をドイツの地図を示しながら紹介したほか、ベートーベンなどドイツの著名な音楽家やサッカーの話題も取り上げるなど、児童たちの興味をひく構成となっていた。児童たちはワークシートに講演内容を書き込みながら、熱心に講演を聞いていた。
- ◆ 講演中に出されたクイズは児童たちが楽しみながら参加できる内容であり、多くの児童が積極的に手を挙げていた。
- ◆ 「ドイツ語でゲーム」ではドイツ語のフレーズとルールが、デモンストレーションを交えながら説明された。日本のスイカ割りに似たゲームをクラス対抗で行い、児童は大歓声を上げて楽しんでいた。



訪問受入交流



小学校

[!\[\]\(c3d993ca47bfe2a953c700506ce31fa0_img.jpg\) 目次へ戻る](#)

訪問交流

練馬区立上石神井小学校 スペインの大学教授による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年7月6日（木）
13：00～13：45
場所：練馬区立上石神井小学校

2. 参加者

練馬区立上石神井小学校（都側）
6年生 34名

3. 交流相手

スペイン王国
CES Don Bosco University
アナ・マルティネス・
ヘルナンデス博士



↑「カノン」についての説明



↑授業を視察するヘルナンデス博士

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② 音楽の授業の視察（6年生）
 - ・ヘルナンデス博士による授業の視察
- ③ 質疑応答
 - ・音楽専科の板木先生との質疑応答

5. 参加者の様子等

- ◆音楽の授業では板木先生が「カノン」について説明し、児童がリコーダーで演奏した。
- ◆ヘルナンデス博士は、日本で行われている音楽の授業のレベルの高さや児童の規律正しさに感銘を受けていた。
- ◆ヘルナンデス博士は、音楽の授業の外、スペインにはない家庭科の授業があるか等の質問をした。

訪問交流

足立区新田学園 足立区立新田小学校 カザフスタンの教職員による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年7月14日（金）
9：20～12：40
場所：足立区新田学園
足立区立新田小学校

2. 参加者

足立区新田学園
足立区立新田小学校（都側）
教員 8名、6年生 224名

3. 交流相手

カザフスタン共和国アスタナ市
BINOM 学校教育者代表団
教職員 33名、通訳 2名



↑カザフスタンの民族衣装



↑体育の授業の見学

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② カザフスタンの教職員によるプレゼンテーション
・カザフスタンの学校や文化等について
- ③ カザフスタンの教職員と新田小学校の6年生との交流
- ④ 校舎見学
- ⑤ 給食の配膳の様子を見学
- ⑥ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆カザフスタンの教職員によるプレゼンテーションは、ZOOMを使用して複数クラスに同時に配信された。プレゼンテーションではカザフスタンの学校の紹介や楽器の伴奏・歌が披露された。
- ◆カザフスタンの教職員は、各教室に分かれて個別に交流を行った。児童からの質問に答えたり、折り紙等を用いた文化交流を行ったりした。
- ◆カザフスタンの教職員には、授業や給食の配膳に参加・見学していただいた。

訪問交流

世田谷区立京西小学校 ニュージーランドの教員による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年8月29日（火）
14：30～16：00
場所：世田谷区立京西小学校

2. 参加者

世田谷区立京西小学校（都側）

3. 交流相手

ニュージーランド オークランド市
Blockhouse Bay Intermediate School
Principal：Michael Malins先生
Director：Ellen Chueh先生



↑ Blockhouse Bay Intermediate Schoolの
パンフレット（日本語版）



↑ 京西小学校の正門前で菅谷校長先生と記念写真

4. 当日のスケジュール

- ① ご挨拶
 - ・ 菅谷校長先生とご挨拶
- ② 校内見学
 - ・ 各教室、プール、体育館を見学
- ③ 先生方との歓談
- ④ 記念写真

5. 参加者の様子等

- ◆ Blockhouse Bay Intermediate Schoolと京西小学校は、オンライン交流の実施を予定している。（実施時期調整中）
- ◆ 校長室で双方の教育制度について意見交換を行った。その際、東京の学校給食について、Malins先生とChueh先生から多くの質問が挙がった。
- ◆ 校内見学の際には、Malins先生とChueh先生の希望で最初に給食室を見学した。
- ◆ 校内見学中、Malins先生とChueh先生は、屋上のプールを使った水泳の授業があることや、児童が電動のこぎりを扱っていること、家庭科で調理器具を使用すること等、ニュージーランドの学校とは異なる点に驚いた様子だった。

訪問交流

1. 日時・場所

日時：2024年5月17日（金）

9:35～13:20

場所：府中市立白糸台小学校

2. 参 加 者

府中市立白糸台小学校（都側）

5年生 113名・6年生 81名

教員 8名

3. 交流相手

台湾 台北市

Xinglong Elementary School

児童 17名、校長 1名、教職員 2名

府中市立白糸台小学校 台湾の学校による訪問交流



←歓迎式の様子



←給食体験の様子



↑避難訓練の様子

4. 当日のスケジュール

- ① 歓迎式
校歌斉唱、台湾側からの発表・演技
- ② 避難訓練体験
- ③ 中休み
校庭、体育館で日本の遊びを紹介
- ④ 交流セッション
各クラス・学年に分かれて交流を行う
- ⑤ 給食体験
各クラスにて給食を食べる
- ⑥ 閉会式

5. 参加者の様子等

- ◆ 歓迎式では両校の校歌斉唱、台湾側から学校紹介が中国語、英語、日本語であった。伝統の指人形の演技も披露され、盛り上がった。
- ◆ 台湾の児童はいくつかの学年、クラスに分かれて入り、全校児童による避難訓練にも参加した。
- ◆ 体育館でのドッチボールと鬼ごっこでは、両国生徒がチームごとに一体となり、楽しんで参加していた。
- ◆ 最後は日本の生徒がアーチを作り、台湾側の生徒を見送った。

訪問交流

港区立芝浜小学校 カザフスタンの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年4月23日（水）

10:00～12:30

場所：港区立芝浜小学校

2. 参 加 者

港区立芝浜小学校（都側）

教職員 3名

3. 交 流 相 手

カザフスタン共和国

アルマティ市

Mirai School

教職員・関係者 22名



↑都側による発表



←カザフスタン特集
（図書館）



←給食体験

4. 当日のスケジュール

- ① 都側の発表（学校の紹介、日本の教育について）
- ② 東京都国際交流コンシェルジュについて説明
- ③ 校内見学
- ④ 給食体験
- ⑤ 記念写真

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側は、日本の学校や教育についてスライドを使って説明した。説明後の質疑応答では、評価の仕方、ICTに関わる教え方、校舎の免震構造等について多くの質問がカザフスタン側からあった。
- ◆ 図書館ではカザフスタン特集のコーナーが準備されていた。
- ◆ 給食体験では、栄養士の説明を聞き、自らトレーをもって配膳、後片付けを体験した。

訪問交流

町田市立小山中央小学校 香港の学校との訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年6月24日（火）
9:30～11:50
場所：町田市立小山中央小学校

2. 参 加 者

町田市立小山中央小学校(都側)
5年生 約108名
教職員 約10名

3. 交 流 相 手

香港
S.K.H. Kei Lok Primary School
児童24名 教職員等5名 計29名

4. 当日のスケジュール

- ① 学校到着
- ② 挨拶・案内 控室にて学校長挨拶・学校説明
担当教諭よりスケジュール説明
- ③ 校内ツアー 1F・職員室→音楽室→2F・5,1年生教室など
- ④ 歓迎会 体育館での歓迎会、挨拶・合唱・日本の遊び紹介
香港側児童によるピアノ演奏、習字の披露等
- ⑤ 各クラスで交流 香港側児童が5年1～3組に8名ずつ分かれ、
クラス内で交流
- ⑥ お別れの挨拶 控室にて記念品贈呈・挨拶



↑ 都側校長先生の学校紹介



← 歓迎会
の様子

香港児童
挨拶→



←クラスでの交流
の様子

香港側児童の習字
披露 →



5. 参加者の様子等

- ◆ 都側の校長先生よりご挨拶及び校内に森があること、給食の事など学校に関して英語でご説明いただいた。
- ◆ 小山中央小学校の実行委員の児童が中心となって、香港側児童の案内を行っていた。
- ◆ 香港側児童による習字の披露では、都側児童とお互いに書き上げた作品を交換して交流を深めていた。
- ◆ クラス内でも、言葉だけでなく、折り紙・あや取り・けん玉などの遊びを通して文化交流を行っていた。

訪問交流

府中市立小柳小学校 シンガポールの教員による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年12月2日（火）
14:30～16:30
場所：府中市立小柳小学校

2. 参加者

府中市立小柳小学校（都側）
学校長、副校長2名、
担当教諭1名
4～6年生等 約90名

3. 交流相手

シンガポール共和国
Academy of Singapore
Teachers
教職員 計18名

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
 - ・都側学校長による挨拶及び学校紹介
 - ・シンガポール側代表者4名の紹介
- ② 校内・授業見学
 - ・6年生(英語)→4年生(道徳)→5年生(理科実験)
→職員室(カリキュラム等説明)→校庭見学→体育館見学
- ③ 交流会・質疑応答
 - ・シンガポール側より記念品贈呈
- ④ 記念撮影



↑ 学校長挨拶



↑ 職員室での説明



↑ 交流会・質疑応答



← 理科実験
の参観の様子

最後の
記念撮影
→



5. 参加者の様子等

- ◆ 都側の学校長の挨拶では、学校の概要、自然環境に囲まれた立地の素晴らしさを説明していた。
- ◆ 校内・授業見学では、シンガポール側のリクエストによる英語と道徳の授業を見学したほか、理科実験の参観も実現した。また、職員室では時間割、年間授業計画などを説明し、シンガポール側は熱心に聞いていた。
- ◆ 質疑応答では、「教育目標達成に向けた具体的な取組と成果の検証方法」「小学校1年生が学校生活に慣れるために必要な支援」「特殊学級児童のサポートの仕方」等、シンガポール側が熱心に質問し、活発な意見交換が交わされた。

訪問交流

1. 日時・場所

日時：2026年2月19日(木)

9:00～13:00

2026年2月20日(金)

9:00～13:00

場所：北区立滝野川もみじ小学校

2. 参加者

北区立滝野川もみじ小学校(都側)

1～6年生：435名

3. 交流相手

フランス共和国 パリ市

l'école Boursault

5年生 28名

4. 当日のスケジュール

【1日目】

① 歓迎セレモニー

両校代表挨拶・都側各学年による日本文化体験の実演

② 日本文化・スポーツ体験

・書道(3年)・バスケットボール(5年)

・こま回し、お手玉、だるま落とし(1年)

③ 給食で交流

【2日目】

① 校内見学

② 日本文化・スポーツ体験

・折り紙(4年)・相撲・玉入れ・綱引き(6年)

・けん玉、あやとり、おはじき(2年)

③ 給食で交流

④ 修了式

北区立滝野川もみじ小学校 フランス共和国の学校による訪問交流



↑あやとりやスポーツ体験をするフランス側児童



↑綱引き体験

←フランス側児童による合唱の披露



↑都側児童との交流の様子

↑見送りの様子

5. 参加者の様子等

◆ 歓迎式では、フランス側児童を花のアーチで迎え、両校の挨拶の後、これから実施される日本文化体験を各学年代表が実演を交えて紹介した。

◆ 各学年が1時限ずつ交流時間を設け、書道や昔遊び、相撲などを通してフランス側児童と交流した。フランス側の希望で実現したスポーツ体験では、大きな歓声が上がったり、書道の時間では都側児童が積極的にサポートしたり、双方とも交流をととても楽しんでいる様子であった。

◆ 給食での交流は、全員が日本の味に初めて挑戦し、日本のお米をおいしそうに食べていた。

◆ 修了式では事前に練習を重ねてきた、日本アニメの主題歌などをフランス側児童が披露した。児童一人一人に修了証が手渡され、嬉しそうに受け取っていた。双方の児童ともとても充実した様子だった。

手紙・カードやメールの交換

中学校

カード交換

港区立三田中学校

ベトナムの学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2023年4月20日（木）

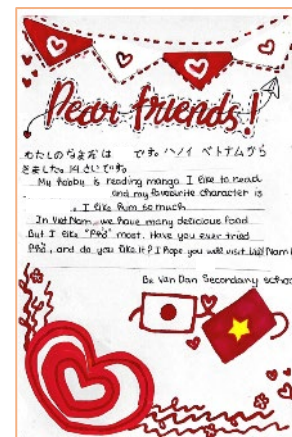
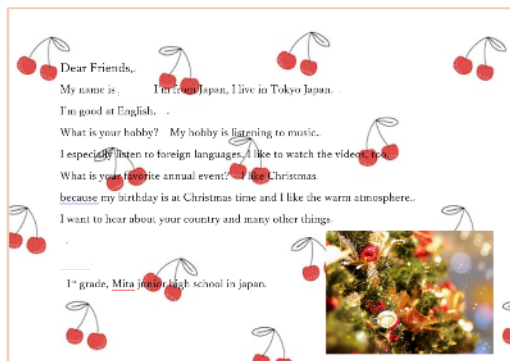
2. 参 加 者

港区立三田中学校（都側）
1～3年生 16名

3. 交 流 相 手

ベトナム社会主義共和国
Be Van Dan Secondary School

↑ 三田中学校の生徒が作成したカード



↑ ベトナムの生徒が作成したカード

4. スケジュール

- ① 学校から事務局に交流申込・カードの作成
- ② 交流校の決定
- ③ 学校から事務局へカードの送付
- ④ 事務局から交流相手校へカードの送付
- ⑤ 交流相手校から送られたカードを学校が受領

5. カードの内容等

- ◆ 三田中学校の生徒は、Wordを使用し、写真・イラストをあしらった華やかなカードを英語で作成した。
- ◆ 日本について勉強しているベトナムの生徒のカードには、日本語が使われていた。
- ◆ カード交換は、Googleドライブを使用してウェブ上で行われた。

カード交換

町田市立薬師中学校 ニュージーランドの学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

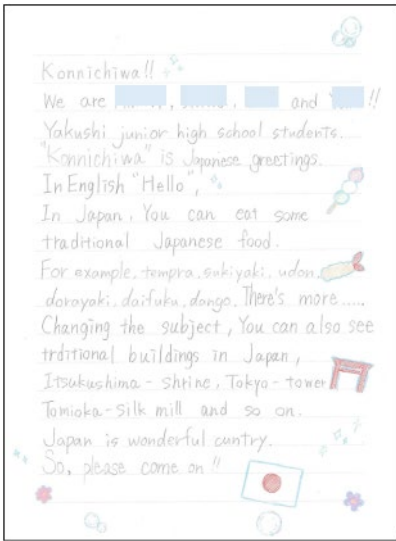
送付日：2024年11月7日（木）

2. 参 加 者

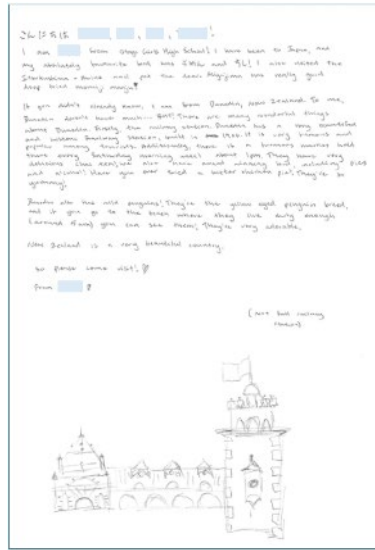
町田市立薬師中学校（都側）
生徒 7 名

3. 交流相手

ニュージーランド ダニーデン市
Otago Girls' High School



↑薬師中学校のカード



↑ニュージーランド側のカード

4. スケジュール

① 交流用クラウド上に交流用フォルダーを作成

② カードの作成及び発送（都側）

- ・カードを作成
- ・作成したカードを交流用フォルダーへアップロード
- ・国際便でカード本体を送付

③ 返信用カードの作成および共有（ニュージーランド）

- ・返信カードを作成
- ・作成したカードを交流用フォルダーへアップロード

5. その他

- ◆ 都側生徒は、一人ずつまたはグループでカードを書いた。名前その他、好きなゲームやアニメ・映画の紹介や質問が書かれていた。
- ◆ ニュージーランド側からの返信カードは、都側の誰に宛てたカードかがわかるようになっていた。都側からの質問に対しての答えも書いてあった。
- ◆ 都側の生徒たちは、自分宛に返信を貰えたこと、自分からの質問への答えが書かれていたことをとても喜んでいた。

動画交換

世田谷区立深沢中学校 マレーシアの学校との動画交換

1. 相手校への送付月

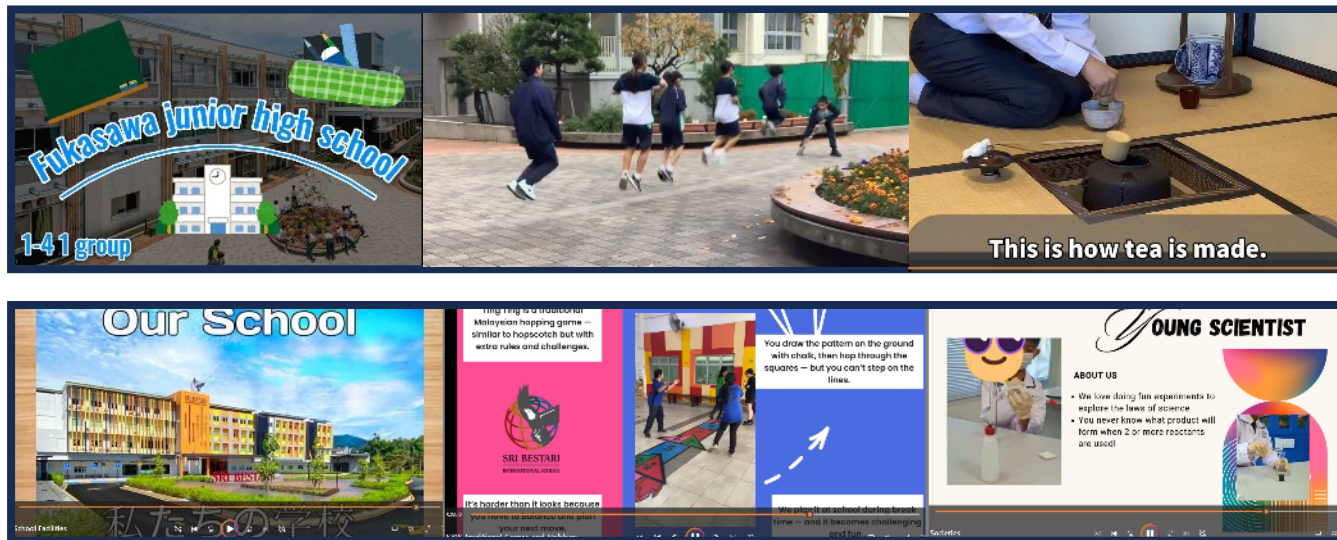
送付月：2025年4月

2. 参 加 者

世田谷区立深沢中学校（都側）
旧1年生 124名

3. 交 流 相 手

マレーシア クアラルンプール市
Sri Bestari International School
7年生 80名



↑都側の動画（上段）・マレーシア側の動画（下段）

4. スケジュール

- ① 事務局がクラウド上に交流用フォルダを作成
・両校にリンクを共有
- ② 都側より共有フォルダへ動画をアップロード
- ③ マレーシア側より共有フォルダへ動画をアップロード

5. その他

- ◆ 都側生徒は、移動教室、体育祭、合唱コンクール等の学校行事、各種部活動、お菓子、アニメ、音楽、ゲームの6つのテーマ別に、動画を制作した。
- ◆ マレーシア側生徒は、伝統的なゲームや遊び、部活動、学校設備、学校生活の4つのテーマで動画を制作した。マレーシアの伝統的な遊びとして、日本のお手玉に似た遊びも紹介した。
- ◆ 交流後の都側生徒からは、「実際の学校生活がわかった」「国際交流のために英語をしっかりと学ぶことが大切だと思った」「自分たちで日本文化や深沢中学校のことを紹介できたのがとても楽しかった」などの様々な感想が寄せられ、異文化理解につながる経験となった。

カード交換

江東区立辰巳中学校 ニュージーランドの学校とのカード交換

1. 相手校への送付月

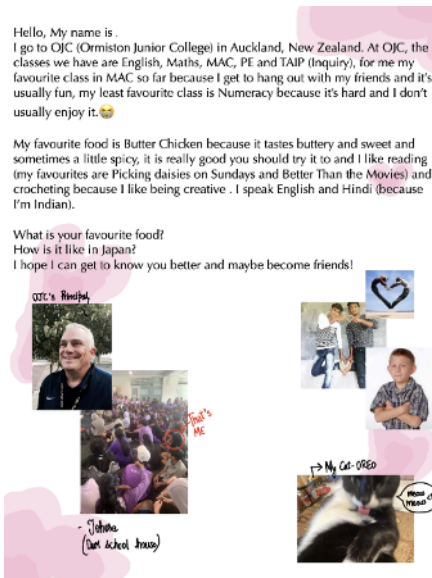
送付月：2025年6月

2. 参 加 者

江東区立辰巳中学校
2年生 50名（2クラス）

3. 交 流 相 手

ニュージーランド オークランド
Ormiston Junior College
Year 7~10, 47名



← ニュージーランド
の生徒が作成したカード



都側生徒が作成したカード→

4. スケジュール

- ① NZ側のカードデータを事務局にて受領
- ② クラウドを通して辰巳中学校へ共有
- ③ 辰巳中学校のカードデータを事務局にて受領
- ④ クラウドを通してNZ側へ共有

5. その他

- ◆ 先にニュージーランド側生徒から、自己紹介と好きなもの、辰巳中学校の生徒への質問が書かれたカードが届いた。
- ◆ 都側生徒からは、ニュージーランドからのカードへの返事として、自己紹介と好きなもの、もらった質問に対する答えを書いたカードを作成した。
- ◆ ニュージーランドの生徒たちは、先生に何度も「届いた？」と尋ねるほど辰巳中学校からの返事を心待ちにしていた。

カード交換

西東京市立田無第三中学校 アメリカ合衆国の学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2026年1月19日(月)

2. 参加者

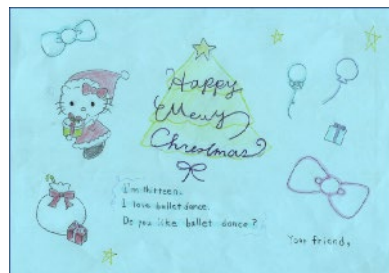
西東京市立田無第三中学校（都側）
1年生 20名

3. 交流相手

アメリカ合衆国 ミシガン州
Mid Peninsula School
小学6年生 9名



↑都側のビデオメッセージ



↑
← 都側生徒作成
のカード



↑
← アメリカ側児童作成
のカード

4. スケジュール

- ① 都側より学校紹介ビデオとカードのデータ受領
- ② 都側のデータをアメリカ側に共有
- ③ アメリカ側よりカードをデータで受領
- ④ 都側にデータを共有

5. その他

- ◆ 都側生徒はクリスマスカードや年賀状を作成した。年賀状には、だるまや招き猫など、日本文化を表すイラストが描かれていた。
- ◆ アメリカ側生徒は、自然豊かで冬は雪の多いミシガン州の特徴を記したイラストを描いたカードや、クリスマスを祝うカードが多かった。中には、カタカナや漢字を用いた日本語で書いたものもあった。

カード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2026年2月24日(火)

2. 参加者

西東京市立田無第三中学校(都側)
1年生 20名

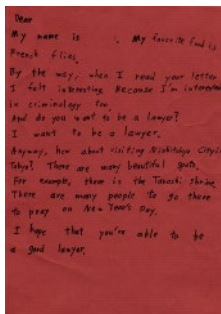
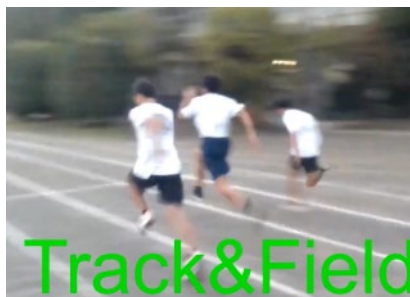
3. 交流相手

ポーランド共和国
Zespół Szkół Ogrodniczych i
Ogólnokształcących
8～12年生 15名

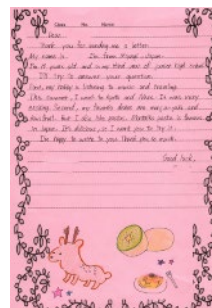
4. スケジュール

- ① ポーランドより動画とカードのデータを受領
- ② 都側にポーランド作成のデータ共有
- ③ 都側より動画とカードのデータを受領
- ④ ポーランドへ都側作成のデータ共有
- ⑤ ポーランドから個別生徒への返信カードを受領
- ⑥ 都側に返信カードデータ共有

西東京市立田無第三中学校 ポーランドの学校とのカード交換



←都側作成の
学校紹介動画



↑
←都側作成の
カード



←ポーランド側作成の
学校紹介動画



↑
←ポーランド側
作成のカード

5. その他

- ◆ポーランド側生徒は、学校での生活の様子を撮影した動画と、自己紹介を含めた長文の英語での手紙のカードを作成した。自己紹介以外にも、ポーランドの食べ物の紹介など様々なことが書かれていた。
- ◆都側生徒は、好きなもの、好きなこと、近況などをつづった長文の英語のメッセージにイラストなどを書き添えた内容であった。中には西東京市の紹介や自分の夢について書いたカードもあった。
- ◆都側生徒のカードを読んだポーランド側生徒が、返信する形で再度カードを作成した。相手のニックネームを宛先にしたり、質問に答えるなど、生徒同士が一对一でやり取りを重ねる交流が展開された。

オンライン交流

中学校

 [目次へ戻る](#)

ビデオチャット交流

千代田区立麴町中学校 シンガポールの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年10月26日（水）
第1部 9:50～10:30
第2部 10:45～11:30
場所：千代田区立麴町中学校

2. 参加者

千代田区立麴町中学校（都側）
3年生 120名

3. 交流相手

シンガポール共和国
Hougang Secondary School 75名



グループごとに交流をしている様子▲▶



4. 当日のスケジュール

- ① シンガポールの教員による挨拶
- ② 麴町中学校の教員による挨拶
- ③ 双方の代表生徒による学校紹介
- ④ グループに分かれて自己紹介、趣味、好きなもの等について自由に話し合い
- ⑤ 全員が集合し、終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 2部制で、3年生全員が参加した。
- ◆ 教室・合同教室・カフェテリアを使用し、各セッションごとに18グループに分かれて、シンガポールの生徒と交流を行った。
- ◆ 生徒1名につきPCを1台ずつ使用した。最初は通信状況が不安定な時もあったが、徐々に交流がスムーズに進むようになった。また、ハウリング防止のため、全員ヘッドセットを着用した。
- ◆ 文法や単語を気にするよりも、積極的な会話によるコミュニケーションを優先した交流会であったため、全員が主体的に参加することができた。

ビデオチャット交流

港区立青山中学校 韓国の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年10月6日（金）
16：00～16：50
場所：港区立青山中学校

2. 参加者

港区立青山中学校（都側）
国際交流部 4名

3. 交流相手

大韓民国 仁川広域市
Dongbang Middle School
7名



↑韓国側の学校紹介を観る



↑終わりの挨拶

4. 当日のスケジュール

- ① 全体で挨拶
- ② 参加者全員の自己紹介
- ③ 感想・質問
- ④ 情報交換（フリートーク）
- ⑤ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 韓国側は日本語を学んでいる生徒たちであったため、日本語の「こんにちは」の挨拶から始まった。
- ◆ 青山中学校の生徒が韓国語で自己紹介を行ったところ、韓国の生徒たちも喜んでくれた。
- ◆ 青山中学校は「東京タワー」について調べたことを発表した。
- ◆ フリートークでは食にまつわる話が多く出た。仁川市は海に面しており、海産物が有名で、エビ・カニ・貝の入ったカルグクス（手打ちの麺料理）が人気と紹介された。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

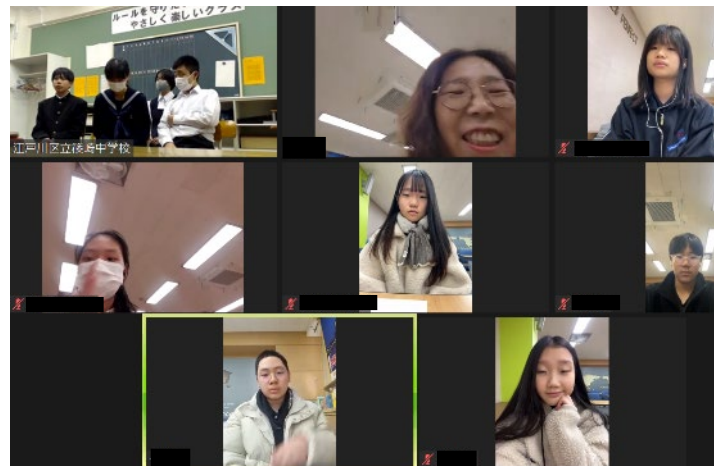
日時：2023年12月5日（火）
15：50～16：30
場所：江戸川区立篠崎中学校

2. 参加者

江戸川区立篠崎中学校（都側）
英語部 1～3年生 4名

3. 交流相手

大韓民国 仁川広域市
Shinsong Middle School
7～9年生（日本の中学1～3年生）
6名



↑英語、日本語、韓国語を使って交流



↑TVのスクリーンとPCを用いて交流を行った

4. 当日のスケジュール

① 始まりの挨拶

② オンライン交流

都側発表：5分（自己紹介）
質問：5分
韓国側発表：10分（自己紹介）
質問：5分

③ フリートーク

④ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 2週連続の交流の第1週目で、自己紹介や質問が中心の交流となった。
- ◆ 生徒たちは、それぞれ一つずつ質問を考え、順番に回答し合っていた。
- ◆ 都側の生徒からは、「辛い料理は好きですか？」等、韓国側の生徒からは「日本のコンビニでおすすめの商品は？」等、お互いの国の文化や生活に関する質問が多くあった。

ビデオチャット交流

練馬区立開進第二中学校・日野市立日野第三中学校 ベトナムの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2024年10月8日（火）
16:00～16:55
場所：練馬区立開進第二中学校
日野市立日野第三中学校

2. 参加者

練馬区立開進第二中学校（都側）
英語クラブ1～2年生 7名
日野市立日野第三中学校（都側）
英語部 1～2年生 6名

3. 交流相手

ベトナム社会主義共和国
ドンナイ省
Tri Thuc School（中等部）

4. 当日のスケジュール

- ① 自己紹介（ベトナム側）
一人一人の自己紹介、学校の紹介
- ② 自己紹介（都側：開進第二中学校）
学校の紹介、地域の紹介
- ③ 自己紹介（都側：日野第三中学校）
学校の紹介、地域の紹介
- ④ 全体で質疑応答、お別れのあいさつ



↑ 自分の趣味を紹介
（ベトナム側）



↑ 名残惜しそうにいつまでも
手を振る生徒たち

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側は、開進第二中学校と日野第三中学校の2校が参加し、ベトナムを含め3拠点を結んでビデオチャット交流が実施された。
- ◆ ベトナム側は、生徒一人一人の紹介後、ベトナムの学校制度を説明した。その後、各生徒が学校生活の様子を紹介した。
- ◆ 開進第二中学校は、地域と自校の紹介をした後、三択のクイズを披露した。
- ◆ 日野第三中学校も、地域と自校を紹介した後、クイズを披露した。開進第二中学校の生徒もクイズに積極的に答えていた。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2025年5月26日（月）
16:00～17:00
場所：日野市立日野第三中学校

2. 参加者

日野市立日野第三中学校（都側）
中学生 合唱部 8名
英語クラブ 8名

3. 交流相手

ベトナム社会主義共和国 ドンナイ省
Tri Thuc School
小学校5～6年生 19名

4. 当日のスケジュール

- ① 始まりの挨拶
- ② ベトナム側児童による自己紹介・学校紹介
- ③ 都側合唱部による合唱
- ④ ベトナムの児童による武道の演武
- ⑤ 都側英語部生徒による自己紹介
- ⑥ 質疑応答
- ⑦ 終わりの挨拶

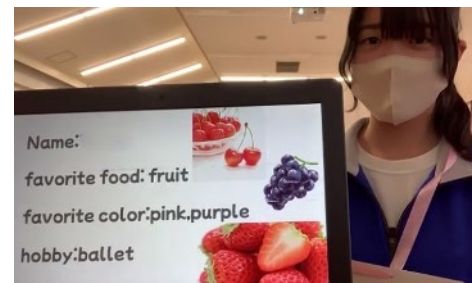
日野市立日野第三中学校 ベトナムの学校とのビデオチャット交流



↑ベトナム側による武道の披露



↑都側の合唱部によるコーラス



↑都側の英語部による自己紹介

5. 参加者の様子等

- ◆ 今回の交流は、日野第三中学校の合唱部と英語部が合同で国際交流をしたいという希望により実現した。都側の合唱部のメンバーは、“Hello,Vietnam”という歌を披露し、ベトナムの生徒から拍手が起こった。
- ◆ ベトナムの児童の自己紹介では、平日のスケジュールや好きなものなどについて発表があった。交流の中で、武道を習っている児童が演武を披露し、盛り上がっている様子だった。
- ◆ 質疑応答では、学校名の由来やお互いの好きな国、好きな食べ物などを質問し合い、交流を深めた。生徒は、交流を通して、自分の思いや興味が英語で伝える力を育てていた。

在京大使館との交流

中学校

 [目次へ戻る](#)

留学生による講演

1. 日時・場所

日時：2021年10月7日（木）
8：45～10：35
場所：練馬区立光が丘第二中学校

2. 参加者

練馬区立光が丘第二中学校（都側）
1年生 4クラス

3. 交流相手

（独）日本学生支援機構より派遣された留学生講師4名
（キルギス共和国、中華人民共和国、ラオス人民民主共和国、ボスニア・ヘルツェゴビナ）

4. 当日のスケジュール

- ① 生徒による講師の出迎え
- ② 講師による出身国の紹介（文化、歴史、言語、通貨等）
- ③ 質疑応答
- ④ 生徒による挨拶、プレゼントの贈呈
（全て日本語で実施）

4名の講師は1時限目と2時限目にそれぞれ異なるクラスで講演をした（1名の講師につき2回の講演）。



講師にプレゼントを渡す生徒



講師を教室まで案内する生徒



講演の様子

5. 参加者の様子等

- ◆ 各教室の黒板には生徒によるウェルカムメッセージが書かれていた。
- ◆ 生徒は講師へのプレゼントとして折り紙の作品を用意していた。
- ◆ 質疑応答の際にはどのクラスでも質問がよく出ていた。
- ◆ 休憩時間には講師に教わった挨拶を練習している生徒がいた。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2022年11月4日（金）
15：00～16：00
場所：パラグアイ共和国大使館

2. 参加者

練馬中学校 大泉西中学校
石神井中学校 大泉学園中学校
開進第一中学校 大泉中学校（都側）
教員 6名

3. 交流相手

パラグアイ共和国大使館
フアン マヌエル ペーニャー等書記官
大使秘書 クマガイ・ヤマシタ メルジャン・メグミ様

4. スケジュール

- 14:00 東京都国際交流コンシェルジュ事務局による
事業説明
- 15:00 大使館との意見交換及び質疑応答
- 16:00 挨拶・記念撮影

練馬区立中学校国際理解教育担当の教員による パラグアイ共和国大使館への訪問



↑表と裏が違うパラグアイの国旗

5. 参加者の様子等

- ◆練馬区内の国際理解教育に関する勉強会に参加している先生方の、「まずは自分たちで国際交流を体験することから始めたい。」との思いから、今回の交流に至った。
- ◆質疑応答では、国民性や生活環境、平和への思い、音楽について等、様々な視点から質問があった。
- ◆パラグアイの教育制度についての質問では、午前には学校に通う生徒と午後に通う生徒がいること、また、初等教育は8歳から17歳までであること等について、大使館からご説明いただいた。
- ◆参加した先生方からは、「新しい発見があった。」等の感想をいただいた。

大使館交流

東京都立両国高等学校附属中学校 オマーン・スルタン国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年4月28日（金）
10：30～11：30
場所：オマーン・スルタン国大使館

2. 参加者

東京都立両国高等学校附属中学校
（都側）
2年生 40名

3. 交流相手

オマーン・スルタン国大使館
アルシヤビ イナス二等書記官
久保 美紀様



↑オマーンの特産物 乳香（フランキンセンス）が焚かれた。



↑衣装体験でアルシヤビ二等書記官に直接帽子をかぶせてもらった生徒



↑民族衣装着用後の記念撮影

4. スケジュール

- ① 都立両国高校附属中学校の代表生徒による挨拶
- ② アルシヤビ二等書記官による講演
- ③ 質疑応答
- ④ 民族衣装着用体験
- ⑤ 名産品デーツの試食とスパイスの入ったコーヒーの試飲
- ⑥ 都立両国高校附属中学校校歌斉唱
- ⑦ 記念撮影
- ⑧ お礼の言葉

5. 参加者の様子等

- ◆参加生徒は、事前に学習したアラビア語の挨拶「アッサラーム アレイクム」を実際に使って、挨拶を行った。
- ◆アルシヤビ二等書記官による講演では、オマーンの地理や世界遺産、日本との関係等幅広いテーマでお話しいただいた。
- ◆質疑応答の後、参加生徒は、大使館側にご準備いただいたオマーンの名産品（デーツとコーヒー）を楽しんだ。
- ◆交流の最後にアルシヤビ二等書記官から生徒に向けて、「他国に行くと、自国の良いところもよく理解できる。ぜひ、将来、国と国との懸け橋となり、世界で活躍してください。」とのお言葉があった。

大使館交流

東京都立両国高等学校附属中学校 イラン・イスラム共和国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年4月28日（金）

14：00～16：30

場所：イラン・イスラム共和国大使館

2. 参 加 者

東京都立両国高等学校附属中学校（都側）
2年生 40名

3. 交 流 相 手

イラン・イスラム共和国大使館
ペイマン・セアダット大使



↑ペルシャ絨毯の説明を受ける生徒



↑講演の様子

4. スケジュール

- ① 挨拶
- ② セアダット大使による講演
- ③ 質疑応答
例）・イランの文化について
・イランと日本の歴史的な関わり
・イランと日本の文化の違い
- ④ 参加生徒による校歌斉唱
- ⑤ 記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ 交流開始前に、参加生徒は大使館内の展示物を観覧し、イランのペルシャ絨毯について説明を受けた。
- ◆ セアダット大使に、イランの気候や歴史、文化等について講演を行っていただいた。
- ◆ 質疑応答では、イランや日本の文化等について生徒から多くの質問が挙がった。
- ◆ 参加生徒は、メモをとりながら非常に熱心に話を聞いてた。

大使館交流

東京都立両国高等学校附属中学校 エジプト・アラブ共和国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年4月28日（金）
14：00～16：00
場所：エジプト・アラブ共和国
大使館文化・教育・科学局

2. 参加者

東京都立両国高等学校附属中学校（都側）
2年生 40名

3. 交流相手

エジプト・アラブ共和国大使館
文化・教育・科学局
森下恵子秘書官



大使館によるプレゼンテーションの様子



カラフルな伝統衣装体験を楽しむ生徒たち

4. スケジュール

- ①挨拶
- ②エジプト・アラブ共和国紹介動画視聴
- ③大使館によるプレゼンテーション
- ④質疑応答（あらかじめ用意された7の質問+追加質問）
- ⑤伝統衣装体験
- ⑥記念品贈呈、お礼の歌のプレゼント

5. 参加者の様子等

- ◆プレゼンテーションでは、地理や気候の特徴、歴史と宗教、古代建造物、文化等について多数の写真を交えて紹介された。
- ◆質疑応答では事前に用意した7名からの質問に加え、エジプトで人気がある日本の食べ物や、気候の違いによる生活リズムの違い、断食中の飲食について等、プレゼンテーションの内容を受けた追加の質問も複数挙がった。
- ◆伝統衣装体験では、現地の普段着であるガラバーヤを試着した。色とりどりの衣装の中から好みのものを選ぶ際には、あちらこちらで歓声が上がった。女子生徒は頭にスカーフを、男子生徒は帽子をそれぞれまとい、イスラム教徒の慣習も併せて体験した。

大使館交流

練馬区中学校教諭

シンガポール共和国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年6月30日（金）

15:00～16:00

場所：シンガポール共和国大使館

2. 参加者

練馬区立中学校教員 計4名
練馬中学校2名、石神井中学校1名、
貫井中学校1名（都側）

3. 交流相手

シンガポール共和国大使館
ダレル・チュア参事官



↑交流は大使館内の日本風応接室で行われた



←参事官の説明に
熱心に耳を傾ける参加者

食についてのテーマも取り扱った→



4. スケジュール

- ① 挨拶、名刺交換
- ② ダレル・チュア参事官の自己紹介
- ③ 座談会形式でのシンガポールの紹介及び質疑応答
- ④ エントランスの国旗の前で記念撮影
- ⑤ 大使との挨拶、記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆先生方の交流のため、講義形式ではなく、座談会のようにカジュアルな雰囲気の中、相互に発言しながらの交流となった。
- ◆参加された先生方は、事前にシンガポールの成り立ちや歴史、教育システム等に関する質問を大使館へ送付しており、交流の中でダレル・チュア参事官からご回答いただいた。
- ◆シンガポールは多民族国家であり、人種は中華系が70%、マレー系が12%、インド系が9%、その他9%で公用語は英語、中国語、マレー語、タミール語となっているが、民族間のコミュニケーションを図る上では、英語が重要な役割を果たしていると参事官からご説明いただいた。

大使館交流

八王子市立四谷中学校 ブルネイ・ダルサラーム国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年7月13日（木）

14：25～15：15

場所：八王子市立四谷中学校

2. 参加者

八王子市立四谷中学校（都側）

全校生徒 約280名

3. 交流相手

ブルネイ・ダルサラーム国大使館

アタッシェ：ザリナ・アワン・ロスリ様



↑熱心にメモを取りながら講演を聞く生徒



↑伝統工芸品のご紹介

4. 当日のスケジュール

- ① 国歌紹介
- ② 挨拶
- ③ 大使館職員によるブルネイ・ダルサラーム国に関する講演
（日本語）
- ④ 質疑応答
- ⑤ 伝統工芸品等の紹介
- ⑥ 代表生徒からのお礼の言葉
- ⑦ 退場

5. 参加者の様子等

- ◆ブルネイ・ダルサラーム国に関する講演では、国旗、地理、宗教等様々なトピックについて紹介いただいた。
- ◆宗教については、国民の大半がイスラム教徒であることや、ラマダン（断食）が明けると1年で1番大きなイベント、ハリラヤ（お祭り）が国中で盛大に行われること、王宮では王族と握手をする機会があり、国民は服を新調して参加すること等、詳細に説明いただいた。
- ◆伝統工芸品の紹介の中では、豪華な金の刺繍のある生地で作られる男性用の腰巻「シンジャン」や、伝統的なゲームである「チョンカック」を紹介いただいた。

大使館交流

調布市立第六中学校 トルコ共和国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年12月8日（金）
14：30～15：20
場所：調布市立第六中学校

2. 参 加 者

調布市立第六中学校（都側）
2年生 143名

3. 交 流 相 手

トルコ共和国大使館
ギュンゲン大使閣下
オズベクー等書記官

4. スケジュール

- ① 来校
・挨拶と打ち合わせ
- ② 司会より開会の挨拶と紹介
- ③ 大使による講演
- ④ 質疑応答
- ⑤ 閉会の挨拶
・代表生徒から冊子贈呈とお礼の言葉
- ⑥ 記念撮影



←生徒から
冊子贈呈



↑講演



←トルコ語で
「歓迎」と
書かれた看板



↑質疑応答

5. 参加者の様子等

- ◆ 代表生徒による誘導で、大使と一等書記官は生徒たちに拍手で迎えられながら体育館に入場した。
- ◆ トルコに関する講演は、大使が自らトルコ語で話し、秘書の方が日本語通訳する形で進められた。トルコの地理的特徴や、トルコと日本の交流の歴史と現在の友好関係、食文化等について説明いただいた。
- ◆ 質疑応答の際は、生徒が一人ずつ前に出て大使に質問した。
- ◆ 生徒たちは、同年代のトルコの中学生へ向けて「日本の中学生に人気のもの」をテーマに英語で手紙を書いた。手紙は冊子にまとめられ、「ぜひトルコの中学生にお渡しください」と、生徒から大使に渡された。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2024年7月3日（水）
15:00～16:00
場所：駐日セルビア共和国大使館

2. 参加者

練馬区立中学校教員（都側）
10名

3. 交流相手

駐日セルビア共和国大使館
大使アシスタント
長門 ティアナ様

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② 大使館によるセルビアについての講演
・地理・宗教・歴史等
- ③ 質疑応答
- ④ 記念撮影
- ⑤ 館内見学とフリートーク
- ⑥ 終わりの挨拶

練馬区立中学校国際理解教育担当の教員による セルビア共和国大使館への訪問交流



↑大使館側の講演



↑大使館内の展示物の視察

5. 参加者の様子等

- ◆練馬区内の国際理解教育に関する勉強会に参加している先生方の、「まずは、国際交流体験を自分たちが経験したい。」との思いから、今回の交流に至った。
- ◆大使館による講演では、セルビアでもっとも大切な行事である1月7日のボジッチ（クリスマス）の過ごし方等、様々なエピソードが紹介された。
- ◆参加した教員からは「セルビアで有名な日本人は誰ですか？」等、多くの質問があった。日本のアニメや漫画も、セルビアではとても人気があるとのことだった。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2024年7月16日(火)

16:00～17:00

場所：港区立三田中学校

2. 参加者

港区立三田中学校（都側）

国際理解部 1～3年生 22名

3. 交流相手

駐日レソト王国大使館

参事官 ソーリ・ママスーフア 様

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② 大使館による講演
・レソト王国について
- ③ Q&A
- ④ 民族衣装体験
- ⑤ 終わりの言葉
- ⑥ 記念撮影

港区立三田中学校

レソト王国大使館による学校訪問



↑大使館からの講演

↓英語で質問をする
生徒たち



↑帽子の
着用体験 →



5. 参加者の様子等

- ◆ 講演では、レソト王国の場所や歴史・民族・国旗・地理、教育環境や、最も低いところでも標高1400メートルに位置するため《天空の王国》と呼ばれていること、そして、アフリカで唯一のスキー場を有する国だということが紹介された。
- ◆ Q&Aコーナーでは、生徒たちから英語で質問が行われた。好きな日本食を聞かれた参事官は、おにぎりやお好み焼き・唐揚げ・焼肉が好きと答えていた。
- ◆ レソトの帽子とブランケットの着用体験が行われた。アフリカというと暑いイメージがあるが、標高の高いレソトでは夏でも、ブランケットを着用するほど涼しいと紹介された。

留学生による講演

練馬区立光が丘第一中学校 海外からの留学生による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年11月7日（金）
13:35～15:25
場所：練馬区立光が丘第一中学校
特別教室3カ所

2. 参加者

練馬区立光が丘第一中学校（都側）
1年生 77名

3. 交流相手

日本学生支援機構より派遣された
講師3名（コロンビア、ブータン、シンガポール）



↑流暢な日本語で自国の紹介をする講師陣
クイズを交えて話をすすめた ↓ →



4. 当日のスケジュール

- ① 控室到着した留学生をクラスの代表が案内
- ② 講義（1年生を3クラスに分けて講義）
 - ・ 自国の紹介（コロンビア、ブータン、シンガポール）
 - ・ 質疑応答
- ③ 講義（1年生を3クラスに分けて講義）
 - ・ 自国の紹介（コロンビア、ブータン、シンガポール）
 - ・ 質疑応答

5. 参加者の様子等

- ◆ 1年生を3クラスに分けて、3か国の講師が各2回講義。生徒はそのうち、2か国を受講した。
- ◆ 生徒達は留学生が流暢な日本語を話していることに驚いた様子であった。
- ◆ 講義は、クイズを取り入れた問いかけや、各国での挨拶紹介などの工夫があり、生徒たちは興味を持って楽しそうに講義を聞く様子が見られた。
- ◆ 生徒たちは、事前学習で各国について知識を得ていたが、留学生の実際の話を書くことで、理解をより深めることができた。後日、各講師に感謝の気持ちを込めた手紙を送付した。

大使館交流

港区立御成門中学校 エルサルバドル共和国大使館への訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年11月13日（木）
14:30～16:00
場所：エルサルバドル共和国大使館

2. 参加者

港区立御成門中学校（都側）
多言語クラブ
1年生3名 2年生4名

3. 交流相手

エルサルバドル共和国大使館
参事官1名
通訳1名

4. 当日のスケジュール

- ① 講義
 - ・国の基本情報、スポーツ、観光、文化、食文化
 - ・エルサルバドル産の民芸品やおもちゃでの体験
- ② 食文化体験
 - ・エルサルバドル産のコーヒー、チョコレート、ビスケットの試食
- ③ 質疑応答
- ④ 記念撮影



←質疑応答の様子

✓エルサルバドル産
のコーヒー、チョコ、
ビスケット

へ参事官の
スペイン語
での講義の
様子
←



5. 参加者の様子等

- ◆ 講義はスペイン語で進められ、通訳を交えながら日本語のスライドに沿って展開された。スペイン語での挨拶やじゃんけん、ビデオ視聴などを取り入れ、生徒たちは熱心にメモを取りながら集中して聴講していた。
- ◆ 民芸品制作のビデオ鑑賞後には実際に品物に触れ、香りに特徴のあるエルサルバドル産コーヒーの説明後には試食を行った。体験を通して、生徒たちの学びがより深まった様子だった。
- ◆ 質疑応答では、事前学習で準備した質問を英語で行うなど、主体的に参加する姿勢が見られた。さらに、防災対策や犯罪率に関する質問が出され、大使館からは「普段聞かれないような良い質問が多かった」と感心された。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2025年11月28日（金）

13:25～14:20

場所：四谷中学校、体育館

2. 参加者

八王子市立四谷中学校（都側）
全校生徒 280名

3. 交流相手

マレーシア大使館
一等書記官 1名
職員 1名

4. 当日のスケジュール

- ① 校長先生と挨拶
- ② 体育館にてマレーシアの紹介
 - ・マレーシア全般について
 - ・マレー語について
- ③ マレーシアの観光動画視聴
- ④ 質疑応答
- ⑤ 生徒代表の感謝の言葉

八王子市立四谷中学校 マレーシア大使館による学校訪問



↑ 体育館での交流の様子



↑ マレー語を学ぶ
→



↑ 質疑応答



↑ 校長室での様子

5. 参加者の様子等

- ◆マレーシア全般（地理・歴史、民族、見どころや世界一高いツインタワー、食文化等）についてスライドで紹介した。
- ◆日常生活におけるマレー語の紹介があり、希望した生徒が皆の前で会話練習を行った。仮名がふってあっても読むのに苦労している様子であった。
- ◆質疑応答で多くの手が挙がったり、講義中に熱心にメモを取るなど、生徒たちは終始積極的に参加していた。
- ◆生徒からマレーシアの名前の由来について質問があり、国の歴史や成り立ちを知る上で新たな気づきを得た様子であった。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2026年1月30日（金）

10:00～11:00

場所：トーゴ共和国大使館

2. 参 加 者

足立区新田学園

足立区立新田中学校（都側）

2年生 20名

教員 1名

3. 交 流 相 手

トーゴ共和国大使館

公使参事官 1名

領事部 広報担当職員 1名

足立区新田学園足立区立新田中学校 トーゴ共和国大使館への訪問交流



↑ 参事官のフランス語での挨拶を聞く



↑ トーゴの遊びを紹介



↑ 記念撮影

4. 当日のスケジュール

- ① 都側生徒による英語での挨拶
- ② 大使館側の挨拶
- ③ 大使館による講演
- ④ 質疑応答
- ⑤ 民族楽器、遊びの紹介と体験
- ⑥ 記念撮影と閉会の挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 講演では、トーゴ共和国の地理・人口・主要都市・主産業・食・学校制度について日本語で説明があった。「日本では義務教育制度があり、学校に行けることが普通だが、そうではない国もあることを知ってほしい」という言葉に、都側生徒たちはしっかりと受け止め、考えている様子であった。
- ◆ 質疑応答では、都側生徒が英語で質問し、回答も英語で行われた。生徒たちは、一生懸命に自分の考えを英語で伝え、相手の言葉を聞こうと終始積極的であった。
- ◆ 質疑応答の後、民族楽器と遊びが紹介され、生徒は民族楽器に触れて音を出したり、遊び道具の使い方を聞いて触るなど、楽しそうに過ごしていた。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2026年2月6日(金)
13:20～15:10(2コマ)
場所：足立区立江北桜中学校

2. 参加者

足立区立江北桜中学校(都側)
1年生 63名
2年生 105名

3. 交流相手

駐日欧州連合代表部
学術協力担当 政治・広報部
1名

4. 当日のスケジュール

- ① 始めの挨拶・講師紹介
- ② 欧州連合 (EU) について
- ③ 質疑応答
- ④ お礼の言葉 (1年生代表・2年生代表)

足立区立江北桜中学校

欧州連合 (EU) 代表部による学校訪問



↑ 講演の様子



← 質疑応答の様子



↑ 事前学習を掲示したウエルカムボード

5. 参加者の様子等

- ◆ 講師の自己紹介の冒頭で「好きな日本食はなんだろう」というクイズに対し、生徒が積極的に手を挙げて参加した。コミュニケーションを取りながら和やかに講演が開始された。
- ◆ 講演では、「EUの参加加盟国数」「公用語は?」「本部の場所は?」など生徒に質問しながら説明がなされた。生徒たちは、事前学習をしていたため、即答できる生徒が多く、講師が感心している様子であった。
- ◆ 質疑応答では、「イギリスはEUを脱退したが、イギリス出身者がEU代表部で働き続けられるのか」という質問が出た。すると、講師は「いい質問ですね」と述べ、丁寧に解説してくれた。



訪問受入交流



中学校

[!\[\]\(0f848bbd71cef6b345273b16f905912a_img.jpg\) 目次へ戻る](#)

訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年11月5日（水）
8:30～15:00
場所：足立区立東島根中学校

2. 参加者

足立区立東島根中学校（都側）
1年生：124人
2年生：95人

3. 交流相手

インド共和国
Springdales School
生徒30名 引率4名

4. 当日のスケジュール

- ① ウエルカムセレモニー
- ② 授業体験（1, 2年生）
- ③ 昼食
- ④ 交流会
 - ・インド側生徒の発表
民族舞踊・ダンスミニ講座・詩の朗読
 - ・都側生の発表
折り紙体験・合唱
- ⑤ 記念写真後、解散

足立区立東島根中学校 インドの中学校による訪問交流



←インドの生徒による民族舞踏



←折り紙を教える都側の生徒

↑集合写真の撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ウエルカムセレモニーでは都側生徒がインドの日常の挨拶、「ナマステ！」と伝え、インド側生徒は笑顔を見せ緊張が和らいだ表情であった。
- ◆授業体験では日印でペアを組み実施。互いに質問し合うなど積極的に交流をしていた。
- ◆交流会ではインド側生徒が民族衣装に着替え、踊りを披露した。都側生徒もステップを真似しインドのダンスを体験した。振付けに戸惑う都側生徒もいて、笑顔の絶えない印象的な交流となった。
- ◆インド側生徒の強い要望で都側生徒が折り紙の鶴を教えた。都側生徒が企画した交流プログラムに、インド側生徒は満足した様子であった。



手紙・カードやメールの交換

● 高等学校

カード交換

東京都立板橋有徳高等学校 ポーランドの学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2022年7月26日（火）

板橋有徳高校の生徒が
作成したカード→

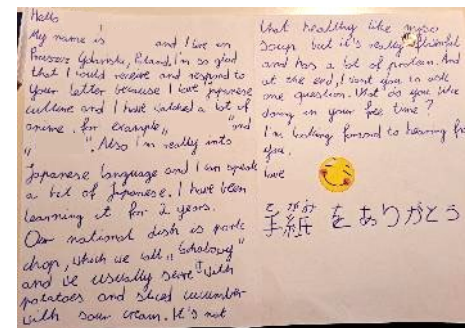


2. 参 加 者

東京都立板橋有徳高等学校（都側）
国際交流委員 7名

3. 交 流 相 手

ポーランド共和国
Zespół Szkół Ogrodniczych i
Ogólnokształcących



←↑ポーランド側の生徒が
作成したカード

4. スケジュール

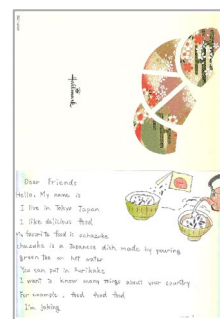
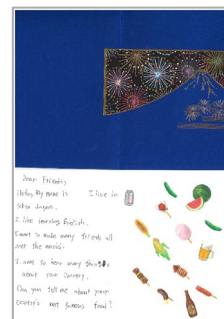
- ① カードの作成
- ② 学校から事務局へカードの郵送
・板橋有徳高校よりコンシエルジュ事務局へカードを郵送
- ③ カードの発送
・コンシエルジュ事務局より交流相手校へカードを郵送

5. その他

- ◆ ポーランドとビデオチャット交流を行った際、一部の生徒から、「ポーランドの学校とカード交換を行いたい」と希望があり、今回の交流実施に至った。
- ◆ 生徒は和風のカードを用意し、手書きでメッセージを添えた。

6. オーストラリアの学校とのカード交流

- ◆ 板橋有徳高校は、ポーランドとの交流後に、オーストラリアのLindisfarne Anglican Grammar Schoolともカード交換交流を行いました。



↑オーストラリアからは、
15通のクリスマスカードを受領しました。

↑板橋有徳高校の生徒（13名）は、
日本らしい台紙を用意してカードを作成しました。

カード交流

東京都立上水高等学校 アメリカの学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2023年11月22日(水)

2. 参 加 者

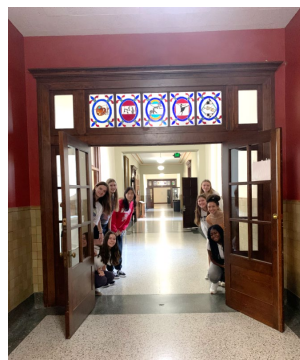
東京都立上水高等学校（都側）
異文化交流（選択授業）10名

3. 交 流 相 手

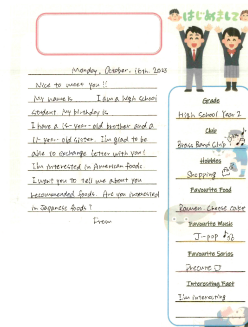
アメリカ合衆国 ウィスコンシン州
Edgewood High School



↑ Edgewood High School の生徒



↑ 自己紹介・学校紹介カード



ペア相手へのカード↑

4. スケジュール

- ① カードの作成
- ② 両校からクラウドにカードをアップロード
 - ・2学期に入りそれぞれが自己紹介・学校紹介カードを作成し、クラウドにアップロード
- ③ ペアを決めてカードを作成・アップロード
 - ・両校でペアを決め、相手に個別でカードを作成してクラウドにアップロード
- ④ グリーティングカードを実際に交換

5. その他

- ◆ 生徒同士でペアを決め、文化的行事の過ごし方についてカードを作成した。
- ◆ Edgewood High School からは、スマイルクラブという、地域で音楽やクラフトなどのボランティア活動を行う部活動に所属している生徒が参加した。

動画交換

東京都立東大和南高等学校 台湾の学校との動画交換

1. 相手校からの 動画到着日

到着日：2024年4月12日（金）

2. 参 加 者

東京都立東大和南高等学校（都側）
3年生 30名

3. 交 流 相 手

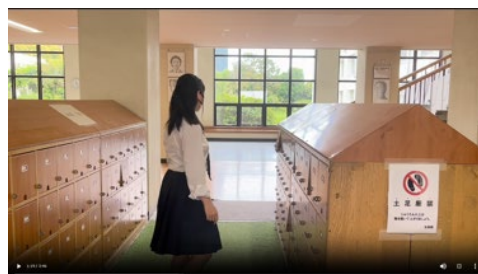
台湾 台北市
Taipei Municipal
Daan Vocational High School

4. スケジュール

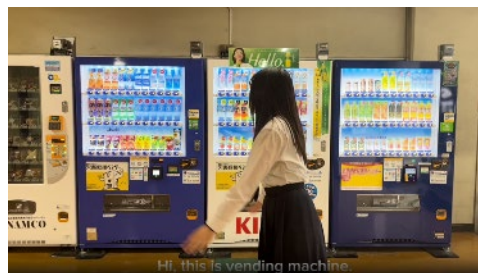
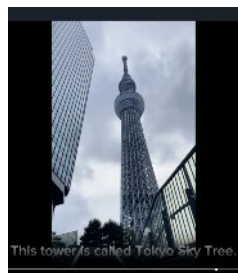
- ① 東大和南高等学校にて動画の作成
- ② 動画のアップロード（都側から）
 - ・学校から交流用クラウドへ動画をアップロード
- ③ Daan Vocational High Schoolにて動画の作成
- ④ 動画のアップロード（台湾側から）
 - ・学校から交流用クラウドへ動画をアップロード

5. その他

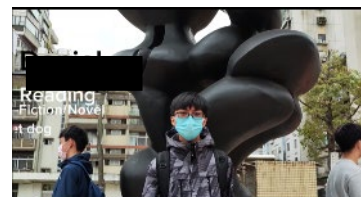
- ◆ 都側の生徒は自己紹介、学校や部活の紹介、スカイツリーや奈良といった観光地の紹介をしていた。学校の紹介では、下駄箱や自動販売機等の日本の特徴的な習慣や設備を紹介していた。
- ◆ 台湾側の生徒は自己紹介、学校紹介のほか、趣味や得意な教科、街の様子等を紹介していた。また、ギターを演奏したり、焼きそばの作り方を紹介したりする動画もあった。



← ↑ 都側の動画 ↓



← ↑ 台湾側の動画 ↓



カード交換

東京都立上水高等学校 アメリカ合衆国の学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2025年12月1日(月)

2. 参加者

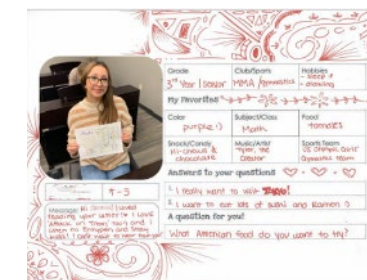
東京都立上水高等学校（都側）
2年生 19名

3. 交流相手

アメリカ合衆国 ウィスコンシン州
Edgewood High School
1年生～4年生 18名



↑
←都側が作成したカード



↑
←アメリカ側が作成したカード

4. スケジュール

- ① 都側生徒によるカード作成
- ② 事務局がデータ化し、アメリカ側へ共有
- ③ アメリカ側生徒によるカード作成
- ④ アメリカ側よりカードをデータで受領
- ⑤ 事務局から都側へ共有

5. その他

- ◆ 都側から、ここ数年カード交換を実施しているアメリカの当該高校との継続した交流希望があり、実現した。
- ◆ 都側生徒、アメリカ側生徒、双方とも自己紹介をテーマにしたカードを作成した。各個人のカードと、学校の紹介カードと、両国とも同様の内容で交換した。
- ◆ 昨年度までは、カード交換は年に1回のみ実施していたが、都側生徒とアメリカ側生徒がペアになり継続してスライドを送るというアメリカ側の提案に応じ、都側生徒は追加の返信カードを用意し、事務局を通してアメリカ側へ送付した。

カード交換

東京都立江東商業高等学校 韓国の学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2026年1月下旬

2. 参加者

東京都立江東商業高等学校（都側）
1年生 162名

3. 交流相手

大韓民国 京畿道
Yeongdeok High School
2年生 33名
Yulcheon High School
2年生 34名
Suwon Technical High School
2年生 109名

4. スケジュール

- ① 韓国より手紙をデータで受領
- ② 都側へ韓国側のデータを共有
- ③ 都側より手紙をデータで受領
- ④ 韓国へ都側のデータを共有

こんにちは、私の名前は_____です。私は東京に住んでいます。
江東商業高校の1年生です。趣味は寝ることとゲームをすることです。

学校では面白い人がたくさんいます。その中でも帰り道が近い友達と、放課後に書き込みをして
遊びます。それ以外でも楽しいです。

休日は、旧友の家に行ったり、テレビゲームをしたり、一緒にYouTubeをながめたりして、楽し
ませてくれるので、帰るころには声がかれそうになります。

日本では、少し前から第一夫人さんが流行っています。しかし、私は辛いものが好きではありません。
韓国では、何か甘い食べ物に行っている人々が多いです。

Hello, my name is _____ I live in Tokyo.
I'm a first year student at Koto Commercial High School. My hobbies are sleeping and playing video
games.

There are lots of interesting people at school. Among them, I hang out with friends who live near
me on the way home after school. It's really fun.

On holidays, I go to my old friend's house, and we watch YouTube together or play video games.
We have so much fun that we end up shouting loudly, so by the time I leave, my voice is a little
hoarse.

In Japan, spicy soup has been popular for a while now. But I prefer sweet things. Are sweet things
popular in Korea right now?

↑ 都側生徒が作成した手紙

안녕! 나는 을지로고등학교 2학년 허서우라고 해 나는 한국의 수원에있는 고등학교를 다니고 있어 일본어 시간에 일본에 있는 東京
都立江東商業高等学校 학생들과 직접 편지교류를 할 수 있어서 너무 신나 코트 상업고등학교에 대해 알아보는 데 상당 분야(비즈
니스 실용)에 특화된 전문대학이 있다는 게 너무 신기하고 흥미로워서 특히 학생을 대상으로 한 '캐리어 탐구' 등 과제 탐색, 문제
발견, 원형활동 등 다양한 진로 교육 프로그램이 운영되는 것이 멋있었어 일본의 학교 생활은 어때? 한국에서의 학교 생활은 엄청
재밌었어!! 나는 물론이고 학생회 활동을 하고 있는데 코트 고등학교에도 특히 수필부나 농구부가 있다는 게 부러웠어 있다는 점이 우
리 고등학교는 실내가 엄청 예뻐 그리고 우리는 학교에서 열심히 공부하고 여자를 할 수 있는 공간들이 마련 되어있어 내가 살고
있는 곳은 수원이야 수원에는 행궁동이 유명하네 나중에 오면 같이 가서 소풍삼도 가고 밥도 같이 먹고 한국의 전통문화 체험도 같
이 하자 그리고 행궁동에는 병곡수류정이 유명하네 같이 걸으면서 얘기하기 좋아 한국 을 일 있으면 꼭 들려봐! 나도 나중에 일본
에 가면 龜戸天神社에 꼭 데려가줘 같이 일본 전통 축제와 빔빔, 등나무꽃도 보고 불꽃축제도 같이 가자! 그리고 스카이라이프
가서 같이 소풍도 하자 어차피 편지를 보고 내가 한국에 대해서 더 잘 알게 되었다면 서로 편지 주고받으면서 서로의 문화에 대해 소개도
하고 교류도 하자! 앞으로 편지 주고 받으면서 친하게 지내고 싶어 나중에 꼭 만날 수 있으면 좋겠다 연락 기다릴게 오늘 하루도 연
날만 건강 보렴

こんにちは! 私はユルチョン高等学校 2年生ハジスと言って私は韓国のスウォンにある高等学校に通っているの。日本語の時間
に日本にある東京都立江東商業高等学校の学生たちと直接手紙交換ができてとても楽しいコト商業高等学校について知
てみたが商業分野(ビジネス実務)に特化した専門学科があるというのがとても不思議で興味深かったの。特に学年を対象に
した「キャリア探索」等課題探究、問題発見、現場活動など多様な進路教育プログラムが運営されることが格好良かったの! 日本
の学校生活はどう? 韓国での学校生活はすごく楽しいよ!! 私はユルチョン高校の生徒会活動をしているが、コト高校にも
特に水泳部やバスケットボール部があることが驚きだったという点が我が高校は室内がとてもしゃべって、そして私たちは学
校で熱心勉強をして夜間自習ができる空間が用意されていて私が住んでいるところは水原だよ。水原には行宮洞(ヘングドン
)には行宮洞(ヘングドン)に有名なので、一緒に歩ながらおしゃべりするのが好きで、韓国に来る時はぜひ寄ってみて! 私
も今度日本に行ったら、龜戸天神社に必ず連れて行ってね。一緒に日本の伝統祭りや桜、雛の花も見て、花火大会も一緒に
行こう! そしてスカイツリーも行って一緒にショッピングもしよう。この手紙を見てあなたが韓国についてもっと知るようにな
ったらお互いに手紙をやりとりしながらお互いの文化について紹介もして交流もしよう。これから手紙をやりとりしながら親
しく話したい。後で必ず会えるといいね 今日一日も幸せな時間を過ごしてね!

↑ 韓国側生徒が作成した手紙

5. その他

- ◆ 都側生徒は5クラスあるため、A組がYeongdeok High Schoolと、B組がYulcheon High Schoolと、C～E組がSuwon Technical High Schoolとそれぞれ手紙交換をした。
- ◆ 韓国側生徒はほとんどの生徒が日本語で手紙を書いた。自分が好きな日本のアニメやドラマを伝えたり、韓国での学校生活の様子を紹介する生徒が多かった。
- ◆ 都側生徒は日本語と英語で手紙を書いた。趣味や日本での学校生活のこと、放課後や休日の過ごし方について伝える生徒が多かった。

カード交換

東京都立第四商業高等学校 ニュージーランドの学校とのカード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2026年2月13日（金）

2. 参加者

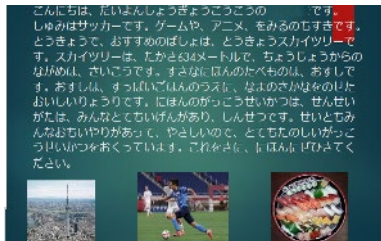
東京都立第四商業高等学校（都側）
1～3年生 14名

3. 交流相手

ニュージーランド オークランド市
Rangitoto College
9年生～12年生 15名

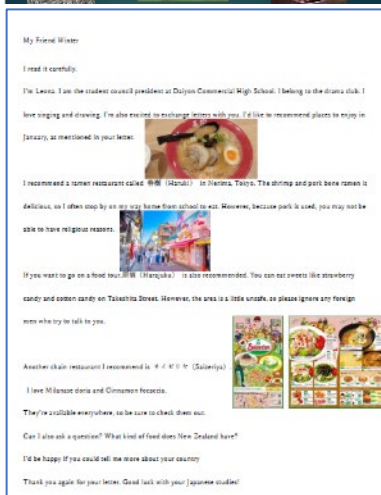
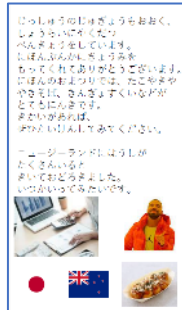
4. スケジュール

- ① ニュージーランド側がカードを送付
- ② 都側が返信のカードを送付



↑
↗
↘
↓
都側の返信カード

↓ニュージーランド側からのカード↑



5. その他

- ◆日本語を学習しているニュージーランド側生徒が、1月の夏休みを利用しカードを作成しており、英語の文章とともに日本語が添えられていて、イラストやニュージーランドの景色などの絵が描かれていた。
- ◆ニュージーランド側生徒のカードに返信する形で、都側生徒がカードを作成した。英語と共に、ひらがな・カタカナを使った日本語のカードも併せて用意した。
- ◆次回は、オンライン交流をしたいと双方から希望が寄せられ、次年度以降継続交流を計画することになった。

カード交換

1. 相手校への送付日

送付：2025年9月～2026年1月

2. 参加者

東京都立淵江高等学校（都側）
3年生 230名

3. 交流相手

アメリカ合衆国 テキサス州
MacArthur High School
1～3年生 日本語クラス 50名

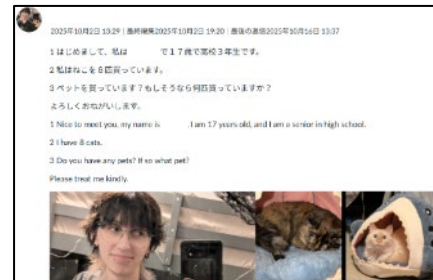
東京都立淵江高等学校 アメリカ合衆国の学校とのカード交換



↑ メッセージや写真の交換



↑ 都側生徒の投稿（休日の過ごし方）



↑ アメリカ側生徒の投稿（自己紹介）→



↑ アメリカ側生徒の投稿（お土産の後の感想）

4. スケジュール

- ① アメリカ側教員が淵江高校を訪問して打合せ
- ② アメリカ側がCanvasでプラットフォームを作成し共有
- ③ 都側・アメリカ側ともにトピックを設定しメッセージ投稿
・自己紹介、学校紹介、休日の過ごし方、私の町
- ④ お土産を郵送で交換
- ⑤ 都側・アメリカ側共にメッセージ投稿

5. その他

- ◆ アメリカ側の教員が、別件で来日予定の際に都側高校に訪問し、教員同士で交流内容を相談し決定。アメリカ側が準備したクラウドに継続してメッセージ投稿をすることになった。
- ◆ 1か月に1回、トピックを設定して、写真やイラストとともにメッセージを送付。アメリカ側生徒は日本語を学習中のため、双方とも日英併記でメッセージを投稿。相手からのメッセージに対して、返信機能を用いて感想を投稿するなど、気軽な双方向のコミュニケーションが成立していた。
- ◆ 双方とも、お土産を郵送で送り合い、受け取ったお礼と感想を写真とともに投稿した。

オンライン交流

高等学校

 目次へ戻る

ビデオチャット交流

東京都立杉並高等学校 台湾の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2021年10月6日（水）
13：00～14：20
場所：東京都立杉並高等学校

2. 参加者

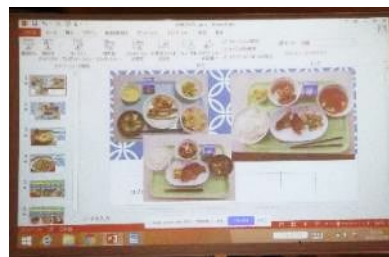
東京都立杉並高等学校（都側）
1年生 7クラス
2年生 8クラス
計 15クラス

3. 交流相手

台湾
臺中家事商業高級中等學校

4. 当日のスケジュール

- ① 両校の校長による挨拶
- ② 両校の生徒代表による挨拶
- ③ 台湾の食文化に関する発表（台湾側から）
- ④ 日本文化に関する発表（日本側から）
 - ・ 伝統楽器、和食、挨拶、歌曲、和服、給食
- ⑤ 伝統楽器の演奏（台湾側から）
- ⑥ アカペラによる合唱（日本側から）
- ⑦ 画面上での記念撮影
（全て英語で実施）



日本側の給食に関する発表資料



伝統楽器を演奏する台湾側の生徒



教室の様子

5. 参加者の様子等

- ◆ 例年は2年生が修学旅行で台湾を訪問し、臺中家事商業高級中等学校と交流を行っていたが、修学旅行が中止となったため、今回の交流が実施された。
- ◆ 発表等がない生徒たちも集中して画面を見ていた。
- ◆ 各教室にパソコン、プロジェクター、スクリーン等が設置され、無線のインターネット接続が可能だった。

ビデオチャット交流

東京都立足立西高等学校 韓国の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年6月13日（月）
17：20～18：30
場所：東京都立足立西高等学校

2. 参加者

東京都立足立西高等学校（都側）
1～3年生 10名

3. 交流相手

大韓民国 京畿道
陶唐高校



交流の始めに全員でアイスブレイクを実施



少人数に分かれて会話を楽しむ生徒たち

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
 - ・日本語が堪能な韓国側の教諭のリードで、自己紹介を兼ねたアイスブレイクを実施
- ② 対話
 - ・2～3名ずつブレイクアウトルームへ分かれ、韓国語と日本語を織り交ぜて会話
- ③ 終わりの挨拶
 - ・再び全員が集合し、挨拶をして終了

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側及び韓国側の生徒は、一人1台タブレット端末を使用し、オンライン会議システムのブレイクアウトルームを活用して交流を行った。
- ◆ 足立西高等学校では、韓国語の授業は実施していないものの、担当教諭の呼びかけに集まった韓国や韓国語に興味のある生徒10名が参加した。あらかじめ準備しておいた自己紹介用の韓国語や日本語を織り交ぜて会話を楽しんでいた。
- ◆ 終了後、参加生徒からは、もっと韓国語を学習する必要があるとの声があがっていた。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年12月9日（金）
16：00～17：05
場所：東京都立若葉総合高等学校

2. 参 加 者

東京都立若葉総合高等学校（都側）
英語クラブ2、3年生 4名

3. 交 流 相 手

ポーランド共和国
Zespół Szkół Ogrodniczych i
Ogólnokształcących

東京都立若葉総合高等学校 ポーランドの学校とのビデオチャット交流



↑ポーランド側からおすすめスポットの紹介



↑ポーランドのハンドサインを用いた交流

4. 当日のスケジュール

① 挨拶

・英語クラブの生徒及びポーランドの生徒による挨拶

② 自己紹介と各トピックの発表

トピック：将来の夢、好きな食べ物、ポーランドの文化、
好きなこと、日本のおすすめの場所 等

③ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 若葉総合高校の生徒がスマートフォンの画像を見せながら各トピックについて説明すると非常に盛り上がり、さらに他の話題へと会話が発展していった。
- ◆ 和菓子の話題が出ると、ポーランド側の生徒が自国のスイーツの画像を画面に共有した。若葉総合高校の生徒からは「おいしそう！」等と反応があり、会話が弾んだ。
- ◆ 少人数での和やかな交流で、有意義な時間となった。

ビデオチャット交流

東京都立若葉総合高等学校 ポーランドの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年5月12日（金）
16：00～17：00
場所：東京都立若葉総合高等学校

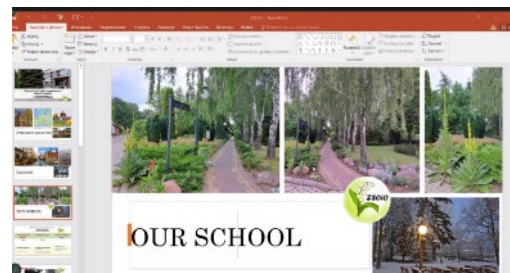
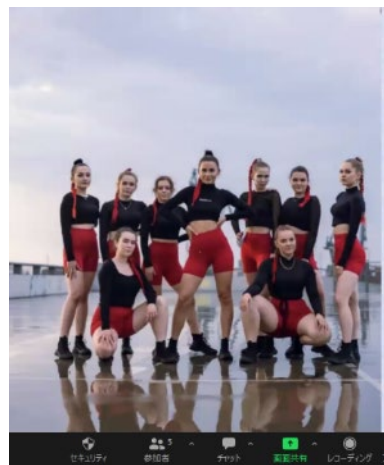
2. 参加者

東京都立若葉総合高等学校（都側）
2～3年生 5名

3. 交流相手

ポーランド共和国
Zespół Szkół Ogrodniczych i
Ogólnokształcących

↑ポーランドの生徒がダンスコンテストに出すために作成したビデオ



↑ポーランド側の学校の
庭園を紹介するスライド

↓枯山水を紹介する
若葉総合高校の生徒



4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② 若葉総合高校の生徒から発表
 - ・趣味や日本の伝統文化等について発表・質疑応答
- ③ ポーランド側の生徒から発表
 - ・学校の設備等や試験、音楽等について発表・質疑応答
- ④ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 若葉総合高校の生徒は、スマートフォンで京都竜安寺の枯山水の庭園の画像を見せながら、英語で紹介を行った。
- ◆ ポーランド側からは、実際に試験で出題された英語のテスト問題が紹介され、東京の学校の試験や勉強について質問があった。
- ◆ ポーランド側は、若葉総合高校の生徒が発表した好きなアーティストの曲を使用して撮影された、ダンスコンテスト用の動画を紹介した。

ビデオチャット交流

東京都立上水高等学校 タイの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年7月10日（月）
14：30～15：30
場所：東京都立上水高等学校

2. 参加者

東京都立上水高等学校（都側）
2年生 10名

3. 交流相手

タイ王国
Saipanya Rangsit School
3年生 19名



↑自分の制服について説明



↑タイ舞踊の実演



↑グループに分かれて交流

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
 - ・双方の母国語で挨拶
- ② 発表(都側→タイ側)
 - ・都側からは各生徒の制服および文化の紹介
 - ・タイからは料理、祭り、伝統衣装、ムエタイ・タイ舞踊の4つのジャンルを紹介
- ③ 感想、質疑応答
- ④ フリートーク
 - ・2グループに分かれて、10分程度のフリートーク
- ⑤ 終了の挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆文化についての発表では、生徒たちが手描きのイラストなどを見せて説明し、タイの生徒にも伝わった様子だった。
- ◆タイ料理の説明では、「トーキョー」というお菓子が紹介され、都側の生徒は詳しい内容について質問をしていた。
- ◆ムエタイ・タイ舞踊の紹介では、それぞれタイの女子生徒、男子生徒がカメラの前で実演してくれた。

ビデオチャット交流

東京都立井草高等学校 マレーシアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年10月2日（月）
15:15～16:40
場所：東京都立井草高等学校

2. 参加者

東京都立井草高校（都側）
1～3年生 14名

3. 交流相手

マレーシア セランゴール州
Sri KDU Secondary School
Secondary 3 約20名



↑弓道について説明



←できあがった
Jamboard

最後の記念撮影→



4. 当日のスケジュール

- ① 自己紹介
- ② 両校の学校紹介
- ③ 井草高校からの発表
 - ・あらかじめ用意した4つのテーマについて、
パワーポイントにより発表
- ④ マレーシア側から同国の紹介
- ⑤ 両校生徒参加のJamboard Sessionにて意見交換
- ⑥ 記念写真撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ 井草高校の生徒は、4つのグループ（日本の食文化・伝統スポーツ・観光地・観光施設）に分かれて発表した。
- ◆ マレーシア側は、井草高校が来年度予定しているマレーシアへの修学旅行に役立つ観光地情報等について発表した。
- ◆ 両校生徒によるJamboard Sessionでは、Jamboard（電子ホワイトボード）が、両校の生徒たちの意見・感想でみるみる埋まっていった。
- ◆ 井草高校の参加生徒からは「スピーキング学習の意欲が高まった」という意見が多く寄せられた。

ビデオチャット交流

東京都立片倉高等学校

シンガポールの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年10月13日（金）
13：20～14：10
場所：東京都立片倉高等学校

2. 参加者

東京都立片倉高等学校（都側）
造形美術コース 1年生 39名

3. 交流相手

シンガポール共和国
School of the Arts, Singapore
(SOTA)
Secondary 3 約20名

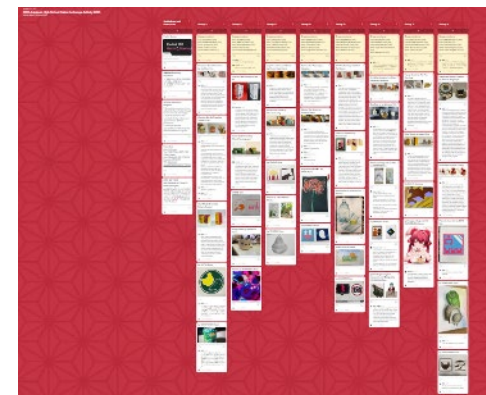


↑ 交流の流れについてSOTAからの説明を聞く片倉高校の生徒

片倉高校造形美術コースの生徒の作品について概要説明をする様子↓



8グループに分かれブレイクアウトルームで交流する様子 →



↑ 出来上がったPadlet



4. 当日のスケジュール

- ① 全体で相互に挨拶
- ② 交流のプログラムについてSOTAから説明
- ③ 片倉高校・SOTAの学生が、それぞれの作品について概要説明
- ④ 両校の学生がブレイクアウトルームで交流
- ⑤ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 交流までにオンラインの事前打合わせを2回行うなど準備を重ね、Padlet（オンライン掲示板アプリ）に作品を掲載した。
- ◆ シンガポール側が授業で作成したお菓子のパッケージデザイン、都側が身近な施設をテーマにしたピクトグラム等を、英語で紹介した。
- ◆ ブレイクアウトルームの交流では、片倉高校は3部屋を使い、自己紹介や自分の作品についての説明を行った。
- ◆ 同じ芸術系の領域を勉強している同年齢の生徒たちによる交流だったため、お互いに親近感が湧いたようだった。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年11月1日（水）
15：50～16：40
場所：東京都立三宅高等学校

2. 参加者

東京都立三宅高等学校（都側）
1～3年生 13名

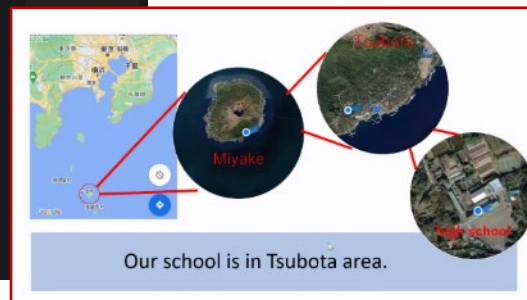
3. 交流相手

大韓民国 仁川広域市
Hak Ik High School
1～2年生 11名

東京都立三宅高等学校 韓国の学校とのビデオチャット交流



← 三宅島の位置や学校の設備
↓ (屋上プールや茶畑)を紹介



←Hak Ik高校の生徒が歌を披露し、
三宅高校の生徒はタンバリンや
マラカスで盛り上げた

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② 都側の生徒による学校及び三宅島の紹介
- ③ 韓国側の生徒による自己紹介及び仁川市の紹介
- ④ 質疑応答
- ⑤ 韓国側生徒による日本の歌の弾き語り

5. 参加者の様子等

- ◆両校は10月にも交流を行っていたため、冒頭から友好的な雰囲気
で交流がスタートした。
- ◆両校とも、複数の学年の生徒が参加したため、同い年の生徒を見
付けては盛り上がっていた。
- ◆両校はアニメやゲーム、音楽等、共通で盛り上がる話題も多く、
言語でのコミュニケーションに加え、ジェスチャーを使って相手
に気持ちを伝えようと努める生徒たちの明るさが際立つ交流会と
なった。

ビデオチャット交流

東京都立本所高等学校 ポーランドの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

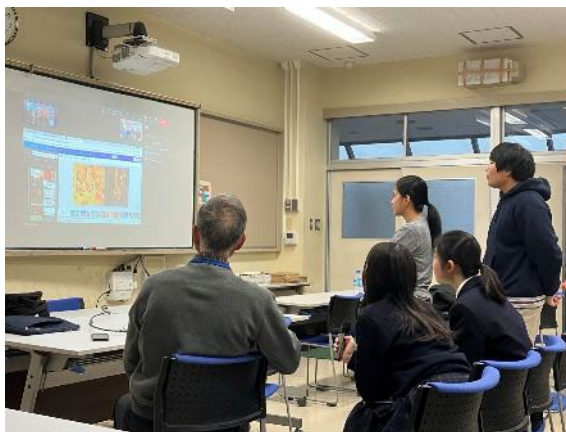
日時：2023年12月8日（金）
16：00～17：00
場所：東京都立本所高等学校

2. 参加者

東京都立本所高等学校（都側）
英語部 4名

3. 交流相手

ポーランド共和国
Pruszcz Gdański
Zespół Szkół Ogrodniczych i
Ogólnokształcących 5名



↑発表を熱心に聞く本所高校の生徒



↑ポーランド側はサンタクロースの衣装で参加

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② 都側生徒の自己紹介・発表
 - ・自分自身や趣味等について画像を共有しながら発表
 - ・質疑応答
- ③ ポーランド側生徒の自己紹介・発表
 - ・ポーランドのクリスマス等について画像を共有しながら発表
 - ・質疑応答
- ④ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ ポーランド側はパワーポイントを使用し、ポーランドのクリスマスを中心に紹介した。
- ◆ 両校とも少人数での参加だったため、全員が均等に時間を使い、自国のクリスマスの様子や自分の趣味等について和気あいあいと話していた。
- ◆ 本所高校は、過去にもポーランドの高校と交流を行ったため、過去の交流についても説明していた。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2024年5月31日(金)
15:50~17:00
場所：東京都立福生高等学校

2. 参加者

東京都立福生高等学校（都側）
英語部 15名

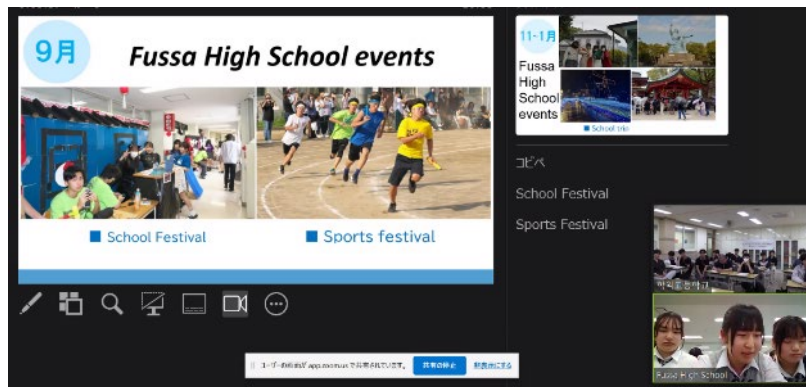
3. 交流相手

大韓民国 仁川広域市
HAK IK HIGH SCHOOL 19名

4. 当日のスケジュール

- ① 始まりの挨拶
- ② 自己紹介（韓国側・都側）
- ③ 地域・学校の紹介（韓国側・都側）
- ④ フリートーク・Q&A
- ⑤ 終わりの挨拶

東京都立福生高等学校 韓国の学校とのビデオチャット交流



↑ 都側のスライド



↑ 韓国側のスライド



← 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 韓国側には日本に住んでいた経験を持つ生徒が4名おり、日本語で自己紹介をしていた。
- ◆ 都側の生徒の自己紹介では、K-POPが話題に挙がり、会話が盛り上がった。
- ◆ フリートーク・Q&Aでは、日本語と英語を混ぜて交流を行い、相手国の音楽や地域についてさらに詳細な質問をしていた。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2024年6月10日（月）
14：30～15：30
場所：東京都立上水高等学校

2. 参加者

東京都立上水高等学校（都側）
2年生 15名
（異文化交流の選択授業内）

3. 交流相手

タイ王国 パトゥムターニー県
Saipanya Rangsit School
2年生 20名（日本語を学ぶ学生）

4. 当日のスケジュール

- ① 初めの挨拶
- ② 発表
 - ・ 学校紹介、お弁当の紹介（都側）
 - ・ 学校紹介、周辺地区紹介（タイ側）
- ③ フリータイム
- ④ 終了の挨拶

東京都立上水高等学校 タイの学校とのビデオチャット交流



↑ お弁当について説明（都側）



↑ 学校生活を紹介（タイ側）

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側は学校紹介の際、クラブ活動の紹介も行った。
また、タイ側は学校紹介と周辺地区の紹介をした。
- ◆ タイの生徒は都側のお弁当紹介に関心を示していた。
- ◆ フリートークでは2つのグループに別れて交流を行った。
最後は画面越しに記念写真を撮影し、交流を終了した。

ビデオチャット交流

東京都立広尾高等学校 韓国の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2025年6月10日(火)
16:00～17:00
場所：東京都立広尾高等学校

2. 参加者

東京都立広尾高等学校（都側）
1～2年生 10名

3. 交流相手

大韓民国 仁川広域市
Incheon Popular Arts High School
1年生 11名



↑都側生徒：学校が位置する渋谷区の紹介



↑韓国側生徒：学校生活の紹介



4. 当日のスケジュール

- ① 始まりの挨拶
- ② 都側生徒の発表
 - ・学校、東京・渋谷、日本のスナック菓子の紹介
- ③ 韓国側生徒の発表
 - ・韓国語ミニ講座
 - ・学校、韓国料理、映画、K-Popスターなどの紹介
 - ・私が日本を好きな理由
- ④ 質疑応答およびフリートーク
- ⑤ 写真撮影と終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆都側生徒は、学校生活や渋谷区の有名なイベント、外国の方にも人気のスナック菓子等について、スライドを用いて紹介した。
- ◆韓国側生徒は、韓国語のミニ講座を企画し、よく使う韓国語をいくつか紹介した。都側の生徒は韓国文化に親しみや興味関心を持つことができ、互いの距離が一気に縮まった様子だった。
- ◆韓国側生徒による学校紹介では、「芸能学校」であることが紹介され、映画や演劇、ダンスの授業などが行われていることや、多くの著名人を輩出していることなどが紹介された。都側の生徒にとっても、新鮮で興味深い内容となった。

ビデオチャット交流

東京都立目黒高等学校 オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2025年5月29日(木)
8:50-9:30
場所：東京都立目黒高等学校

2. 参加者

東京都立目黒高等学校
1年生 40名

3. 交流相手

オーストラリア連邦・NSW州
Killara High School
11年生 13名



↑ 制服について説明する都側生徒



↑ 都側の相撲の説明に大喜びの
オーストラリア側生徒



↑ オーストラリア側生徒による
食文化に関する発表

4. 当日のスケジュール

- ① 始まりの挨拶
- ② オーストラリア・都側生徒が交互に発表
自国の名所、食文化、学校生活等について
複数グループに分かれてグループ毎に発表
- ③ 質疑応答およびフリートーク
- ④ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ オーストラリア側生徒は、日本語の授業を選択している
Japanese Continuers Classの生徒達だったため、流暢な日本語
で発表を行った。
- ◆ 都側生徒は、用意した資料を使い、オーストラリア側と同じテー
マでグループごとに発表を行った。発表中に質疑応答を入れ込む
ことにより交流を深めていた。
- ◆ 両校の生徒は、英語・日本語を柔軟に使い分けて交流を行い、双
方の発表内容や生徒の人柄等に触れる中で、積極的に質問を投げ
かけたり、自分の考えを伝えようとする姿勢が見られた。

ビデオチャット交流

東京都立多摩工科高等学校 台湾の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2025年6月18日(水)
15:30～17:00
場所：東京都立多摩工科高等学校

2. 参加者

東京都立多摩工科高等学校（都側）
1～3年生 20名

3. 交流相手

台湾 雲林県
National Huwei Agricultural and
Industrial Vocational Senior High
School
1～3年生 11名

4. 当日のスケジュール

① 挨拶

- 台湾側の担当教諭、都側の代表生徒によるあいさつ

② ロボットアームキットの概要・組み立て手順について説明

- 台湾側主任教諭によるキットの概要や組み立て手順についての説明

③ ロボットアームのキット組み立て実施

- 台湾側主任教諭指導によるロボットアームの組み立て

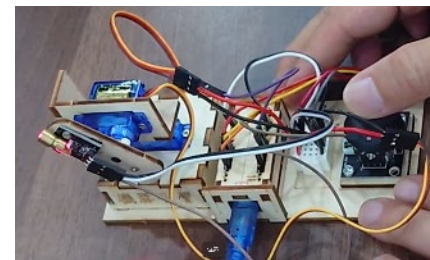
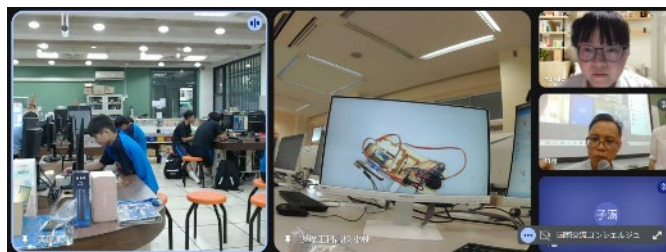
④ 問題点に関する質問・回答

- 主に都側からの問題点に関する質問・台湾側主任教諭の回答

⑤ 写真撮影及びお別れの挨拶



↑ 最初の挨拶



↑ ロボットアームの完成形

← 都側の配線を確認しながら説明する台湾の主任教諭

終わりの挨拶 ↓



5. 参加者の様子等

◆ 昨年度のオンライン交流に続いて、台湾側から、ロボットアームキットをオンラインで一緒に組み立てようと多摩工科高校に提案があり、今回の交流が実現した。

◆ 台湾側に日本語通訳者が入り、交流を進行した。台湾側主任教諭から、キットの重要な構成部品の一つであるモーターに欠陥品があったと説明があり、その対策について議論が交わされた。両校で出し合った対策案の中から、いくつか試行した。

◆ 工科系高校同士の交流のため、専門知識に対する基礎的な共通理解があり、交流をより深めていた様子だった。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2025年12月18日(木)
14:30～16:00
場所：東京都立小松川高等学校

2. 参加者

東京都立小松川高等学校（都側）
小松川グローバルチーム
1～2年生：7名

3. 交流相手

大韓民国 仁川広域市
Incheon Ara High School
1～2年生：12名

4. 当日のスケジュール

- ① 始まりの挨拶
- ② 都側の発表
・ 学校紹介とSDGsについて
- ③ 韓国側の発表
・ SDGsについて
- ④ 質疑応答
- ⑤ 終わりの挨拶

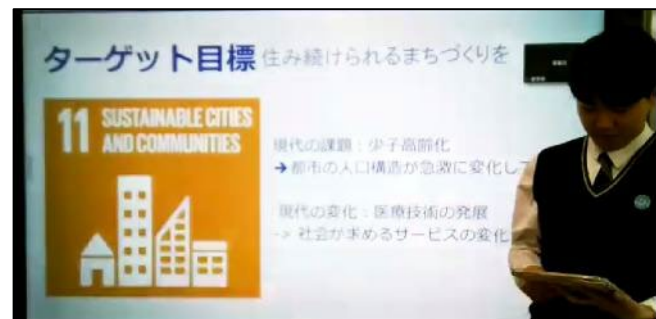
東京都立小松川高等学校 韓国の学校とのビデオチャット交流



↑都側生徒の
発表の様子→



↑韓国側生徒の
発表の様子→



5. 参加者の様子等

- ◆ 都側生徒の発表では、学校と住んでいる地域について英語で発表した。その後、SDGs⑥・⑪・⑫・⑭の目標について日本での取り組みを紹介したが、日本と韓国のリサイクル率などの比較を取り入れており、韓国側生徒も興味深く聞いている様子であった。
- ◆ 韓国側生徒の発表では、SDGs⑪を基に廃校活用と若年層の雇用創出について、日本語で発表した。また、日韓が現状実施している環境協力についても焦点を当てた。韓国側生徒は日本の学校における廃校の現状や廃校活用の取組事例についても資料を作成し、双方が我がこととして捉えるよう、発表内容を工夫していた。
- ◆ 質疑応答では、都側生徒が流暢な日本語を話す韓国側生徒に対し、「言語習得の近道」を聞いたり、自分達の国で流行っている言葉を教え合うなど、質問が絶えない交流となった。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2026年1月27日(火)

17:30～18:15

場所：東京都立葛西南高等学校

2. 参加者

東京都立葛西南高等学校（都側）

定時制2年生：16名

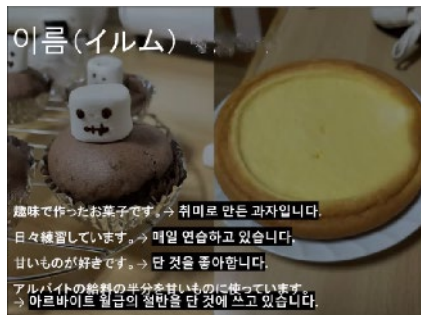
3. 交流相手

大韓民国 仁川広域市

Incheon Ara High School

1～2年生：9名

東京都立葛西南高等学校 韓国の学校とのビデオチャット交流



↑都側生徒
の発表の様子



↑韓国側生徒
の発表の様子



4. 当日のスケジュール

- ① 始まりの挨拶
- ② 都側生徒の発表
 - ・ 休日の過ごし方・自国で流行っているものの紹介
- ③ 韓国側生徒の発表
 - ・ 韓国の高校生の学校生活・放課後
- ④ 質疑応答
- ⑤ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側生徒は、日本語と韓国語で趣味や休日の過ごし方、日本で流行っているものについて紹介した。中には、アルバイトの様子を発表する生徒や将来の夢を語る生徒もいた。
- ◆ 韓国側生徒は、日本語で学校生活と放課後の過ごし方について発表した。授業内容や特色のある活動、休み時間の過ごし方、給食、部活、体育祭や文化祭などの学校行事など詳しく紹介していた。途中、3択クイズや文化祭の動画を流す場面もあった。
- ◆ 質疑応答では、都側生徒が日本語の授業時間数を尋ねると、現在の1週間に1～2時間が来年度から最大4時間になる予定との回答があり、都側生徒は驚いた様子であった。また、韓国側生徒からは、制服に関する質問があり、服装が自由であると回答していた。少人数の交流であるため、質問一つ一つに丁寧に対応している様子であった。

在京大使館との交流

高等学校

 [目次へ戻る](#)

大使館交流

東京都立小平高等学校 駐日メキシコ合衆国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2021年6月22日（火）
16：00～17：00
場所：東京都立小平高等学校

2. 参加者

東京都立小平高等学校（都側）
2～3年生 約50名

3. 交流相手

駐日メキシコ合衆国大使館



↑
大使館から配布された
メキシコ料理のレシピ
→



生徒が作成した
チラシ



交流会の終了後に大使館の職員と歓談する
スペイン語履修の生徒たち

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶（英語、スペイン語）
 - ・代表の生徒による挨拶（スペイン語）
 - ・大使館の職員による挨拶（英語、スペイン語）
- ② 大使館の職員による講演（スペイン語、日本語）
 - ・メキシコの文化や観光に関するプレゼンテーション
 - ・メキシコに関するクイズ
- ③ 質疑応答（英語）

例）・メキシコで流行っているものは何か。
・メキシコでおすすめの場所はどこか。
- ④ 生徒からのお礼（英語）

5. 参加者の様子等

- ◆ 代表の生徒はチラシを作成し、事前に校内に交流会の参加者募集をしていた。
- ◆ 教員から「新型コロナウイルス感染症の影響により国際交流の機会が減り、今回は久しぶりのイベントのため、多くの参加者が集まった。」という声が聞かれた。
- ◆ 生徒は手を挙げたり、英語で発言する等、積極的に参加していた。
- ◆ メキシコ大使館の職員から「是非また交流会を実施したい。」との発言があった。
- ◆ 交流会の終了後に、メキシコ大使館の職員と小平高等学校のスペイン語履修の生徒たちが歓談する様子が見られた。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2022年10月26日（水）

10：00～12：15

場所：マレーシア大使館

2. 参加者

東京都立狛江高等学校（都側）

1～2年生 有志 18名

教員 4名

3. 交流相手

マレーシア大使館

タンゲスワリ パレスワラン一等書記官

4. 当日のスケジュール

10：00 挨拶

大使館についての概要説明

10：15 マレーシアに関する観光ビデオの観賞及び講演

11：45 タンゲスワリ一等書記官によるマレーシアの歌の弾き語り

11：55 記念撮影

12：05 大使館内の見学

東京都立狛江高等学校 マレーシア大使館への訪問



↑マレーシア大使館の外観



↑タンゲスワリ一等書記官の講演

5. 参加者の様子等

◆国際交流に興味のある生徒が参加し、講演は英語で行われた。

◆最初にマレーシアの観光ビデオの上映があり、その後、マレーシアの概要、歴史、多様性、気候等についてご紹介いただいた。

質疑応答では、子供の遊びについて等、講演内容以外に関する質問が多く出た。

◆タンゲスワリ一等書記官によって、マレーシアの歌「ラサ・サヤン」の弾き語りが行われ、生徒からは「アンコール！」の声が上がった。

大使館交流

東京都立東高等学校 インド共和国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年7月6日（木）

14：30～16：15

場所：インド共和国大使館

2. 参 加 者

東京都立東高等学校（都側）

英語同好会 1～3年生 12名

教員 3名

3. 交流相手

インド共和国大使館

マノジ・シン・ネギー等書記官

4. スケジュール

① 挨拶

- ・ネギー等書記官及び引率の先生による挨拶
- ・東高校からの学校紹介

② 生徒によるプレゼンテーション

- ・代表生徒3名によるインドについてのプレゼンテーション

③ ネギー等書記官によるインドの紹介

④ 質疑応答、クイズ

⑤ 記念撮影

⑥ 挨拶



←生徒によるインドについてのプレゼンテーション



←ネギー等書記官からのクイズ



↑ネギー等書記官に質問

5. 参加者の様子等

- ◆ネギー等書記官から、「大使館の入口に置かれた水に浮かべた花びらには、歓迎の意味がある。」と説明があった。
- ◆代表生徒3名は、事前学習で調べたインドのベンガルタイガーや食文化、気候等について発表した。
- ◆ネギー等書記官によるインドについての紹介は、地理や歴史、建築、芸能、観光等、多岐にわたった。
- ◆参加生徒は質疑応答やネギー等書記官からのクイズに積極的に参加していた。

留学生による講演

東京都立墨田川高等学校 一般財団法人日本国際協力センターによる講師派遣

1. 日時・場所

日時：2023年7月31日（月）
9：00～11：30
場所：東京都立墨田川高等学校

2. 参加者

東京都立墨田川高等学校（都側）
1～3年生 17名

3. 交流相手

（一財）日本国際協力センター
より派遣された留学生講師3名
（イラン、エクアドル、ベトナム）

スペイン語の挨拶を→
練習

←留学生による講演



↑留学生から出題されたクイズの答えを相談

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② アイスブレイク（自己紹介）
- ③ 講師による出身国の紹介・クイズ
地理、国名の由来、現地の食べ物、工芸品、日本への輸出入品等
- ④ グループワーク
日本文化に関するものや一般的な概念を生徒が英語で説明し、
留学生が当てるクイズ
- ⑤ スペイン語講座

5. 参加者の様子等

- ◆アイスブレイクでは、自分の名前や好きなもの、所属する部活等に関連するイラストを描いて説明し、自己紹介をした。
- ◆グループワークでは、折り紙、扇子、祭り等を、留学生に英語で説明するクイズに挑戦した。グループで知恵を出し合い、説明の仕方や英語表現を考えた。生徒は試行錯誤しながらも、自分たちの英語が伝わる喜びを体感していた。
- ◆同日午後の在京メキシコ大使館への訪問に向けて、エクアドル出身の学生からスペイン語での挨拶を学んだ。

大使館交流

東京都立墨田川高等学校 メキシコ合衆国大使館への訪問

1. 日時・場所

日時：2023年7月31日（月）
14：30～16：15
場所：メキシコ合衆国大使館

2. 参 加 者

東京都立墨田川高等学校（都側）
生徒 16名
教員 4名

3. 交 流 相 手

メキシコ合衆国大使館
学術・科学部 Ms.Jina Hernández様
栗原佑紀子様

4. スケジュール

- ① 挨拶
- ② メキシコ大使館による講演
 - ・メキシコと古代文化について
- ③ アクティビティ
 - ・マヤ暦作り
 - ・マヤ暦に関するクイズ
 - ・生徒からの質疑応答
- ④ 代表生徒によるお礼の言葉
- ⑤ 記念撮影



↑マヤ暦の作り方を説明



↑グループごとに暦を作成



5. 参加者の様子等

- ◆講演では、スペイン語圏の中でメキシコは最大の国であることや、【MEXICO】という国名の意味、メキシコと日本の近代史等を説明いただいた。
- ◆生徒はグループに分かれ、古代のカレンダーを作成した。
- ◆生徒はマヤ暦と現在使われているカレンダーの違いを教わった。作成した古代のカレンダーを使って自身の誕生日を確認したり、クイズの中で今年のクリスマスがマヤ暦でいつに当たるか計算したり、暦の読み方を学習した。

留学生による講演

東京都立墨田川高等学校 一般財団法人日本国際協力センターによる講師派遣

1. 日時・場所

日時：2023年8月1日（火）
9：00～15：30
場所：東京都立墨田川高等学校

2. 参加者

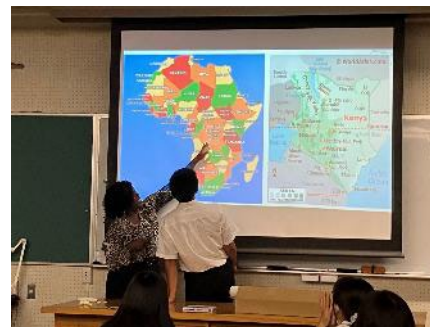
東京都立墨田川高等学校（都側）
1～3年生 11名

3. 交流相手

（一財）日本国際協力センター
より派遣された留学生講師5名
（ケニア、スリランカ、ブータン、マレーシア、モルディブ）



↑留学生と共通点・相違点を話し合う



←アフリカの国探しゲーム



色鮮やかな伝統衣装を
まとった留学生による講演→

4. 当日のスケジュール

- ① アイスブレイク（自己紹介リレー）
- ② 講師による出身国の紹介（3か国）
- ③ グループワーク・発表
校内で好きな場所を選び英語で紹介
- ④ 講師による出身国の紹介・ゲーム（2か国）
- ⑤ 校内ツアー（③で紹介した場所へ）
- ⑥ グループワーク・発表
留学生の国の学校との共通点・相違点
- ⑦ 感想の共有・発表

5. 参加者の様子等

- ◆ 前日に引き続いてアジア、アフリカ地域5カ国の留学生による国の紹介やクイズ、校内ツアー等を通して、英語で交流を行った。
- ◆ 留学生の出身国の学校との共通点・相違点探しでは、留学生の国の校則が厳しいこと等、日本と異なる点について関心を持ち、積極的に質問をする姿が見られた。
- ◆ 2日間のイベントを通じて、これまで知らなかった様々な国の話が聞けて楽しかった、今後の英語学習への意欲が高まったといった感想が挙がった。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2023年10月26日（木）
10：00～11：30
場所：駐日メキシコ合衆国大使館

2. 参加者

東京都立狛江高等学校（都側）
生徒 14名
教員 4名

3. 交流相手

駐日メキシコ合衆国大使館
学術・科学担当参事官
エマヌエル トリニダー

4. スケジュール

- ① 挨拶
- ② 大使館よりプレゼンテーション
 - ・ 日墨外交関係樹立135周年について
 - ・ クイズ
 - ・ 質疑応答
- ③ 代表生徒よりお礼の言葉
- ④ 記念撮影
- ⑤ 大使館内「死者の日の飾り」見学

東京都立狛江高等学校 メキシコ合衆国大使館への訪問



↑ トリニダー参事官



↑ 記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ 1888年メキシコが西洋諸国として初めて明治政府と平等条約を締結してから、今年が135年であることから、友好の歴史を中心に参事官からプレゼンテーションが行われた。
- ◆ クイズでは、手を挙げた生徒が、スクリーンに映されたクイズとその選択肢をスペイン語で読み上げた。
- ◆ 質問のコーナーでも生徒は積極的に手を挙げ、「どうして外交官になったのか？日本に赴任することが決まってどう思ったか？」等と英語で質問した。

大使館交流

東京都立飛鳥高等学校 インド大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2023年10月26日（木）
12：55～14：35
場所：東京都立飛鳥高等学校

2. 参加者

東京都立飛鳥高等学校（都側）
2年生 37名

3. 交流相手

駐日インド共和国大使館
ヴィヴェーカナンダ文化センター
カニカ・アガルワル所長

4. 当日のスケジュール

- ① 校長先生との歓談および大使館より本の寄贈
- ② 講演
 - ・日本とインドの国歌斉唱
 - ・インドの概要紹介
 - ・日本とインドの文化的共通点の紹介
 - ・ポスター製作コンテストの紹介
- ③ インドのフォークダンス体験
- ④ ヨガの体験レッスン



↑ダンスの様子 ヨガの様子↓



←講演



集合写真→

5. 参加者の様子等

- ◆前半は座学の講演を行い、後半は体を動かす体験型の交流を行った。
- ◆フォークダンスの体験では、インドのリズミカルな音楽に合わせてダンスを踊った。
- ◆生徒たちは、インドについて知識として学ぶだけではなく、実際に身体を動かしてインドの文化を体験できたため、「とても楽しかった」との声が上がっていた。

留学生による講演

1. 日時・場所

日時：2023年12月18日（月）
13：20～15：10
場所：東京都立東大和南高等学校

2. 参加者

東京都立東大和南高等学校（都側）
生徒 240名

3. 交流相手

（一財）日本国際協力センターより
派遣された留学生講師15名
（カンボジア、キルギス、ケニア、
スリランカ、中国、バングラデ
シュ、ベトナム、モンゴル）

4. スケジュール

- ① 都側生徒が留学生を迎えに行き各クラスに移動
- ② 5班に分かれ交流
以下の流れを2回実施
 - ・留学生のプレゼンテーション
 - ・質疑応答
 - ・生徒のプレゼンテーション
- ③ 別のクラスへ教室移動
- ④ 5班に分かれ交流
以下の流れを2回実施
 - ・留学生のプレゼンテーション
 - ・質疑応答
 - ・生徒のプレゼンテーション
- ⑤ 茶道体験

東京都立東大和南高等学校 一般財団法人日本国際協力センターによる講師派遣



↑ 留学生のプレゼンテーションを聞く生徒



← 生徒による
発表



← 班交流



← お茶の点て方
を説明する
生徒

5. 参加者の様子等

- ◆ 各班に留学生が一人ずつ入り交流を行った。プレゼンテーションは、留学生・東大和南高校の生徒が共に英語で行い、留学生は、自国や家族について発表した。各班すぐに打ち解けて話が弾んでいた。
- ◆ 生徒はアニメや、和菓子・スナック、おせち等の食べ物、名所や歴史といったテーマをそれぞれ決めて発表した。中にはお菓子を食べたり歌を歌ったり、福笑いや折り紙の体験を用意したグループもあった。
- ◆ 交流後、茶道部員による茶道体験が開催された。部員たちは英語で説明し、留学生たちは初めての茶道体験に「素晴らしい経験だった」と感想を述べていた。

大使館交流

東京都立広尾高等学校 スイス大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2024年6月26日(水)
13:15～14:05
場所：東京都立広尾高等学校

2. 参加者

東京都立広尾高等学校（都側）
1年生 198名

3. 交流相手

在日スイス大使館
サラ・ボックマン広報文化担当官
広瀬綾子広報文化担当官
レア・ゲルスター政治担当官
レア・フーバー政治担当官



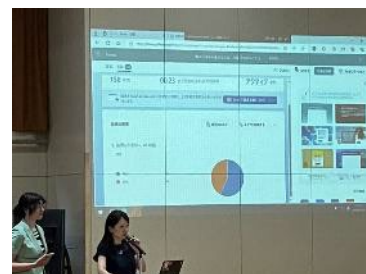
↑テーマについての説明の様子



↑ワークショップの様子



↑グループ代表者による発表



↑投票結果の様子

4. 当日のスケジュール

①当日のプログラムについて説明

- ・「働き方改革」についての説明後、大使館員より、議論の進め方についての説明

②ワークショップ

- ・週休3日制につきグループワークを実施後に、各グループの代表による賛否結果の発表

③決議

- ・生徒たちの個人投票後、賛否結果の発表

④スイス大使館による講評と終了のあいさつ

5. 参加者の様子等

◆6月5日の第一回目の訪問時にスイスの政治システムの特徴である直接民主制について説明。その直接民主制を模擬体験してもらうため、「働き方改革」をテーマに、「様々な視点から相手を尊重しながら建設的な議論を行い、話し合いのプラットフォームを作る」ことを目標としたワークショップを行った。

◆大使館員からは、様々な立場に立って考える視点が素晴らしいとの講評と、この経験を生かしてより良い社会の実現を目指して積極的に議論に参加してほしい、との期待が寄せられた。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2024年7月4日(木)
14:30~15:30
場所：駐日ポルトガル大使館

2. 参加者

東京都立東高等学校（都側）
英語同好会 16名

3. 交流相手

駐日ポルトガル大使館
ティアゴ・デ・ブリット・ペネード次席
文化部 木下眞穂様

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② 東高校より発表
4名の代表者がポルトガルについて調べたことを発表
- ③ 記念撮影
- ④ ポルトガル大使館によるプレゼンテーション
ポルトガルについて概要紹介
- ⑤ 質疑応答
- ⑥ 代表生徒よりお礼の言葉
- ⑦ 記念撮影

東京都立東高等学校 ポルトガル大使館への訪問



↑詩人カモンイスの肖像画
(切り絵)



↑東高校の生徒からの発表

大使館側からの
プレゼンテーション
↓



5. 参加者の様子等

- ◆ 東高校の代表生徒4名がポルトガルについて調べたこと（歴史、お菓子、観光スポット、音楽等）を発表し、ポルトガルの国歌も歌った。
- ◆ ポルトガルと日本は、2023年で国交480周年を迎えた。大使館からのプレゼンテーションでは、両国の歴史（鉄砲伝来等）と大航海時代の話が紹介された。
- ◆ 生徒たちは、大航海時代のポルトガル人の偉業を称えた叙事詩の著者であるカモンイスについて、ポルトガルの誰もが知る詩人であり、命日が国の休日にもなっていることを学んだ。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2024年7月12日(金)
10:45～11:35
場所：東京都立淵江高等学校

2. 参加者

東京都立淵江高等学校（都側）
1・3年生 約450名

3. 交流相手

駐日ギリシャ大使館
大使夫人 クサンシー・グスタ様

4. 当日のスケジュール

- ① 校長先生より挨拶と紹介
- ② ギリシャ大使館による講演
・ギリシャについて概要紹介
- ③ 質疑応答
- ④ 代表生徒よりお礼の言葉

東京都立淵江高等学校 ギリシャ大使館による学校訪問



↑ギリシャ大使館による講演



↑生徒からの質問に答える
大使夫人



↑校長先生
(古代ギリシャを
意識した服装)

5. 参加者の様子等

- ◆冒頭の挨拶で、校長先生から、生徒たちが国語の授業でギリシャと関係の深いミロのビーナスの勉強をしたことなどが紹介された。
- ◆大使館からの講演では、ギリシャ語を語源とする数多くの言葉の紹介に加え、「ギリシャの国を表す漢字一文字は？」などのクイズが行われた。
- ◆気候変動の影響を受けやすいギリシャでは地球温暖化問題は非常に深刻で、気温上昇による山火事も発生している。ハルキ島では、島全体のエネルギーを再生可能エネルギーで賄う実験がおこなわれているとの紹介もあった。
- ◆生徒からは、おすすめの食べ物や好きな物語など多数の質問が挙がり、大使夫人に丁寧に答えていただいた。

留学生による講演

東京都立墨田川高等学校 独立行政法人日本学生支援機構による講師派遣

1. 日時・場所

日時：2024年8月2日（金）
9：00～11：20
場所：東京都立墨田川高等学校

2. 参 加 者

東京都立墨田川高等学校（都側）
1～2年生 有志7名
国際教育担当教員 4名

3. 交 流 相 手

独立行政法人日本学生支援機構より
派遣された講師3名
（韓国、ドイツ、ロシア）



↑ 都側による学校紹介



↑ 韓国の「修能」についての紹介



↑ ロシア人留学生による講義



↑ グループ交流

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶、学校紹介（英語）
- ② 留学生の自己紹介（英語）
- ③ 留学生による講義及び質疑応答（英語、日本語）
・各講師の出身国についての講義
- ④ グループ交流（英語）
・都側が日本料理のレシピを紹介
- ⑤ 記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側の学校紹介では100年余りの歴史を持つ校章の説明があり、留学生の興味をひいた。
- ◆ 留学生は、各自30分程度、ロシア、ドイツ、韓国の地理、歴史、文化、言語、教育制度などについて講演を行った。
- ◆ 例えば、韓国人留学生は、韓国独特の大学修学能力試験である「修能（スヌン）」をその社会的背景とともに説明し、都側の生徒は関心を持って聞いていた。
- ◆ グループ交流では都側の生徒が、みそ汁・肉じゃが・親子丼のレシピを説明し、交流を楽しんだ。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2025年5月28日（水）
13：45～14：30
場所：東京都立墨田川高等学校

2. 参加者

東京都立墨田川高等学校（都側）
1年生 320名
2年生 320名

3. 交流相手

駐日ギリシャ共和国大使館
文化部 青木恵子様

東京都立墨田川高等学校 ギリシャ共和国大使館による学校訪問



↑講演の様子

4. 当日のスケジュール

- ① 司会より挨拶と講師紹介
- ② ギリシャ大使館による講演
 - ・ギリシアの歴史的背景
 - ・産業造船業、観光業、水産
 - ・世界遺産
 - ・食文化
 - ・観光地の紹介
- ③ 質疑応答
- ④ 代表生徒よりお礼の言葉

5. 参加者の様子等

- ◆大使館による講演では、ギリシアの歴史的背景から、現在の産業造船業や観光業、水産業、世界遺産等に至るまで、幅広いテーマについてご紹介いただき、生徒たちは多文化や国際社会への関心を深める機会となった。
- ◆質疑応答では、各クラスから、「ミロのヴィーナスはギリシアに戻ってくるか?」「ギリシャに行く際に覚えておくと便利な言葉は?」「オリーブを使った簡単なギリシア料理教えて欲しい!」等、積極的に質問が挙がり、自分の興味をもとに深掘りしようとする姿勢が見られた。

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2025年7月3日（木）

14:30～15:30

場所：エジプト・アラブ共和国大使館
文化・教育・科学局

2. 参加者

東京都立竹台高等学校（都側）

1～3年生 9名

教員2名

3. 交流相手

エジプト・アラブ共和国大使館
文化・教育・科学局
森下 恵子様

東京都立竹台高等学校 エジプト・アラブ共和国大使館への訪問交流



↑エジプト・アラブ共和国についての講演を聞く生徒



↑民族衣装の着用体験

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② 大使館による講演
- ③ 質疑応答
- ④ 民族衣装体験
- ⑤ 閉会の言葉
- ⑥ 記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆エジプト・アラブ共和国の、地理・食文化・言語・学校生活・生活習慣・経済・宗教・文化等さまざまなことについてレクチャーを受けた。簡単なアラビア語講座も行われた。
- ◆日本のアニメがエジプトでも放映されており、主題歌もアラビア語に翻訳されていることを知り、生徒たちからは驚きの声が上がった。日本の文化や世界への影響について、改めて考える機会となった。
- ◆講演・質疑応答の後は、民族衣装体験を行った。数ある衣装の中から生徒自身で1着を選んで着用し、写真撮影を行った。

留学生による講演

東京都立狛江高等学校 一般財団法人日本国際協力センターによる講師派遣

1. 日時・場所

日時：2025年7月10日(木)
10:40～12:30
場所：東京都立狛江高等学校

2. 参加者

東京都立狛江高等学校（都側）
1～2学年（約680名）

3. 交流相手

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）
より派遣された講師9名
（バングラデシュ、ケニア、ウズベキスタ
ン、カンボジア、モンゴル、モルディブ、
フィリピン、スリランカ、ベトナム）

講師として派遣された
留学生9名 →



↑各教室での講演の様子

4. 当日のスケジュール

各講師が、1学年と2学年の各会場・各クラスで50分間の
講座を1回ずつ行った。

① 3時間目 10:40～11:30（2年生9クラス）

② 4時間目 11:40～12:30（1年生9会場）

5. 参加者の様子等

- ◆モンゴル、カンボジア、ケニア、モルディブ、フィリピン、スリランカ出身の講師は、民族衣装を着て講座を行った。
- ◆1年生はクラスごとではなく、興味のある国の講座を選んで参加した。
- ◆各留学生は、英語で自身の出身国について紹介を行った。紹介内容には、歴史や地理、挨拶、日本から見た自国の位置などが含まれていた。また、日本円や米国ドルと自国の通貨との関係についても説明があり、異なる経済事情への理解を深める機会となった。

大使館交流

東京都立南平高等学校 メキシコ合衆国大使館への訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年8月29日（金）
12:50～14:00
場所：メキシコ合衆国大使館

2. 参加者

東京都立南平高等学校（都側）
1～2年生 20名
教員 3名

3. 交流相手

メキシコ合衆国大使館
学術・科学担当職員



↑メキシコに関する講演の様子



↑記念撮影

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② 大使館による講演
・メキシコ合衆国について
- ③ 質疑応答
- ④ 閉会の言葉
- ⑤ 記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆大使館による講演では、メキシコ合衆国の地理・食文化・言語等に加え、江戸時代から続くメキシコと日本の関係性についてもご紹介いただいた。
- ◆質疑応答では、事前に南平高校から大使館に送付した「メキシコに住む子どもたちの暮らし」や「メキシコの古代文明」等に関する質問に対し、大使が写真を用いながら分かりやすくご説明いただいた。また、その他にも、参加生徒からは「大使館職員になるためには？」等、大使館の業務に関する質問も挙がった。
- ◆今回の交流は、生徒にとって、歴史的・文化的な視野を広げ、異なる文化への興味を深める機会となった。

留学生による講演

東京都立墨田川高等学校 海外からの留学生による訪問交流

1. 日時・場所

日時:2025年12月10日(水)
13:15~15:25(2コマ)
場所:東京都立墨田川高等学校

2. 参加者

東京都立墨田川高等学校(都側)
1年生 8クラス 320名

3. 交流相手

日本学生支援機構から
派遣された留学生
中国1名、ロシア1名、
コロンビア1名、ブータン1名



← 講師による
講演の様子
↓



←積極的に
講師に話し
かける都側
生徒 →



今回の講師
↓



4. 当日のスケジュール

① 講演1回目

- ・代表生徒による英語での司会により開始
- ・質疑応答
- ・お礼の言葉

② 講演2回目

- ・代表生徒による英語での司会により開始
- ・質疑応答
- ・お礼の言葉

③ 挨拶&記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ 講演では、自国の文化や現在の人々の生活の様子、食べ物などを紹介していた。国旗や首都を問う三択クイズなどが取り入れられ、生徒参加型の講演となった。
- ◆ 司会を務める代表生徒は、事前に講師に話しかけ、打合せをする様子が見られた。また、ロシア語を勉強している生徒が、ロシアの留学生講師に話しかけるなど、積極的な様子が見られた。
- ◆ 学校側から、「報道では知ることのできない情報を知りたい」という要望があり、それに応えて、各留学生から実際の海外の国の様子が紹介された。



訪問受入交流



高等学校

[!\[\]\(e78f798d4ea5c530c9db49e7d26e6b95_img.jpg\) 目次へ戻る](#)

訪問交流

東京都立戸山高等学校 アメリカ合衆国の学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年4月4日（火）
13：00～16：45
場所：東京都立戸山高等学校

2. 参加者

東京都立戸山高等学校（都側）
生徒会メンバー13名

3. 交流相手

アメリカ合衆国 ワシントン州
Annie Wright Schools
生徒会メンバー11名



英語による学校紹介の様子



小グループに分かれ、会話を楽しむ生徒たち

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
 - ・都側代表の生徒による挨拶
- ② 学校紹介プレゼンテーション
 - （都側）スライドを使用して発表
 - （アメリカ側）ホワイトボードを使用して発表
- ③ 学校祭について紹介（都側）
- ④ 質疑応答
- ⑤ 対話
 - ・2～3名ずつ4グループに分かれて対話
 - ・アメリカ側生徒が制作したミュージックビデオの視聴
- ⑥ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側の生徒は、司会進行とプレゼンテーションをともに英語で行った。
- ◆ 学校紹介では、両校の概要や学校生活の紹介に加え、アメリカ側の希望であった生徒会や学校祭についても説明を行った。質疑応答も活発に行われ、情報交換の機会となった。
- ◆ 小グループでの対話ではお互いの国のスナックを紹介しあったり、ゲームをしたり、打ち解けて歓談する様子が見られた。
- ◆ ミュージックビデオの視聴では、アーティストに扮して踊るアメリカ側の生徒たちの姿を見て大いに盛り上がった。

訪問交流

東京都立本所高等学校 アメリカの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年4月8日（土）
9：30～12：30
場所：東京都立本所高等学校

2. 参加者

東京都立本所高等学校（都側）
生徒 10名
教員・ALT 2名

3. 交流相手

アメリカ合衆国 カリフォルニア州
Hillbrook Middle School 29名



↑ダンス部の見学



↑箏曲部との演奏体験



↑校庭からスカイツリーを背景
に記念撮影

4. 当日のスケジュール

- ① 歓迎会
- ② 自己紹介
- ③ Hillbrook Middle Schoolによる学校紹介
- ④ グループごとに校内を見学
- ⑤ 箏曲部による演奏会・演奏体験
- ⑥ 日本の伝統的な遊び体験
- ⑦ 閉会式
- ⑧ 記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ 今回の交流に向け、都立本所高校の生徒は、春休みから準備を重ねた。
- ◆ 校内見学では、両校の生徒で部活動を回り、都立本所高校の生徒が教室や学校の様子を紹介した。
- ◆ ダンス部を見学した際、ダンス部員は、予定していなかったにも関わらずダンスパフォーマンスを披露してくれた。
- ◆ 箏曲部員が演奏を披露した後、アメリカの生徒も琴の演奏を体験した。箏曲部員は英語で丁寧に説明を行った。
- ◆ けん玉・折り紙・お手玉を両校の生徒で楽しんだ。

訪問交流

東京都立府中西高等学校 マレーシアの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年9月18日（月・祝）
13：30～16：00
場所：東京都立府中西高等学校

2. 参加者

東京都立府中西高等学校（都側）
合唱部 生徒38名

3. 交流相手

マレーシア クランタン州
マラ工科大学 クランタン校
マレーシア大使館



←伝統舞踊体験

写真撮影→



文化交流の様子→



4. 当日のスケジュール

- ① 開会の挨拶と両校の紹介
- ② 文化交流セッション
マラ工科大学より歌の披露、伝統衣装「スムタール」と「カイン・バティック・サロン」の着用体験、伝統舞踊の披露、伝統楽器「コンパン」演奏等
- ③ 府中西高等学校より歓迎の歌の披露
- ④ 質疑応答、学生同士の交流時間
- ⑤ 閉会の言葉、記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ 今回のマラ工科大学による訪問交流は、マレーシア大使館広報部からの紹介によって実現した。
- ◆ マラ工科大学による文化交流セッションでは、マレーシアの民族衣装の着用や伝統舞踊体験等、実践的なプログラムが実施された。府中西高等学校の生徒は、実際に体験することで、マレーシアの文化についてよく理解できた様子であった。
- ◆ 府中西高校からは、歓迎の歌として合唱部がマレーシアの民謡を歌った。府中西高校の合唱部は、今年開催された都合唱コンクールにおいて金賞を獲得、また、先日の全日本合唱コンクールにおいて銀賞を受賞しており、その歌唱力で会場全員を魅了していた。マレーシア側からは「大変感激した」と感謝の言葉を頂いた。

訪問交流

東京都立竹早高等学校 マレーシアの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年9月19日（火）
15：30～17：00
場所：東京都立竹早高等学校

2. 参加者

東京都立竹早高等学校（都側）
生徒会・箏曲部
折り紙研究部・茶道部 生徒35名

3. 交流相手

マレーシア クランタン州
マラ工科大学 クランタン校
マレーシア大使館

4. 当日のスケジュール

- ① 開会の挨拶と両校の紹介
- ② 文化交流セッション（マラ工科大学より）
歌の披露、伝統衣装「スムタール」と「カイン・バティック・サロン」の着用体験、伝統楽器のビデオ上映、代表生徒による伝統楽器「コンパン」演奏の披露、伝統舞踊の披露、生徒全員での伝統舞踊体験
- ③ 文化交流セッション（竹早高等学校より）
折り紙研究部の紹介、生徒会による学校生活紹介ビデオの上映、茶道体験
- ④ 質疑応答、学生同士の交流時間
- ⑤ 閉会の言葉、記念撮影



↑マラ工科大学による
伝統舞踊の披露



箏曲部による琴の演奏↓

茶道体験→



↓記念撮影



5. 参加者の様子等

- ◆ マラ工科大学による文化交流セッションでは、竹早高校の生徒たちはマレーシアの民族衣装の着用や伝統舞踊体験等に参加した。
- ◆ 竹早高校による文化交流セッションでは、生徒会の呼びかけによって、箏曲部・折り紙研究部・茶道部の3つの部活動が参加した。
- ◆ マラ工科大学の生徒は、茶道部の生徒が主導となり行った茶道体験にとっても満足した様子であった。

訪問交流

東京都立芝商業高等学校 台湾の教員による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年10月16日（月）
15：00～17：00
場所：東京都立芝商業高等学校

2. 参 加 者

東京都立芝商業高等学校（都側）
小室 善之副校長先生
友村 由衣先生

3. 交 流 相 手

台湾訪日教育旅行考察団 31名



↑商業高校・芝商業高校について説明



↑実習室で電話応対を見学

4. 当日のスケジュール

- ① 商業高校についての紹介
- ② 芝商業高校の概要及び特色ある取組についての紹介
- ③ 施設見学、質疑応答等

5. 参加者の様子等

- ◆芝商業高校の学校紹介に対して、台湾側から多くの質問があり、活発な意見交換が行われた。
- ◆芝商業高校には室内プールがあり、水泳の授業を長い期間にわたって実施できるため、台湾側が強い関心を示していた。
- ◆実習室では電話応対を教えることができる設備を見学した。

訪問交流

東京都立忍岡高等学校 フランスの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年11月6日（月）
15：00～17：00
場所：東京都立忍岡高等学校

2. 参加者

東京都立忍岡高等学校（都側）
2年次（生活科学科）45名
畑 先生（2年学年主任）
神川先生（生活科学科主任）

3. 交流相手

フランス共和国
Lycée Jean Aicard 先生・生徒各1名
Lycée Dumont d'Urville 生徒3名

4. 当日のスケジュール

- ① 自己紹介（フランス側から）
 - ・校長先生、副校長先生へご挨拶
- ② 校内見学
 - ・副校長先生先導で校内を見学
- ③ 日本伝統文化体験
 - ・盆踊り体験
- ④ 日本文化の紹介
 - ・「推しうちわ」手作り体験
- ⑤ フランスの地区紹介（フランス側から）
- ⑥ 記念撮影
- ⑦ お見送り



↑フランスの生徒たちによる自己紹介



↑忍岡高校とフランスの生徒による盆踊り体験

5. 参加者の様子等

- ◆ 副校長先生と英語科の先生方がフランスの生徒たちに校内を案内した。
- ◆ 生活科学科の生徒2クラスが主催し、盆踊りを披露した。また、フランスの生徒にも踊り方を説明し、参加者全員で踊った。
- ◆ 都側の生徒による日本文化の紹介では、装飾うちわや折り紙を共に作りながら交流した。

訪問交流

1. 日時・場所

日時：2024年4月15日（月）

9：35～11：30

場所：東京都立本所高等学校

2. 参 加 者

東京都立本所高等学校（都側）

2年生2クラス

3年生2クラス 合計154名

教員 2名、JET 2名

3. 交 流 相 手

カタール国

Qatar Academy Al Wakrah 高校

生徒27名、引率者4名、

九州大学J-MENAオフィス教員1名

4. 当日のスケジュール

- ① 関係者との挨拶及び打合せ
- ② 交流セッション①
 - ・グループに分かれて交流
- ③ 交流セッション②
 - ・交流セッション①と異なるグループと交流
- ④ 記念撮影
- ⑤ お別れの挨拶

東京都立本所高等学校 カタールの高校による訪問交流



↑ 教室での交流 ↓



↑ 柔道場で車座になったの交流 ↑



←記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆都側の生徒は、学校や日本についてのプレゼンテーションを行い、カタール側の生徒に自校や日本の魅力についてアピールしていた。
- ◆柔道場では車座になって交流し、都側の生徒は、英語を使って真剣にコミュニケーションを取ろうとしていた。
- ◆カタール側の生徒は、アラビア語やカタールの食べ物等について、スマートフォンの写真を使って説明していた。

訪問交流

東京都立飛鳥高等学校 台湾の学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2024年5月24日（金）

12：00～15：00

場所：東京都立飛鳥高等学校

2. 参加者

東京都立飛鳥高等学校（都側）

絵画2名、工芸11名

3. 交流相手

台湾 新竹県

Hsinchu County Chupei

Junior High School

生徒18名、引率4名

4. 当日のスケジュール

① 生徒会によるセレモニー

- ・お土産交換（台湾茶、ポストカードと校名入り扇子）

② 「絵画」の授業見学・体験

- ・生徒の美術作品鑑賞・デッサン体験

③ 「工芸」の授業見学

- ・陶芸作品制作の様子を見学・交流

④ ギャラリーにて作品鑑賞

⑤ 体育祭で使用する団旗等の製作を見学

⑥ 写真撮影・お別れ



←授業の様子→



←ギャラリー鑑賞



記念撮影→

5. 参加者の様子等

- ◆ 絵画の授業では、浮世絵など日本の伝統的な絵画に関する解説を受けた後、デッサンの体験を行った。
- ◆ 工芸の授業では少人数に分かれて見学し、積極的に質問をして交流を深めた。
- ◆ 玄関に展示されている生徒の美術作品を、校長先生の説明を聞きながら見学した。
- ◆ 体育祭用の団旗やバックボードの制作も見学した。体育祭に向けた熱気が伝わり、台湾の生徒たちも感動しているようだった。

訪問交流

東京都立大田桜台高等学校 アメリカからの訪問交流

1. 日時・場所

日時：2024年6月25日(火)
13:00～17:00
場所：東京都立大田桜台高等学校

2. 参加者

東京都立大田桜台高等学校（都側）
1～2年生（400名）

3. 交流相手

アメリカ合衆国 ウィスコンシン州
Edgewood High School
高校生（15～18歳）21名



↑ 歓迎セレモニー



↑ アメリカ側の先生による挨拶



↑ 授業体験



↑ 茶道体験



↑ うちわ制作



↑ 記念撮影

4. 当日のスケジュール

- ① 歓迎セレモニー（体育館にて全校生徒参加）
- ② 授業体験
- ③ ショートホームルーム及び生徒による校内案内
- ④ 部活動体験
- ⑤ 記念撮影、お見送り

5. 参加者の様子等

- ◆ 双方の代表生徒がスクリーンを使って、互いの学校に関するプレゼンテーションを行った。アメリカ側は卒業パーティーの説明をする際に、代表生徒が壇上でダンスを実演して見せ、喝采を浴びた。
- ◆ 茶道の体験では、アメリカ側の生徒は真剣な面持ちで取り組み、終了予定時刻を延長するほど、生徒から多くの質問が寄せられた。

訪問交流

1. 日時・場所

日時：2024年7月8日（月）
12:45～16:30
場所：東京都立八潮高等学校

2. 参加者

東京都立八潮高等学校（都側）
全校生徒 約600名
教員 約30名

3. 交流相手

カタール国
日本語を学ぶ生徒10名
教育省の随行者2名
九州大学J-MENAオフィス教員

4. 当日のスケジュール

- ① 学校到着
・学校入り口にて記念撮影
・控え室にて自己紹介
- ② 歓迎セレモニー
・校長挨拶
・代表生徒挨拶、日本の紹介、カタールの紹介、和太鼓披露
- ③ 授業見学
- ④ 部活動見学・体験
・和太鼓部、弓道部、茶道部
- ⑤ 閉会式
- ⑥ お見送り

東京都立八潮高等学校

カタールの学校による訪問交流



↑ 歓迎のプラカード



← 歓迎セレモニーでの和太鼓演奏



茶道体験 →



↓ 教育について情報交換

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側の生徒会等の代表者が、プラカードを掲げてカタール側の来校を歓迎した。
- ◆ 授業見学では、地理の授業でカタールについて勉強していたクラスがあり、英語による即興の質疑応答があった。
- ◆ カタール側と都側の教職員で、教育について情報交換をする場面もあった。
- ◆ カタール側の生徒たちは、部活動体験で和太鼓部、弓道部、茶道部の体験を楽しんでいた。

訪問交流

東京都立葛飾総合高等学校 韓国の学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2024年10月9日（水）
10:30～15:00
場所：東京都立葛飾総合高等学校

2. 参加者

東京都立葛飾総合高等学校（都側）
2年～3年生 36名

3. 交流相手

大韓民国
国立国際教育院が選抜した高校生
36名、その他14名

4. 当日のスケジュール

- ① 歓迎セレモニー（視聴覚室）
 - ・ 韓国語履修のバディーと対面
- ② 授業参加（各教室）
 - ・ 韓国語選択の生徒と授業に参加
- ③ 昼食（各教室）
 - ・ 授業をともに受けた生徒と昼食
- ④ 校内案内
 - ・ 施設見学および図書館での休憩
- ⑤ グループディスカッション・閉会式（各教室）
- ⑥ 記念写真

図書館では韓国特集を
開催 →



↑ 授業に参加



↑ 記念写真



↑ ディスカッション

5. 参加者の様子等

- ◆ この訪日交流は、日本の文部科学省と韓国の国立国際教育院が実施する事業の一環として、韓国から参加生徒を招いて行われた。
歓迎セレモニーでは、韓国語を履修している都側の生徒が韓国の生徒のバディーとしてマッチングされ、すぐに打ち解けた様子だった。
- ◆ 韓国側の生徒は、知っている日本語を駆使して積極的に授業に参加した。
- ◆ 昼食時、生徒たちは、韓国語・英語・日本語の3か国語を使い、互いの文化や学校生活について語り合っていた。
- ◆ 図書館では、日本の雑誌を手にして喜ぶ韓国の生徒もいて、日本文化への関心の高さがうかがえた。

訪問交流

東京都立東高等学校 台湾教育視察団による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2024年10月21日（月）

16:20～17:30

場所：東京都立東高等学校

2. 参加者

東京都立東高等学校（都側）

教員 7名

3. 交流相手

台湾国際教育交流連盟視察団

教職員（高・特支）25名



記念写真

4. 当日のスケジュール

① 歓迎セレモニー

- ・ 東高校紹介ビデオの上映
- ・ 視察団の団長と東高校校長の挨拶
- ・ 記念品贈呈

② スクールツアー

③ 歌の披露

④ 記念写真

5. 参加者の様子等

- ◆ 歓迎セレモニーでは、都側の生徒が作成した学校紹介ビデオを映した。
- ◆ スクールツアーでは、各種教室、体育館・柔剣道場・和室・プール・グラウンド・テニスコート等を案内した。
- ◆ 台湾側は、廊下に設置されたロッカーや、自動販売機等に興味を示す先生も多く、たくさんの質問があった。
- ◆ 都側の先生がギターとキーボードの伴奏で歌を披露し、台湾の先生も一緒に口ずさんでいた。

訪問交流

東京都立石神井高等学校 アメリカの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2024年11月7日（木）
10:00～16:00
場所：東京都立石神井高等学校

2. 参加者

東京都立石神井高等学校（都側）
2年 280名 教員他 約6名

3. 交流相手

アメリカ合衆国 ハワイ州
Roosevelt High School
生徒 8名 教員他 4名



↑ ハワイ側の生徒たちがフラダンスを披露



↑ 剣道体験

4. 当日のスケジュール

- ① ウェルカムセレモニー
- ② 2年生の学年集会への参加
- ③ 授業（英語）への参加
- ④ バディと一緒に昼食
- ⑤ 体験授業（剣道体験）
- ⑥ フェアウェルパーティー（日本の伝統的な遊び）

5. 参加者の様子等

- ◆ ウェルカムセレモニーでは、石神井高校の紹介ビデオを上映した後、アメリカ側の生徒たちのバディとなる都側生徒たちが自己紹介をした。
- ◆ 2年生の学年集会は体育館で行われ、アメリカ側生徒たちの自己紹介とフラダンスの披露があった。都側も2年生が全員でフラダンス体験をした。
- ◆ 体験授業では、日本の伝統芸能体験として、剣道場で剣道体験をした。
- ◆ フェアウェルパーティーでは、両校の生徒たちは日本の伝統的な遊び（だるまおとし、ぼうずめくり等）をして、終始、盛り上がっていた。

訪問交流

東京都立淵江高等学校 韓国との訪問交流

1. 日時・場所

日時：2024年11月19日（火）

13:00～17:00

場所：東京都立淵江高等学校

2. 参加者

東京都立淵江高等学校（都側）

生徒 240名

3. 交流相手

大韓民国

完州郡の学生10名

完州郡庁の職員2名、完州郡議会2名

4. 当日のスケジュール

① 始めの挨拶

② 挨拶・学校紹介

- ・ビデオ上映
- ・スケジュール説明

③ 英語の授業に参加

④ 部活動体験

- ・家庭科
- ・コーラスパフォーマンス

⑤ お別れのセレモニー



↑ 英語の授業



↑ すごろくやルーレットで発表課題を決定



5. 参加者の様子等

- ◆ 英語の授業では、教員お手製のルーレットや双六を使って発表課題を決定し、グループごとに発表した。
- ◆ 家庭科の調理体験では、お好み焼きと韓国のチヂミを作った。
- ◆ コーラスパフォーマンスでは、アニメ映画の主題歌と一緒に練習して歌った。きれいなハーモニーで歌うことができた。
- ◆ 交流後、韓国側からは、「素晴らしい交流会だった。」
「一生記憶に残る。」などの感想が寄せられた。
都側教員からは「両国の生徒同士が楽しく話している姿を見て、
実りのある交流ができたと思った。」等の感想が寄せられた。

訪問交流

東京都立飛鳥高等学校 シンガポール教員による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2024年11月25日（月）

08:30～11:00

場所：東京都立飛鳥高等学校

2. 参加者

東京都立飛鳥高等学校（都側）

1年生 100名

3. 交流相手

シンガポール教育省

Academy of Singapore Teachers

小学校から高校までの教員 18名



↑ 化学の授業視察



↑ 正門前で記念写真

4. 当日のスケジュール

① 学校紹介（都側）

- ・ 副校長による飛鳥高校についての説明
- ・ 質疑応答

② 授業視察

- ・ 論理表現 I（英語）、化学基礎

③ 校内見学

- ・ 校内施設、図書館、校庭、菜園など

④ 記念写真

⑤ お別れの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側副校長による学校説明は通訳を介して実施された。シンガポール側から熱心に質問が寄せられた。
- ◆ 英語の授業視察では、生徒たちとシンガポールの教員との間で、英語での交流も行われた。
- ◆ 最後にシンガポール側代表者から、「飛鳥高校での教育の在り方に学ぶべき点が多く、非常に良かった。」との感想が述べられた。

訪問交流

東京都立福生高等学校 インドの学校との訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年6月9日(月)
8:30～12:00
場所：東京都立福生高等学校

2. 参加者

東京都立福生高等学校(都側)
高校1～2年生 532名

3. 交流相手

インド共和国 ハリヤーナー州
The Shri Ram School
高校1～2年生 21名

4. 当日のスケジュール

- ① 8:30 学校到着
- ② 8:50～ 歓迎式
 - ・都側校長の歓迎の挨拶・生徒代表の挨拶
 - ・インドの学校紹介・ダンス・歌
- ③ 9:45～ 授業1(歴史・数学・地理・音楽・美術・国語)
- ④ 10:45～ 授業2(体育・家庭科・数学・生物・保健・英語)
- ⑤ 11:35～ 各教室にて送別会(生徒同士で記念撮影)
- ⑥ 11:50～ 見送り



↑ 音楽室で授業に参加

衣装が映えるインド側のダンス →



← バディのサポートを受けながら授業に参加

↓ ハイタッチで別れを惜しむ



5. 参加者の様子等

- ◆ 歓迎式では、校長先生の挨拶の後、生徒代表が英語で挨拶し、インドからの訪問を歓迎した。インド側は共学で、ステージ上で歌やダンスを披露し、喝さいを浴びた。
- ◆ バディとの顔合わせの後、インドの生徒はクラスに分かれ、バディのサポートを受けながら、各教科の授業に参加した。音楽室では、歓迎式での歌へのお礼を込めて、都側生徒が校歌を合唱した。
- ◆ インドの先生方によると「やりがい(Yarigai)」について書かれた日本の本がインドでも広く読まれており、日本の教育現場でそれをどのように浸透させているのかを知りたかったとのこと。熱心に都側の先生に質問し、先生同士の交流も実りあるものとなった。

訪問交流

東京都立八潮高等学校 インドネシアの学校との訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年6月10日(火)
9:00～16:00
場所：東京都立八潮高等学校

2. 参加者

東京都立八潮高等学校(都側)
高校1～3年生 700名

3. 交流相手

SMAK Penabur Kota Wisata
インドネシア共和国
高校1年生～高校3年生 25名



↑全校生徒によるウェルカムセレモニー



↑午後に行われた和太鼓の体験

4. 当日のスケジュール

- ① 9:00 学校到着
- ② 9:50 ウェルカムセレモニー
- ③ 10:00 部活動のパフォーマンス
- ④ 12:20 昼食
- ⑤ 13:15 都側生徒の案内による学校見学
- ⑥ 14:50 和太鼓部の体験
・記念写真撮影、見送り

5. 参加者の様子等

- ◆ バディである八潮高校の生徒会及び有志の生徒20名がインドネシアの生徒を出迎えた後、体育館でウェルカムセレモニーが行われ、都側の全校生徒が参加した。
- ◆ 都側生徒代表及び校長先生のご挨拶の後、部活動の枠を越えて学校全体で協力し合い、軽音楽部・管弦楽部・合唱部・和太鼓部・ダンス部がパフォーマンスを披露した。
- ◆ 生徒同士で昼食を済ませた後、都側生徒が学校を案内し、最後にインドネシアの生徒が和太鼓体験を行った。八潮高校の生徒は、言語や文化の違いを超えて交流する力が育まれた様子だった。

訪問交流

東京都立小川高等学校 インドネシアの教員との訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年6月30日(月)
10:00～13:00
場所：東京都立小川高等学校

2. 参加者

東京都立小川高等学校(都側)
校長先生、教員等 計10名

3. 交流相手

YAYASAN LATANSA ASY'ARIYAH
DEMAK
インドネシア共和国 ジャワ州
教員 33名



↑ 施設内見学



←美術室で生徒に質問をするインドネシアの先生



↑ 町田市や小川高等学校の紹介

↓全てのスナックに英語の成分表を記載。



4. 当日のスケジュール

- ① 学校到着
- ② 歓迎式
 - ・校長先生の挨拶・訪問団代表の挨拶
 - ・小川高校の紹介（教育方針、学校行事など）
- ③ 校内施設見学
- ④ Q&Aセッション
- ⑤ 終わりの挨拶
- ⑥ 昼食風景見学
- ⑦ 記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ 歓迎式は、小川高校校長先生及びインドネシアの訪問団代表による挨拶から始まった。
- ◆ 都側の先生方の案内により、3グループに分かれて校内を見学した。
- ◆ インドネシア側の先生方は、美術室を見学した際、都側生徒の描く見事なデッサンに感心を寄せており、具体的な質問が多く挙がった。質問を受けた生徒は、直接回答をした。
- ◆ 終了時には、訪問団の先生方に笑顔があふれ、小川高校の先生方と固い握手を交わしていた。

訪問交流

東京都立深川高等学校 香港の学校との訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年7月8日（火）

13:00～16:00

場所：東京都立深川高等学校

2. 参加者

東京都立深川高等学校

1～3年生 40名

3. 交流相手

香港

Pope Paul VI College

中学2～3年生、高校1～2年生

生徒30名 教職員等5名 計35名

4. 当日のスケジュール

① ウェルカムセレモニー

- ・挨拶（中国語・英語）
- ・両校代表による学校紹介
- ・ダンス部によるパフォーマンス
- ・書道部によるパフォーマンス

② アクティビティ

- ・スクールツアー、茶道体験、書道体験、ダンス交流

③ グループ交流

- ・グループごとにディスカッション

④ 閉会式、記念撮影



↑ 深川高校の書道部による
ライブパフォーマンス



↑ 茶道体験



↑
ダンス交流

グループに分かれて
ディスカッション →



5. 参加者の様子等

- ◆ ウェルカムセレモニーで深川高校の生徒が中国語で挨拶をすると、香港側の生徒から大きな拍手が送られた。お互いの学校紹介等があった後、パフォーマンスの披露や記念品の贈呈が行われた。
- ◆ 香港の生徒たちは茶道や書道など、日本の文化に興味を示しており、どの活動にも真剣に取り組む様子が見られた。
- ◆ グループに分かれたディスカッションでは、趣味の話や自分の夢について、英語で懸命に伝えようとしている姿が印象的だった。
- ◆ 最後は校門の外まで見送りに来た深川高校の生徒たちに、香港側の生徒がいつまでもバスの窓から手を振っていた。

訪問交流

東京都立農業高等学校 韓国の学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年9月30日（火）
13:30～16:30
場所：東京都立農業高等学校

2. 参加者

東京都立農業高等学校
生徒会役員、各科代表、
生徒約35名、
教職員等15名（都側）

3. 交流相手

大韓民国 全州市
Jeonju Life Science High
School/全州生命科学高等学校
生徒21名、教職員他4名

4. 当日のスケジュール

① 挨拶

- ・校長室にて学校長と韓国側教職員挨拶、記念品の贈呈

② 校内見学

- ・本校舎教室（授業）→2号館（総合実習）→1号館（造園管理・測量）→3号館（服飾）→都市園芸科（果樹園など）

③ 交流会

- ・学校長・代表挨拶、学校紹介（都・韓国側）
- ・ポップリ、関守石製作で都・韓国側生徒が交流

④ 記念撮影



←
校長室にて
挨拶

果樹園ではブドウを試食 ↓



↑ 韓国語の道案内 ↑ ポップリ製作で
交流中



校門前にて
記念撮影 ↓



5. 参加者の様子等

- ◆韓国側からは、東京で開催されている次世代農業エキスポに参加する学生が来日し、自校と同様に古い歴史を持つ高校を訪問した。
- ◆東京ドーム2.5個分の広さがある校内をめぐりながら、様々な実習現場を見学し、担当教諭に専門的な質問をした。
- ◆調理実習ではチーズケーキの試食、果樹園ではブドウ、ナシ、柿、かんきつ類の試食をした。
- ◆交流会では都側生徒が韓国側生徒にポップリ・関守石の作製を教えながら交流を深めた。スマホの翻訳アプリを活用し、英語、日本語、韓国語を交えてコミュニケーションを図った。言語の壁に苦労しながらも前向きに楽しむ姿が見受けられた。

訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年10月29日（水）
14:30～17:00
場所：東京都立葛飾総合高等学校

2. 参加者

東京都立葛飾総合高等学校
学校長・副校長 2名
担当教諭 7名
生徒 35名

3. 交流相手

大韓民国
日韓高校生交流事業
選抜生徒 37名
引率者 5名 計42名

東京都立葛飾総合高等学校 韓国の高校生による訪問交流



← 歓迎セレモニーの様子 →



部活動見学の様子
↓（吹奏楽部）



↑ 部活動見学後に記念写真（書道部）

4. 当日のスケジュール

① 歓迎セレモニー

- ・視聴覚室にて自己紹介・お土産交換
- ・都側生徒による学校紹介動画上映・両国代表生徒挨拶

② 校内ツアー

- ・体育館・陶芸室・美術室・音楽室・図書館等

③ 部活動見学

- ・吹奏楽部・書道部・イラスト部・ダンス部・パソコン部

5. 参加者の様子等

- ◆ 歓迎セレモニーでは、事前準備で決められた11グループに分かれ自己紹介とお土産交換をした。お互いに相手国の言語を使って交流する様子が見られた。

- ◆ 校内ツアーでは3つのグループに分かれて校内の各教室を見学した。

- ◆ 部活動見学では、パソコン(動画作成)、書道、ダンス、イラスト、吹奏楽部の体験をした。共通の興味関心が多く、韓国側生徒はどの活動にも楽しく参加し、交流を深めていた。

訪問交流

東京都立深川高等学校 ASEAN5か国の学校との訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年12月12日（金）

9:30～12:30

場所：東京都立深川高等学校

2. 参加者

東京都立深川高等学校

1～3年生 40名

3. 交流相手

ASEAN 5か国（国立青少年教育
振興機構が招待した学生）

中学生30名 引率者等5名 計35名



↑
書道クラブのライブパフォーマンス（深川高校）



↑
グループに分かれてディスカッション

4. 当日のスケジュール

- ① 学校長挨拶、生徒代表挨拶、ASEAN各国代表生徒挨拶
- ② 学校紹介
- ③ 記念品贈呈
- ④ 校歌紹介
- ⑤ 歓迎式
 - ・ 深川高校の生徒（ダンス部、剣道部、書道部）によるパフォーマンス
 - ・ ASEAN側の生徒による自校の紹介
- ⑥ 3時間目授業へ参加
- ⑦ 茶道体験（茶道部）
- ⑧ 記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ 国立青少年教育振興機構が招待したASEAN（シンガポール、タイ、ラオス、ベトナム、ミャンマー）の中学生が、各国6名ずつ訪問した。深川高校の生徒は到着したASEAN側生徒たちを自作の横断幕で出迎えた。
- ◆ 歓迎式では、各国の代表生徒が、スライドを使って自校の理念やカリキュラムの特色を、英語で紹介した。深川高校の生徒は、ダンス部、剣道部、書道部がパフォーマンスをし、歓迎を示した。
- ◆ 授業、茶道体験の参加により、日本文化への理解を深めながら、深川高校の生徒と交流をしていた。記念撮影後も校門でお互いに別れを惜しむ姿が多く見られた。

訪問交流

東京都立上水高等学校 マレーシアの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2026年2月3日（火）
10:30～15:00
場所：東京都立上水高等学校

2. 参加者

東京都立上水高等学校（都側）
1年生 生徒237名

3. 交流相手

MUZAFFAR SYAH SCIENCE
SECONDARY SCHOOL
マレーシア マラッカ州
生徒13名 引率3名



↑剣道部のパフォーマンス



↑伝統の衣装を着て踊りを披露



書道、けん玉などの
日本文化を体験→



←ランチタイムの様子

4. 当日のスケジュール

① 歓迎セレモニー

- ・代表者挨拶（都側・マレーシア側）
- ・パフォーマンス（都側・マレーシア側）

② ランチ交流

- ・ランチ・お祈り

③ 日本文化体験

- ・書道・折り紙・けん玉・すごろく
- ・だるま落とし・お手玉・あやとり

④ 解散式

5. 参加者の様子等

◆都側生徒が一人ずつマレーシア側生徒のネームプレートを持ち、控室で待つマレーシア生徒を迎えに行った。その後歓迎会会場の体育館に入ると、待っていた生徒に拍手で迎えられた。

◆歓迎式では、双方から挨拶や学校紹介があった。都側生徒は剣道部とダンス部のパフォーマンス、マレーシア側生徒は伝統衣装で民族舞踊を披露。アンコールがかかるほど、大歓声に包まれていた。

◆日本文化体験では、都側生徒が英語で懸命に説明し、意図が伝わるたびに互いにハイタッチや握手を交わっていて、コミュニケーションの楽しさを実感している様子だった。

訪問交流

1. 日時・場所

日時：2026年3月16日(月)
9:00～13:30
場所：東京都立墨田川高等学校

2. 参加者

東京都立墨田川高等学校（都側）
1～2年生 160名

3. 交流相手

アメリカ合衆国 ワシントン州
Annie Wright Schools
高校 2～3年生 11名

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶及び紹介
・ 学校長からの挨拶と学校紹介
- ② 授業へ参加
・ 2年生の化学授業
・ 1年生の英語授業
- ③ 校舎見学
・ 柔道場、剣道場、体育館、図書館等
- ④ ランチ交流
- ⑤ 記念撮影

東京都立墨田川高等学校 アメリカの学校による訪問交流



授業参加の様子



↑ 記念撮影



↑ 昼食時間

5. 参加者の様子等

- ◆ 2年生の化学の授業では金属のイオン化傾向の実験に参加した。各テーブルにアメリカ側生徒が加わり、溶液の説明やバーナーの使い方について都側生徒とコミュニケーションを取りながら、実験を行った。
- ◆ 1年生の英語授業ではアメリカ側生徒が各班に1名ずつ加わり、「学校で流行っているものは」「好きな食べ物は」など、次々に提示されるトピックについて班の全員が英語で回答した。最後に、各班で出た意見をまとめ、英語で発表した。
- ◆ ランチ交流では2つの教室が開放され、都側の有志生徒がお弁当を持参し、アメリカ側生徒と昼食を共にした。都側生徒が積極的に話しかけ、すべてのグループで終始楽しそうに会話が弾んでいた。

オンライン交流

中等教育学校

 目次へ戻る

ビデオチャット交流

東京都立南多摩中等教育学校 ベトナムの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2021年7月19日（月）
17:00～18:15
場所：zoomによる開催

2. 参加者

東京都立南多摩中等教育学校
（都側）
4年生 4名

3. 交流相手

ベトナム社会主義共和国
ハノイ市
Chu Van An High School



画面に映る背景のセット



ベトナム側生徒による飲み物の紹介



世界遺産について発表する日本側生徒

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶・流れの確認（日本側から）
- ② 人気のあるお菓子・飲み物の紹介（日本側から）
- ③ 人気のあるお菓子・飲み物の紹介（ベトナム側から）
例）アイ스티ー、ベトナムコーヒー
- ④ 日本の世界遺産（日本側から）
・知床、姫路城、法隆寺
- ⑤ 質疑応答
例）日本に行ったら訪れるべき場所はどこか。
- ⑥ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 日本側の生徒は、学校から参加していたためマスクを着用していたが、ベトナム側の生徒は、各々の自宅から参加していたためマスクを着用しておらず、よく表情が見えた。
- ◆ 両校の生徒はプレゼンテーションをしっかりと準備しており、堂々と発表していた。
- ◆ 質疑応答の時間では、日本側の生徒はベトナム側の生徒の質問を注意深く聞き取ろうとしていた。また、日本側の生徒は質問に対する回答をグループで話し合い、的確に伝えようとする意欲的な姿勢が見られた。
- ◆ ビデオチャットの終了後は「次からはもっと早く質問に答えられるようにしたい。」という感想が聞かれた。

ビデオチャット交流

東京都立三鷹中等教育学校 台湾の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年6月1日（水）
14：00～15：05
場所：東京都立三鷹中等教育学校

2. 参加者

東京都立三鷹中等教育学校（都側）
4年生 38名

3. 交流相手

台湾 宜蘭県
國立羅東高級中學



グループごとに分かれて着席し、
タブレット画面に向かい交流する様子



交流の最後に画面越しの記念撮影を楽しむ生徒たち

4. 当日のスケジュール

- ① 自己紹介
 - ・ブレイクアウトルームへ入室後、各グループごとに1人30～40秒程度で順に自己紹介
- ② 京都・奈良の魅力について紹介（都側から）
 - ・スライドを共有しながら発表
 - ・質疑応答
- ③ ポップカルチャーについてのMV発表（台湾側から）
 - ・自作のMV（Music Video）を紹介
 - ・質疑応答
- ④ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側の生徒は、1人1台タブレット端末を使用し、オンライン会議システムのブレイクアウトルームを活用し、交流を行った。
- ◆ 台湾側の生徒は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各自宅からの参加となった。
- ◆ 都側は、ハウリングを防止するため、14のグループが4部屋に分かれ、距離を置いて着席し、それぞれ持参したイヤホンを使用した。
- ◆ 自己紹介では小さな声で控えめに話していた生徒も、ポップカルチャーについての質疑応答時には、大きな声で大変楽しそうに自分の好きなアイドル等について話していた。

ビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2022年11月2日（水）
15：45～17：00

場所：
東京都立桜修館中等教育学校

2. 参加者

東京都立桜修館中等教育学校（都側）
生徒会役員生徒 5名

3. 交流相手

モンゴル国
Khuder Secondary School

4. 当日のスケジュール

- ① 生徒による自己紹介
- ② 学校紹介
- ③ 部活動紹介
- ④ 地域紹介
- ⑤ 終わりの挨拶

東京都立桜修館中等教育学校 モンゴルの学校とのビデオチャット交流



←グループに分かれて
日本を紹介



←窓の外の景色を紹介



↑参加生徒全員で協力して交流を進行した。

5. 参加者の様子等

- ◆東京とモンゴルの学校から5名ずつ参加し、生徒主体の交流となった。
- ◆都側の生徒は、スライドを使いながら、学校や部活動、地域を相手校に熱心に説明していた。
- ◆モンゴル側が校内をPC画面に映した後、都側も校舎の窓から外の風景等を見せていた。

ビデオチャット交流

千代田区立九段中等教育学校 オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年5月18日（木）
2組 10：50～11：15
3組 11：50～12：10
4組 13：10～14：00

2. 参加者

千代田区立九段中等教育学校（都側）
前期課程 2年生 120名

3. 交流相手

オーストラリア連邦
ニューサウスウェールズ州
Burwood Girls High School
日本語クラス 8年生、9年生
（日本の中学2年生、3年生）

4. 当日のスケジュール

① 開始挨拶

② 日本側からの発表・質疑応答

テーマ「日本の屋台文化」

【2組】代表グループによる全体発表・質疑応答

【3組】10グループに分かれ発表・質疑応答

【4組】 1. 10グループに分かれ発表・質疑応答
2. 代表グループによる全体発表・質疑応答

③ まとめ、終了挨拶



画面越しに英語で質問し合う様子



←オーストラリア側生徒の発表に聞き入る様子



代表グループによる発表→

5. 参加者の様子等

- ◆ 日本側の生徒たちは写真を盛り込んだスライドを見せながら、英語で説明を行った。質疑応答では、オーストラリア側からの英語での質問を聞き取ったり、英語で回答をすることに苦戦する場面もあったが、グループで協力し、教科書やインターネットを駆使して調べる等してコミュニケーションをとり、交流を楽しんでいた。
- ◆ オーストラリア側の生徒は日本語を勉強しており、流ちょうに日本語を話す姿に日本側の生徒から感嘆の声が上がっていた。
- ◆ 交流開始時はどちらの国の生徒も緊張している様子だったが、交流を通して次第に打ち解け、終了時には画面越しに手を振り続け別れを惜んでいた。

ビデオチャット交流

千代田区立九段中等教育学校 オーストラリアの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年6月15日（木）
10：50～11：15
場所：千代田区立九段中等教育学校

2. 参加者

千代田区立九段中等教育学校（都側）
2年生 40名

3. 交流相手

オーストラリア連邦
ニューサウスウェールズ州
Burwood GHS 8年生21名



↑10グループに分かれ、各グループは十分に距離を取って交流を行った。



↑個別セッション

4. 当日のスケジュール

①個別セッション

- ・ブレイクアウトルームに入室後、各グループは屋台文化、将来の夢、私の家族紹介などのテーマに沿って交流

②全体合同セッション

- ・タブレット端末を用いて、各自がテーマ毎に用意した画像でプレゼンテーション
- ・質疑応答

③終了の挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 生徒は4人1グループに分かれ、ブレイクアウトルームを活用して交流を行った。
- ◆ 都側の生徒は、屋台の食べ物(お好み焼き、ラーメン等)を紹介するクイズをあらかじめ用意する等、交流に向けて工夫を凝らしていた。
- ◆ 生徒は、時折ジェスチャーも交えながら活発に交流していた。
- ◆ オーストラリア側の生徒が指でハートマークを型取って挨拶した際は、都側から“かわいい”と歓声が上がる等、盛り上がっていた。

ビデオチャット交流

東京都立南多摩中等教育学校 ベトナムの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

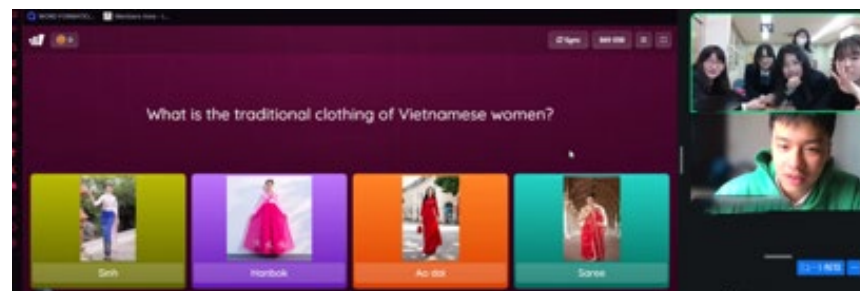
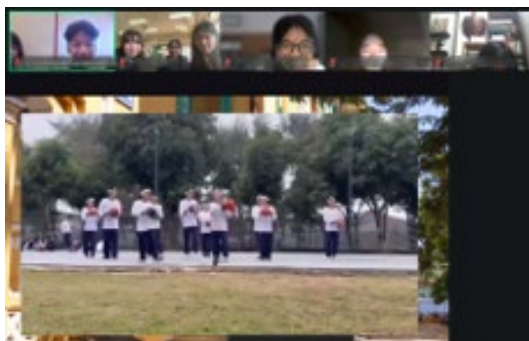
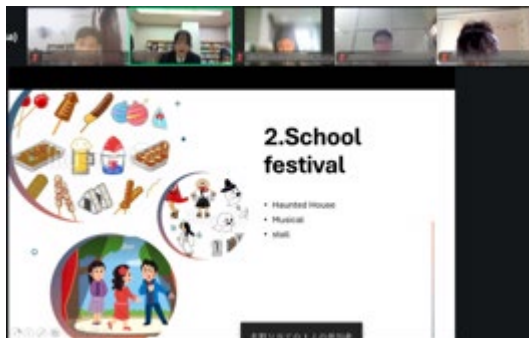
日時：2026年2月13日(金)
15:50～17:00
場所：東京都立
南多摩中等教育学校

2. 参加者

東京都立
南多摩中等教育学校(都側)
1～5年生 15名

3. 交流相手

ベトナム社会主義共和国
ハノイ市
Chu Van An High School
10年生 44名

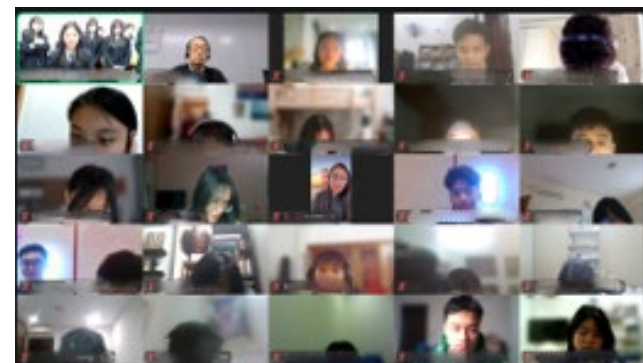


↑ベトナム側生徒による民族衣装についてクイズ

←都側生徒の
プレゼンの様子

←ベトナム側の
プレゼンの様子

最後の
挨拶の様子→



4. 当日のスケジュール

① 始まりの挨拶

- ・都側代表生徒の挨拶、学校・自己紹介
- ・ベトナム側生徒の学校・自己紹介

② 4グループに分かれ交流

- ・自己紹介、プレゼン発表、質疑応答、フリートーク

③ 終わりの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ 双方とも“A Day in the life of Minamitamama/Chu Van An student”というテーマで学校生活について紹介した。動画を用いるなど、工夫を凝らしたスライドが準備され、見る側を飽きさせない構成であった。
- ◆ フリートークでは、「伝統的な祭り」「食」「休日の過ごし方」「遊び」「放課後の過ごし方」「アニメ」など様々なトピックを自由に話したり、ベトナム側生徒が出題したクイズに、都側生徒が楽しみながら回答をするなど、対話をとても楽しんでいた。
- ◆ 終わりの挨拶では両校の代表者が今回の交流への思いや、将来へ向けての展望などを英語で伝えあった。双方とも、最後まで意欲的に取り組んでいた。

在京大使館との交流

中等教育学校

 [目次へ戻る](#)

イラン大使館訪問



1. 日時・場所

令和4年10月21日(金)
イラン大使館
(港区南麻布)

2. 参加者

南多摩中等教育学校
第二学年
Bグループ 約80名

4. 御講演の様子



参事官をはじめとした
大使館の皆様から、
古来より続く文化交流
等について貴重なお話
を
いただきました。

3. 当日の日程

13:25 イラン大使館着

13:30 大使館職員の御講演

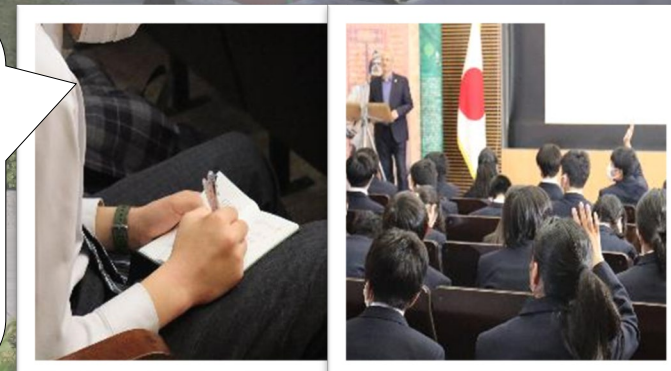
14:30 参事官との質問タイム

15:00 集合写真撮影

15:10 イラン大使館出発

生徒は積極的に質問を
していました。

Q. イラン人の国民性は？
A. 親日的で家族や友人を
非常に大切にします。



スウェーデン大使館訪問



1. 日時・場所

令和4年10月21日(金)
スウェーデン大使館
(港区六本木)

2. 参加者

南多摩中等教育学校
第二学年
Aグループ 約80名

4. 御講演の様子

スウェーデンの
地理や歴史、現代
の社会政策等
について御説明を
いただきました。



3. 当日の日程

10:20 スウェーデン大使館到着

10:30 大使館職員の御講演

11:30 集合写真撮影

11:35 スウェーデン大使館出発



生徒から
スウェーデンの
学校生活等について
質問がありました。

大使館の犬が出迎えてくれました！
スウェーデンでは動物愛護の精神が
深く根付いているそうです。





訪問受入交流



中等教育学校

[!\[\]\(c3d993ca47bfe2a953c700506ce31fa0_img.jpg\) 目次へ戻る](#)

訪問交流

東京都立立川国際中等教育学校 オーストラリアの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2023年4月3日（月）
13：00～16：30
場所：東京都立立川国際
中等教育学校

2. 参加者

東京都立立川国際中等教育学校
（都側）
4～5年生有志・剣道部・
弓道部

3. 交流相手

オーストラリア
クイーンズランド州
Ipswich Grammar School
9～12年生 15名



↑ 剣道体験の様子



← 真剣な表情で説明
する生徒たち

有志による学校前での
出迎え
再会を喜ぶ生徒たち
の姿も見られた →



4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② オリエンテーション
 - ・ オーストラリア及び日本の生徒全員による自己紹介
- ③ 日本文化体験
 - ・ 剣道部と弓道部の練習に参加
- ④ 閉会式
 - ・ 記念品の贈呈
 - ・ 記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ オーストラリア側は、15名のうち7名が、令和4年度東京体験スクールに参加し、都立立川国際中等教育学校を訪問した生徒だった。（9～12年生は日本の中学3年生～高校3年生に相当）
- ◆ 自己紹介では、日本語を学習しているオーストラリアの生徒が、日本語で挨拶をし、参加生徒から喝采を浴びていた。
- ◆ 日本文化体験では、2グループに分かれ、剣道と弓道の部活動に交代で参加した。剣道では、掛け声に合わせた素振りの練習や、面や胴の打ち方を体験した。また、弓道では、都側の生徒が弓の扱いを丁寧に教える様子が見られた。

訪問交流

東京都立桜修館中等教育学校 タイの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年10月22日（水）
13:00～14:30
場所：東京都立桜修館中等教育学校

2. 参加者

東京都立桜修館中等教育学校
学校長、副校長 2名、
担当教員 3名
1,3,5年生 約160名

3. 交流相手

タイ王国
Marie Anusorn School 及び
Notre Dame Nakhon
Ratchasima School
教職員 36名

4. 当日のスケジュール

- ① 学校到着
- ② 挨拶
 - ・ 都側、タイ側代表者挨拶
- ③ 校内・授業見学
 - ・ 1年生(3階)→3年生(1階)→1年生(音楽室5階)
→5年生(体育館・柔剣道場)→図書館(B1階)の順序で見学
- ④ 交流会
 - ・ 質疑応答
 - ・ タイ側より記念品贈呈
- ⑤ 記念撮影



← 始めの挨拶

交流会→



↑ 柔剣道場・
←図書館を見学



↑ 最後に記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側の挨拶では、学校長、副校長ともにタイ語・英語・日本語を混ぜて挨拶、来訪者に敬意を表していた。
- ◆ タイ側2校はインターナショナルスクールであったため、都側生徒と流暢な英語で交流を行っていた。
- ◆ 校内・授業見学では、授業の各教室に自由に出入りし、見学していた。タイ語を話せる生徒や、台湾からの留学生がいたため、個別に生徒と交流も行っている様子がうかがえた。
- ◆ 交流会の質疑応答では、学校の規則や文化の違いによって異なる教育の実態について話し合った。

訪問交流

東京都立桜修館中等教育学校 メキシコの学校による訪問交流

1. 日時・場所

日時：2026年1月13日（火）
11:00～16:30
場所：東京都立桜修館中等教育学校

2. 参加者

東京都立桜修館中等教育学校(都側)
校長、副校長 2名
担当教諭他 約10名
生徒 5年生 4クラス 約160名

3. 交流相手

メキシコ合衆国
Prepa Anahuac
教職員等 19名
生徒 111名 合計130名

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② スペシャルレッスン
 - ・ 7つのグループに分かれ活動（書道、弓道、剣道、絵付け等）
- ③ 昼食交流
- ④ 日本文化体験
 - ・ 12のグループに分かれ活動（けん玉、凧作成、折り紙、かるた等）
- ⑤ 歓迎式典
- ⑥ 校舎案内・部活見学



↑ 書道体験の様子



↑ 都側生徒による歓迎式典の様子 ↑



↑ 日本語教室の様子



↑ 全員で記念撮影

5. 参加者の様子等

- ◆ スペシャルレッスンではバディが各グループに配置され、英語やスペイン語で説明をした。日本文化体験では都側生徒が事前に内容を考えるなど、主体的になって取り組んでいた。
- ◆ 歓迎式典では、都側生徒によるプレゼン、空手・和太鼓の実演、メキシコ側生徒によるダンスが披露され、大きな歓声があがるなど、学校全体が一体化して盛り上がった。
- ◆ 大規模な交流であったが、全体を通して都側生徒の企画実行力とともに、リーダーシップが発揮され、非常にスムーズに進行された。

手紙・カードやメールの交換

● 特別支援学校

カード交換

東京都立北特別支援学校 台湾の学校とのカード交換

1. 相手校からの カード到着日

到着日：2024年4月12日（金）

2. 参 加 者

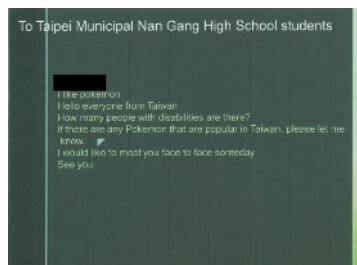
東京都立北特別支援学校（都側）
高等部 11名

3. 交 流 相 手

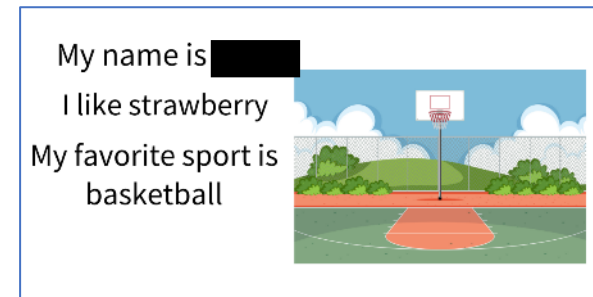
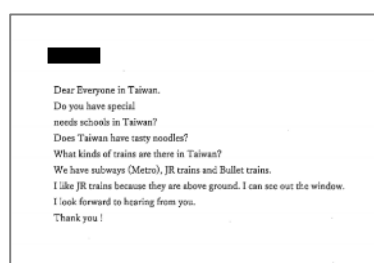
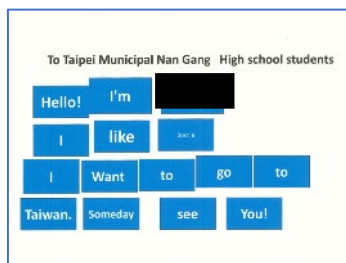
台湾 台北市
台北市立南港高級中學
Taipei Municipal
Nan Gang High School

4. スケジュール

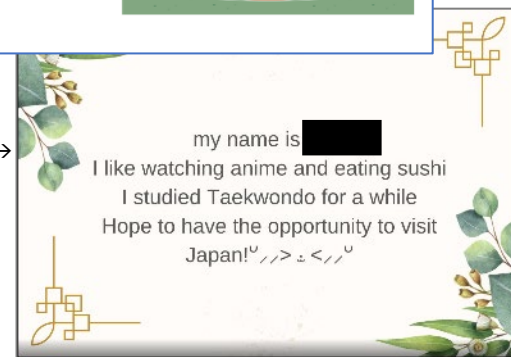
- ① 北特別支援学校にてカードの作成
- ② カードのアップロード（都側から）
 - ・学校が交流用クラウドへカードをアップロード
- ③ Nan Gang High School側にてカードの作成
- ④ カードのアップロード（台湾側から）
 - ・学校が交流用クラウドへカードをアップロード



↑都側の生徒が作成したカード↓



↑台湾側の
生徒が作成
したカード→



5. その他

- ◆都側のカードはデジタルで作成され、名前、好きなもの、台湾側への質問等が書かれていた。好きなものとして、バスケットボールやボッチャが書かれていた。
- ◆台湾側からのカードには、名前、好きなもの、嫌いなもの、希望等が書かれていた。好きなものとして、複数の生徒が「Sushi」と書いていた。また、「いつか日本に行きたい」という希望も書かれていた。

カード交換

1. 相手校への送付日

送付日：2026年1月7日(水)

2. 参加者

東京都立中央ろう学校（都側）
高等部1年生 21名

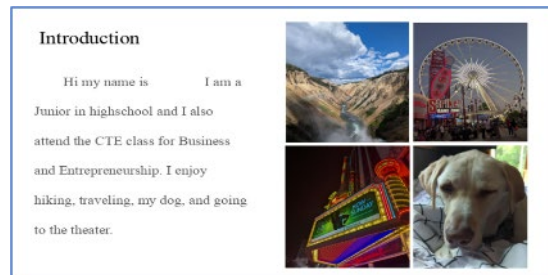
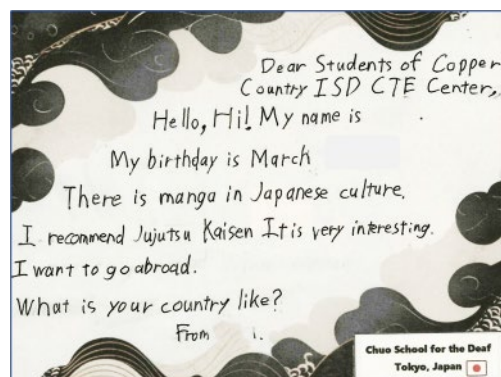
3. 交流相手

アメリカ合衆国 ミシガン州
Calumet High School
Houghton High School
Hancock High School
Lake Linden-Hubbell High School
Dollar Bay-Tamarack High School
高校1～3年生 31名

4. スケジュール

- ① 両校より学校紹介ビデオのデータ受領
- ② 都側が作成したカードをデータ化してアメリカ側へ共有
- ③ アメリカ側から②と同時期にカードを受領し、都側と共有
- ④ アメリカ側から②で送付したカードへの返信データを受領し、都側と共有
- ⑤ 都側から④で受領したカードへの返信データを受領し、アメリカ側と共有

東京都立中央ろう学校 アメリカ合衆国の学校とのカード交換

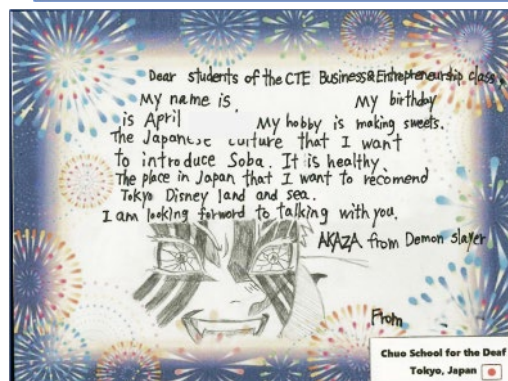


←アメリカ側生徒が作成したカード



↑
アメリカ側のテーマの
「日常生活にある日本のもの」

←都側生徒が作成したカード



5. その他

- ◆ 互いに学校の紹介ビデオを送り合った。アメリカ側の生徒はろう学校の生徒でも楽しめるように、ビデオに字幕を付けて作成した。
- ◆ 双方の生徒でペアを作り、互いに自己紹介カードを交換した。都側生徒は、自己紹介と日本のおすすめしたい場所や好きなことなどを記入した。アメリカ側生徒は自己紹介に加えて、身近にある日本製のものを3つ探して紹介した。
- ◆ 都側、アメリカ側ともペアの相手に返信することができ、2往復のカード交換が実現した。今回の動画・カード交換が非常に充実したものとなったことから、双方の希望で年度内に再度の動画交換や教員同士の交流も行われる予定。今後が期待される交流となった。

オンライン交流

● 特別支援学校

[!\[\]\(3dfb8d66e81160ad61421a3452093d1b_img.jpg\) 目次へ戻る](#)

ビデオチャット交流

東京都立足立特別支援学校 台湾の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2021年11月10日（水）
11：00～12：00
場所：東京都立足立特別支援学校

2. 参加者

東京都立足立特別支援学校（都側）
2年生 9名

3. 交流相手

台湾 屏東県
國立屏東特殊教育學校
2～3年生 9名



中国語での挨拶を練習する生徒



和太鼓を
演奏する生徒



発表する生徒

4. 当日のスケジュール

- ① 両校の校長による挨拶
- ② 生徒による発表（台湾側から）
 - ・自己紹介、学校紹介（位置、清掃の仕方、飼育している動物）、校歌斉唱
- ③ 生徒による発表（日本側から）
 - ・自己紹介（好きなもの）、日本の紹介（富士山、桜、相撲、寿司、沖縄等）、和太鼓の演奏
- ④ 質疑応答

（全て日本語⇔中国語の通訳を介して実施された。）

5. 参加者の様子等

- ◆日本側の生徒は、オーストラリア、シンガポール、日本等のオリンピックのポロシャツを着て、交流に参加した。
- ◆日本側の生徒は、交流の開始時と終了時に元気に挨拶をしていた。
- ◆台湾側の生徒が足立特別支援学校の校章を映した時、日本側の生徒はとても嬉しそうにしていた。
- ◆交流の開始前に日本側の生徒から「緊張する」といった声が聞こえたが、生徒同士で励まし合う様子が見られた。

ビデオチャット交流

東京都立立川学園（高等部）

ニュージーランドの学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2023年9月11日（月）
9：00～10：00
場所：東京都立立川学園(高等部)

2. 参加者

東京都立立川学園高等部（都側）
3年生 15名

3. 交流相手

ニュージーランド オークランド市
Ko Taku Reo Enrolled School
Transitionクラス 11名

4. 当日のスケジュール

① 挨拶

- ・立川学園 挨拶
- ・Ko Taku Reo Enrolled School 挨拶

② ニュージーランド側よりマオリのお祈り

③ 両校交互に自己紹介

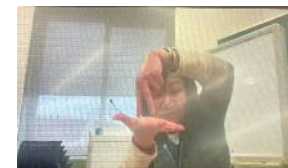
④ 立川専攻科（5名）より、自己紹介と制作物の紹介

⑤ フリートーク（Q&Aなど）

⑥ ニュージーランド側よりマオリのお祈り



自己紹介を
行う生徒→



←立川学園の発表



←手話通訳で
理解する生徒



5. 参加者の様子等

- ◆ 今回のオンライン交流では、Ko Taku Reo Enrolled School の小林香里先生に、日本手話-NZ手話の通訳をしていただいた。
- ◆ 立川学園の発表者はそれぞれ自作のチラシを持参し、有名なアニメや、生徒自身が描いたイラスト等を紹介した。ニュージーランドの生徒からの反応が良く、大いに盛り上がった。
- ◆ ニュージーランドの生徒は、各生徒が自身の名前を日本語で書いて紹介を行った。ジンバブエの出身者等、多国籍の生徒がおり、ジェスチャーを交えながら自己紹介を行っていた。

ビデオチャット交流

東京都立八王子盲学校 台湾とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2024年11月8日（金）

11:00～11:40

場所：東京都立八王子盲学校

2. 参加者

東京都立八王子盲学校（都側）

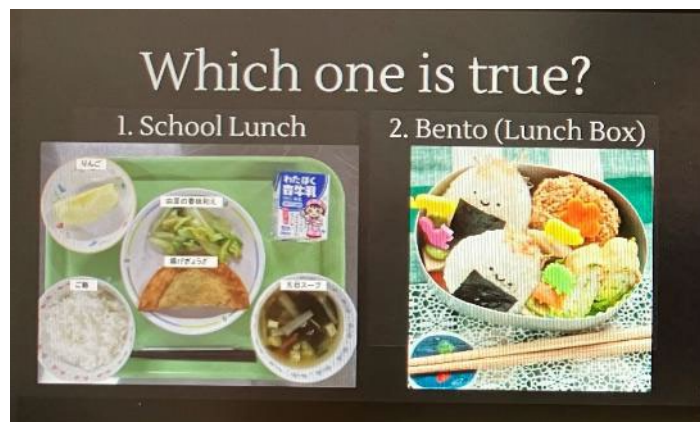
3年生～6年生 7名

3. 交流相手

台湾 台中市

Taichung School for the Visually
Impaired

小学2～6年生 6名



↑ 二択クイズ（都側）



↑ 都側の児童（上）
台湾の児童（下）

4. 当日のスケジュール

- ① 台湾の校長先生の挨拶
- ② 日本と八王子にまつわる二択クイズ（都側）
 - ・日本の食べ物、行事、名所について
 - ・八王子と学校生活について
- ③ 台湾の食べ物、名所、行事、生活習慣について発表（台湾側）
- ④ 歌唱
- ⑤ じゃんけんゲーム
- ⑥ お別れの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆視覚に障害がある児童同士の交流を行った。
双方の先生が英語で進行し、児童の発表も英語で行った。
- ◆台湾側の児童たちはクイズに積極的に回答し、正解すると歓声を上げていた。日本に関する知識の豊富さが印象的だった。
- ◆両校が互いに歌を披露した。台湾側は校内にあるカラオケ教室で練習した日本のアニメ主題歌を日本語で上手に歌った。
- ◆両校の児童はどちらも歌が大好きだとを知って、互いにより親しみを感じた様子だった。
- ◆じゃんけんゲームは、自分が出した手を英語で声に出す方式で行った。児童たちは、じゃんけんに勝つと飛び上がって喜んでいった。

ビデオチャット交流

東京都立立川学園（高等部） 台湾の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2024年11月18日(月)

13:20～14:45

場所：東京都立立川学園

2. 参加者

東京都立立川学園（都側）

聴覚障害教育部門

3年生 10名

3. 交流相手

台湾 台北市

Taipei School for the Hearing
Impaired

10年生 7名



↑ 自己紹介



↑ 台湾側の自己紹介を聞く

4. 当日のスケジュール

- ① 始めの挨拶
- ② 自己紹介及び発表（都側）
学校紹介、日本の文化等の紹介
- ③ 自己紹介及び発表（台湾側）
台湾の紹介
- ④ 記念写真
- ⑤ お別れの挨拶

5. 参加者の様子等

- ◆ ろう学校同士のオンライン交流を実施した。お互いに、日本語・台湾語の手話通訳者を置き、通訳を介してやり取りを行った。
- ◆ 都側、台湾側とも事前に準備したスライドを見せながらの発表となった。都側では「台湾の手話には日本の手話と同じようなサインがある」と感想を述べていた。
- ◆ 各生徒が多岐にわたるテーマで発表した。都側のテーマには、回転寿司、花見、和菓子、空手、すき焼き、和紙、畳があった。台湾のテーマには、挨拶、中国語、料理の紹介などがあった。

ビデオチャット交流

東京都立立川学園 台湾の学校とのビデオチャット交流

1. 日時・場所

日時：2025年6月2日(月)

13:35～15:20

場所：東京都立立川学園

2. 参加者

東京都立立川学園（都側）

聴覚障害教育部門

高校3年生 10名

3. 交流相手

台湾 台北市

Taipei School for the Hearing
Impaired

中学部 13名

4. 当日のスケジュール

① ご挨拶

- ・台湾側は校長先生、都側は副校長先生からご挨拶

② 自己紹介及び発表（都側）

- ・日本の文化等の紹介

③ 自己紹介及び発表（台湾側）

- ・台湾に関する紹介

④ 質疑応答

⑤ お別れの挨拶



↑台湾側の発表を聞く都側生徒



台湾側のスライド



5. 参加者の様子等

- ◆ 交流は、台湾側の校長先生及び立川学園の副校長先生によるご挨拶で始まった。通訳が両校の先生のお話を繋ぎ、先生から生徒へ手話で内容を伝えて会話を行った。
- ◆ 都側生徒からは、生徒数や学園祭、修学旅行を紹介した。また、台湾側生徒による、夏休みの期間が2か月以上あるという紹介に、立川学園の生徒からはうらやましいと声があがっていた。
- ◆ 台湾側の生徒が11月に立川学園を訪問するため、両校生徒は「また会いましょう！」と笑顔で交流を締めくくった。今回の交流は、言語の壁を越えたコミュニケーションの大切さを実感できた。

在京大使館との交流

● 特別支援学校

 [目次へ戻る](#)

大使館交流

1. 日時・場所

日時：2022年9月14日（水）
13：30～14：30
場所：東京都立足立特別支援学校

2. 参加者

東京都立足立特別支援学校（都側）
職能開発科
1～3年生 6クラス 50名

3. 交流相手

欧州連合（EU）代表部
学術協力担当 政治・広報部
リチャード・ケルナー様

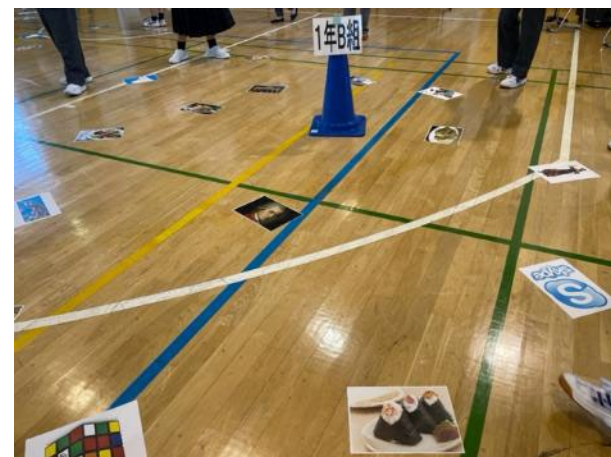
4. 当日のスケジュール

- 13：30 副校長先生の挨拶
講師の紹介
- 13：40 EU代表部講師による講演
EUクイズ
- 14：10 EUカルタ
代表生徒よりお礼の言葉
- 14：30 記念写真撮影

東京都立足立特別支援学校 欧州連合（EU）代表部による学校訪問



↑ EUクイズの優勝者にはEUグッズが贈られた



↑ EUカルタの様子

5. 参加者の様子等

- ◆ EUについて事前学習を行っていたこともあり、生徒は最後までとても興味深そうに講演を聞いていた。
- ◆ 生徒は積極的に挙手し、講師も大変感心していた。
- ◆ EUカルタでは、「オーストリア出身の有名な作曲家は誰？」等の問いに、生徒は互いに話し合って写真や絵を選んで回答した。
- ◆ 講師がクイズやカルタ等を取り入れて交流内容を工夫し、また、学校の受入れ準備も十分に行われ、心温まる交流会になった。

大使館交流

東京都立墨田特別支援学校 南アフリカ共和国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2024年5月29日(水)
13:20～14:10
場所：東京都立墨田特別支援学校

2. 参加者

東京都立墨田特別支援学校（都側）
高等部1～3年 100名

3. 交流相手

南アフリカ共和国大使館
政治部 Thebogo Teke 一等書記官
Paul Siljeur 参事官

4. 当日のスケジュール

- ① 講師紹介
- ② 講演
- ③ 大使館職員による国歌の披露
- ④ 質疑応答
- ⑤ ダンス
- ⑥ 記念撮影



←日本語と英語で
司会をする都側の生徒



←ダンス



←大使館職員による
国歌披露

5. 参加者の様子等

- ◆ 都側の生徒による太鼓の演奏と踊りで大使館員を迎えた。
生徒2名が英語と日本語で進行役を務めた。
- ◆ 講演では生徒への呼びかけや問いかけもあり、生徒は積極的に反応していた。
- ◆ 質疑応答では、生徒は積極的に手を挙げて、「大使館職員はどのような仕事をしているのか?」、「仕事で一番大変なことは?」等と質問していた。

大使館交流

東京都立王子特別支援学校 ベナン共和国大使館による学校訪問

1. 日時・場所

日時：2025年11月28日（金）
9:35～10:25
場所：東京都立王子特別支援学校

2. 参加者

東京都立王子特別支援学校（都側）
高等部3年生 66名

3. 交流相手

ベナン共和国大使館
三等書記官 1名
秘書兼通訳 1名

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② ベナン共和国について紹介
- ③ ベナンの音楽に合わせたダンス
- ④ 生徒代表から記念品授与
- ⑤ 生徒代表からお礼の言葉



5. 参加者の様子等

- ◆ 事前学習により、生徒が作成したベナンの国旗を各人が振って歓迎した。
- ◆ ベナン共和国の国、人口、国土の広さ、特徴、気候等についてスライドを用いて説明があった。途中でベナンのダンスの動画を視聴し、生徒たちは体育館で音楽に合わせて自由にダンスをした。
- ◆ 質疑応答では「国旗の意味」についての質問があり、緑、黄色、赤のそれぞれの持つ意味など詳細な説明があった。
- ◆ 生徒代表から、閉会の言葉と共に記念品授与があった。

留学生による講演

1. 日時・場所

日時：2025年12月19日（金）
14:30～15:30
場所：東京都立南大沢学園

2. 参加者

東京都立南大沢学園（都側）
高等部 80名

3. 交流相手

日本台湾教育センター 職員 2名
台湾からの留学生 1名

4. 当日のスケジュール

- ① 挨拶
- ② 留学生の自己紹介
- ③ 台湾の紹介
- ④ ミニ華語講座
- ⑤ 質疑応答
- ⑥ 終わりの挨拶

東京都立南大沢学園 海外からの留学生による訪問交流



↑ ミニ台湾語講座で発表する
南大沢学園の生徒の様子



↑ 質疑応答の様子

5. 参加者の様子等

- ◆ 台湾の紹介の講義の中で、南大沢学園の生徒からの質問に留学生が回答したり、留学生が生徒へ質問をするなど、一方的な説明にとどまらず、生徒とのやり取りを加えながら進行了。最後の質疑応答では、多くの生徒が挙手し質問をするなど終始積極的な姿勢が見られた。
- ◆ 日本台湾教育センターの方から教わった替え歌に合わせて、生徒たちがダンスを踊った。また、ミニ華語講座では、代表生徒が華語を発表するなど、座学のみではなく参加型の交流となった。
- ◆ 交流後は、生徒が印象に残った台湾の文化や好きな台湾の食べ物、観光地について英語でメッセージカードを書くなど、交流活動を通してより身近に感じ、「いつか実際に行ってみたい」などの声が挙がった。



訪問受入交流



特別支援学校

[!\[\]\(c3d993ca47bfe2a953c700506ce31fa0_img.jpg\) 目次へ戻る](#)

訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年6月4日(水)
9:00～15:00
場所：東京都立足立特別支援学校

2. 参加者

東京都立足立特別支援学校(都側)
高校3年生 44名

3. 交流相手

台湾 屏東県
National Pingtung special school
国立屏東特殊教育學校
小学～高校生 12名

4. 当日のスケジュール

- ① 9:00 学校到着
- ② 9:20 歓迎式
 - ・和太鼓・ダンス・国歌斉唱の披露
 - ・姉妹校締結の調印式
- ③ 10:00 日本文化体験
 - ・盆踊り、昔遊び、かるた、折り紙（紙飛行機）
- ④ 12:20 昼食
- ⑤ 13:15 ミニ運動会
 - ・ラジオ体操・紙飛行機・玉入れ
- ⑥ 14:50 送別式
 - ・記念写真撮影、見送り

東京都立足立特別支援学校 台湾の学校との訪問交流



← 姉妹校締結の調印式



← 息の合った完璧な司会

✓ 笑顔で楽しむ台湾の生徒

↓ ミニ運動会の玉入れ



5. 参加者の様子等

- ◆ 3月にオンライン交流をした両校が対面で交流を行った。緊張気味だった台湾の生徒も、都側のバディが付き添うと笑顔で応じていた。
- ◆ 歓迎セレモニーでは、都側の生徒が英語と日本語、先生が中国語で司会を務めた。姉妹校締結の調印式では双方の校長先生が、これからも続く両校の交流を期して握手を交わした。
- ◆ 午前は、生徒たちはグループに分かれて4つの日本文化を体験。午後には台湾側の強い希望で実現したミニ運動会で、参加児童・生徒は、日本のラジオ体操も体験した。
- ◆ 4か月間、3年生が一丸となって受け入れ準備をしてきた都側の生徒も、見送られる台湾の生徒や保護者も、最後は涙のお別れとなった。

訪問交流

1. 日時・場所

日時：2025年11月5日（水）
13:30～16:30
場所：東京都立立川学園

2. 参加者

東京都立立川学園（都側）
聴覚障害教育部門
高等部 生徒10名

3. 交流相手

台湾 台北市
Taipei School for the Hearing Impaired
生徒8名 引率4名

4. 当日のスケジュール

- ① ウェルカムセレモニー
- ② 記念品等の交換
- ③ 交流会
 - ・都側生徒主催による伝達ゲーム
 - ・台湾側生徒主催による手話歌劇
- ④ フリータイム
- ⑤ 記念撮影

東京都立立川学園 台湾のろう学校による訪問交流



↑台湾側代表のあいさつ



↑全員で集合写真の撮影

5. 参加者の様子等

- ◆令和7年6月にオンライン事前交流を行ったことから、今回の訪問交流を生徒たちは心待ちにしていた様子であった。
- ◆ウェルカムセレモニーでは都側生徒が授業で制作した革のブレスレットを台湾側生徒一人ひとりに贈った。
- ◆お互い自国の手話を教え合いながら、コミュニケーションをとっていた。
- ◆伝達ゲームでは都側生徒と台湾側生徒が交互に並び、歓声が響くほどの盛り上がりであった。続いて、台湾側生徒が手話の歌を披露し、都側生徒も一緒になって手話を行った。
- ◆フリータイムは時間を超えるほど、積極的な交流が行われ

手紙・カードやメールの交換



[小学校](#)



[中学校](#)



[高等学校](#)



[特別支援学校](#)



オンライン交流



幼稚園



小学校



中学校



高等学校



中等教育学校



特別支援学校

[!\[\]\(f60b7a900783ac3fd531bfd9c111be6d_img.jpg\) 目次へ戻る](#)

在京大使館との交流

-  [幼稚園](#)
-  [小学校](#)
-  [中学校](#)
-  [高等学校](#)
-  [中等教育学校](#)
-  [特別支援学校](#)



訪問受入交流



小学校



中学校



高等学校



中等教育学校



特別支援学校

[!\[\]\(4b7a79268f6ba26c1471d4232fffa85a_img.jpg\) 目次へ戻る](#)



公益財団法人

東京都教育支援機構

Tokyo Education Promotion and Support Organization